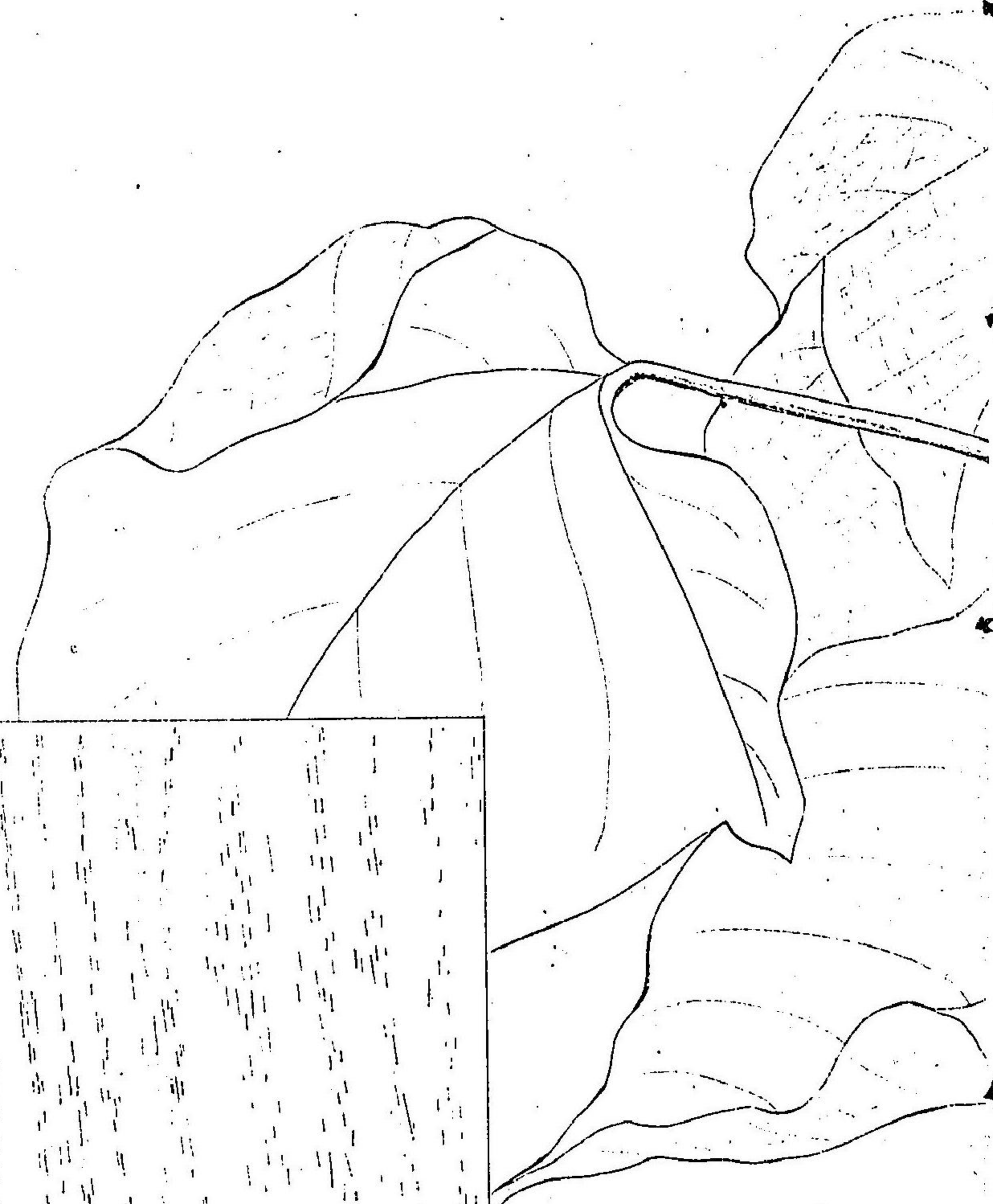
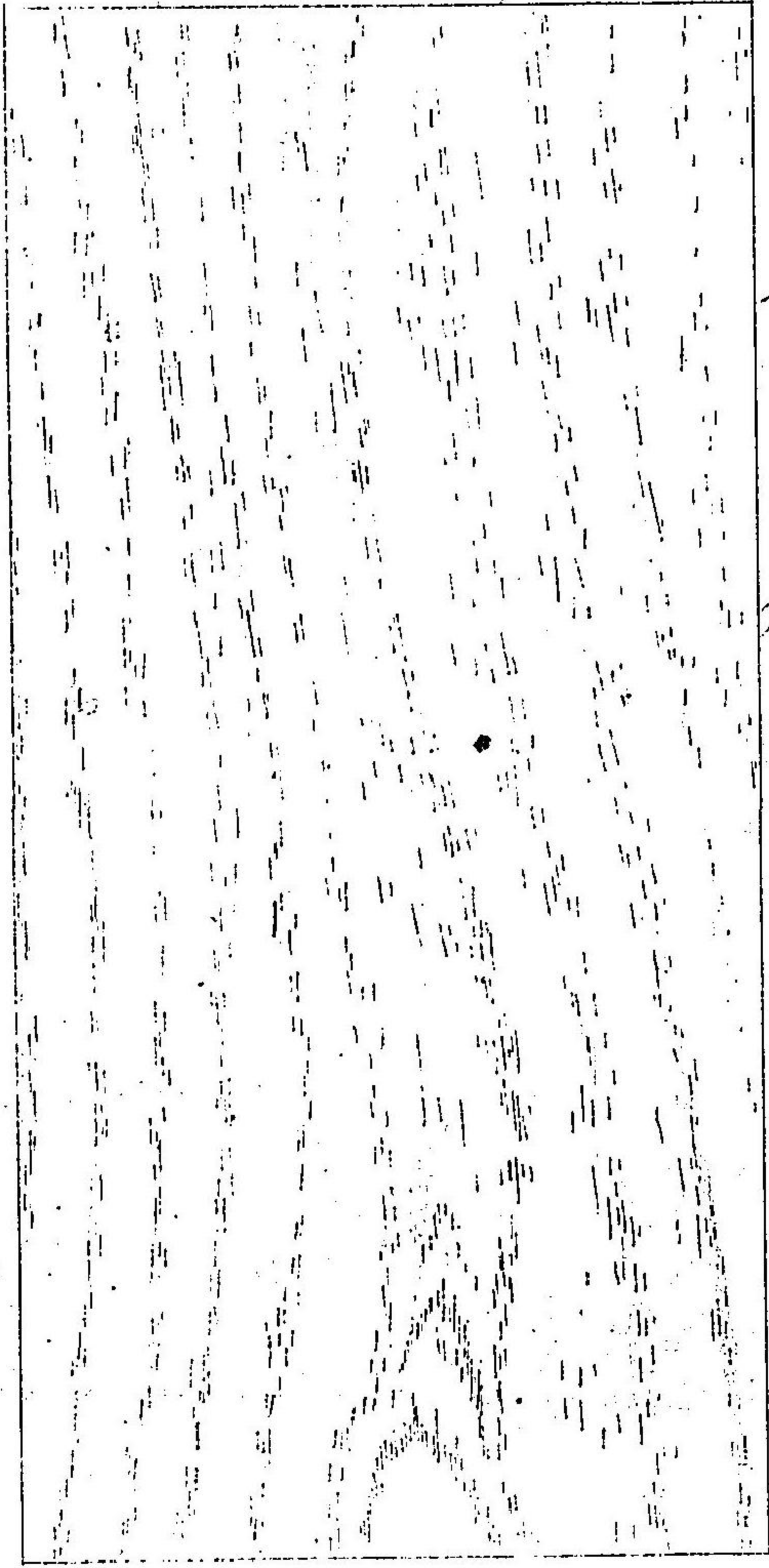


第四十七号
花付

地適	形 狀						稱 名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
樹性溫暖ニシテ微濕ノ地ヲ喜フ原野水涯ニ自生多ク繁茂ス五畿南海地方最多シ	枝柯婆娑トシテ綠陰頗ル密ナリ	花後實ヲ結フ黒赤ニシテ圓狀椒實ノ如クニシテ較大ナリ外ニ軟刺多シ秋ニ至テ熟シテ自ラ拆ケ黒子ヲ脚出ス狀椒目ノ如シ	夏月枝梢毎ニ黃白花ヲ開ク擻簇シテ穂ヲナス	圓潤ニシテ多クハ三稜ヲナシ深綠色ニシテ粗厚大サ二三寸邊ニ鋸齒アリ柄ノ長サ亦二三寸淺赤色互生ス其嫩芽甚鮮紅ナルヲ以テあめがしほノ稱アリ長スルニ及ヒ漸ク綠色ニシテ其柄ハ赤色ナリ	四出横張ス	大ナル者ハ高二丈許圍二三尺	あかめがしほ 名 通 名 方 名 漢 楸 名 洋 ROTTLERA JAPONICA. ロトセラ ジャポニカ

種	藝			養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜
	條 壓	接 嫁	條 摺					
春分ニ下種ス甚タ生レ易シ			摺挿スルモ亦活ス	小苗ハ夏月多ク泥水ヲ澆クヘシ	小苗ハ霜雪ヲ防禦シ樹ヲ移植スレハ柱ヲ立テ烈風ヲ護ス	材質白色美密堅重ナラス然レモ能ク水濕ニ耐ユ又彈力アリ	器具ヲ作ル最佳品ナリ○其子實ハ赤色ノ染料トナス 此樹夏月能ク庇蔭ヲナスヲ以テ行道ニ栽植シテ最モ佳ナリ	
其苗長シ易ク初年三四尺ニ及フ明年移植スヘシ								



第四十八號
ワカニガハ



諸常潤喬樟
用綠葉木科
提要
號九十四第

地適	形						稱名	
	體全	實	花	葉	枝	幹		根
樹性甚々温暖ノ地ヲ喜フ且海濱ノ土ニ生スル者最高大ナリ寒地ニ産セス之ヲ移植スルモ香芬少クシテ樟腦ヲ取ルノ用ヲナサスうららぐす近畿地方最モ多シ	枝柯開張シテ能ク庇蔭ヲナス	實正圓ニシテ大サ二分許初ノ青色熟スレハ黒褐ニレテ硬シ	立夏ノ後小花ヲ開ク梗上ニ撥線ス白色ニレテ微黄ヲ帯フ	圓潤尖頭大サ二寸許柄長シ葉而深翠ニシテ背ニ脈理二道アリ又うららぐす即なんじやもんとやのきト稱スルアリ葉較小ニシテ軟美背面白色香氣多シ	枝柯長大ニシテ硬シ其色淡褐ニシテ背ヲ帶フ	老樹ニ至テハ高十餘丈圍十丈許ニ至ルモノアリ木皮黄黒ニシテ厚ク皺皺多シ	く せ 名方 名漢 樟 俗楠 名洋 CINNAMOMUM CAMPHORA ER. シンナモミユム カムホラ	

種	藝						種				
	條	壓	接	嫁	條	摺		植	苗	植	實
適應ノ地ニ在テハ子ヲ下シテ能ク生ス	小枚ヲ壓條スレハ亦能長ス							根土ヨリ多ク小本ヲ生ス分植スレハ種子ヲ下スニ勝レリ			

材色淺黄中心赤黒色ニシテ其質極メテ堅密ナリ之ヲ飽滑メテ光澤ヲ生シ且奇香アリ年ヲ經テ衰ヘス又水濕ニ置テ久ク朽敗セス○老材ハ其外部肌理錯綜シテ大小ノ輪紋ヲナス者アリ最モ美觀ナリ俗之ヲたまもくと云ヒ又じよりんもくと稱ス其環紋ノ最モ上品ナルハまいぶたうト云フ是多クハ本根ニ生スル瘤ノ爲ス所ニシテ樹ノ外面ニモ亦多ク小尖疣ヲ生ス船艦必用ノ材タリ或ハ衣厨匣箱ヲ製シテ甚々貴品タリ又葦椀ノ類ヲ鍍作スヘシ然レモ香氣ノ烈キヲ以テ食盒ニ宜シカラス其根及ヒ幹ヲ拆キ之ヲ煎シテ樟腦ヲ製シ其實ハ以テ蠟ヲトルヘシ其利益亦夥シ○まいぶたうハ薄刺シテ神水(キト)トナス

老樹火ヲ生シ自ラ焚ク物理小識ニ老ルルハ火ヲ出シテ自ラ焚ク家室ニ近クヘカラスト云フ是レ腦アルカ故ナリ此木舊時伊豆國ニ多シ伐シテ箱匣ヲ製ス熱海ノ名産タリ遂ニ濫伐シ殆ント盡キ近時駿遠地方ヨリ買致シテ所用トナス老木ノ真材ヲ以テ瑣末ノ用ニ供ス亦惜ムヘキノミ



第四十九號
アサのき

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質
		白質堅硬ニシテ肌理緻密ナリ鉋削シテ滑澤ヲナス				小木ヲ剪テ砧トナシ肉桂ヲ換接スヘシ	摺挿シテ活ス	根土多ク小木ヲ生ス分植スヘシ	下種シテ生シ易シ

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
東南諸國温暖ノ地ニ適應シ北方沍寒ノ地ニ産セス東京既ニ稀ナリ肥前松浦最モ有名ナリ	枝柯開張シ翠綠繁稠ナリ	秋冬ノ際子實ヲ結フ其形橢圓長梗アリ初メ綠大サ豆ノ如ク熟スルニ及ヒ漸ク肥大ニシテ紫黒	夏月葉腋ヨリ長梗ヲ生シ小花掛簇シテ開ク色微黄	長尖頂甚ク肉桂葉ニ似タリ長サ三寸許面深綠背ハ淺綠ニシテ白粉ヲ附ク脉理三條アリテ末ニ微セス之ヲ破ルニ香氣アリ俗ニほどけたらしト呼フ其志さみニ代用スヘキナ云フ	枝條深翠滑澤ナリ	幹立シ高四五丈圍七八尺樹皮灰白ニシテ皺皺セス	<p>やぶにくけい</p> <p>名 方</p> <p>み だ</p> <p>が も</p> <p>名 漢</p> <p>天竺桂</p> <p>名 洋</p> <p>CINNAMOMUM PEDUNCULATUM.</p> <p>シンナモミウム ベジユンキユラチユ</p>

第五十蹄

やぶこけり



提 要
 號一十五第
 樟 木 科
 落 葉 樹
 牙 落 澗 澗 樟

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
くろもじ 名 方 名 漢 烏 樟 名 洋 LINDERA SERICEA BL. リンデラ セリセア	高七八尺圍五六寸或ハ高丈餘圍一尺許ニ及フ者アリ木皮蒼黒ニシテ綠斑狀ヲ交ユ香芬アリ	枝條ノ皮モ亦蒼黒細條ハ暗綠香氣アリ	形長楕尖頭深緑ニシテ厚シ周邊ニ銀齒ナシ	春分ノ後芽ニ先ツテ小花ヲ開ク五瓣淡黄ニシテ三五簇生ス	小圓實ヲ結フ大サ南天燭子ノ如ク秋月ニ至リ熟ス其色烏黒ナリ	一幹聳立數梢ヲ分生ス	山野ニ自生シ寒暖地皆アリ然レモ高山ニ生セス阿波伊豆地方ニ産スルモノチ良トス
種	藝			種		種 質	種 苗
種 質	條 壓	接 嫁	條 摺	種 質	種 苗		
根土ノ孫枝ヲ分植スヘシ			潤土ニ挿シテ能ク活ス				
種 質	質 材		護 保		養 培		種 質
白色密質ニシテ粘カアリ							
種 質	用 効		説 雜		説 雜		種 質
幹枝皆牙杖ヲ作ルヘシ香氣芬芳悦フヘシ或ハ小幹ヲ伐採シ枝ヲ帶テ藩籬ヲ結フ頗ル雅致アリ	舊來牙杖ヲ作ルニかんぼくヲ用フ此樹代用スヘシ牙杖ノ如キハ碎瑣ノ物品ナリト雖亦輸出中ノ一物トス注意シテ可ナリ						



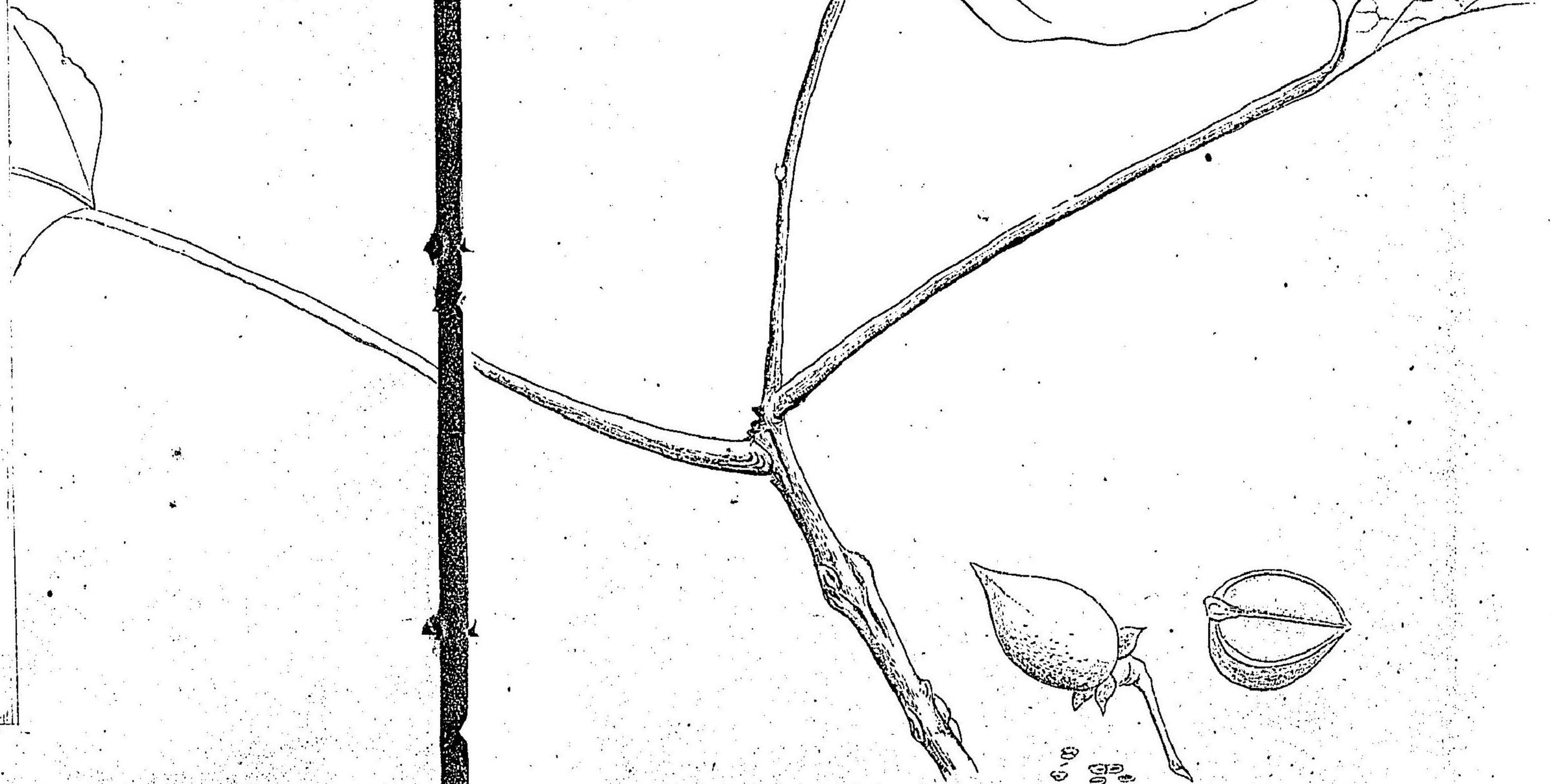
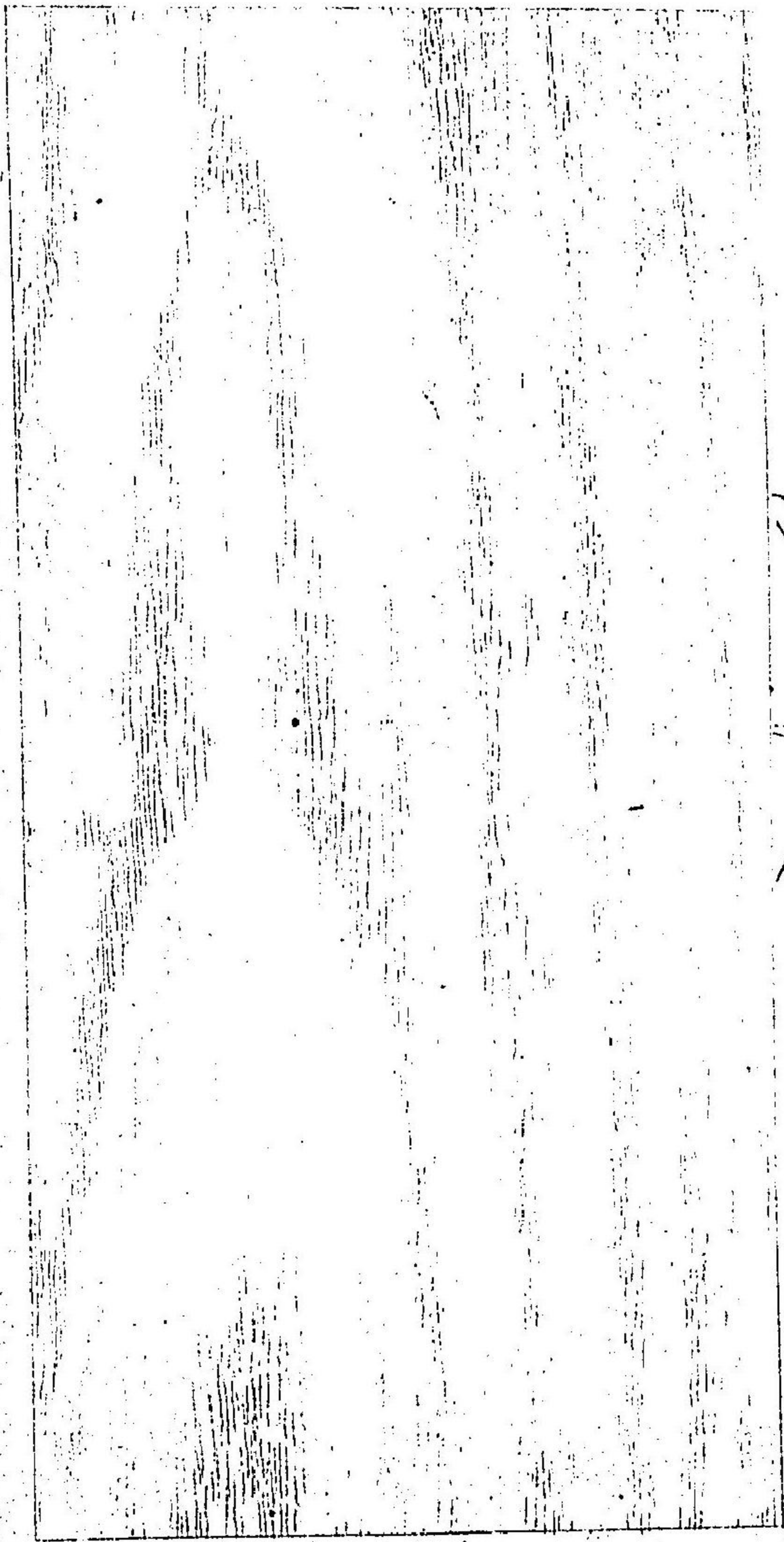
第五十一號
クキ
ノ
ヒ



地適	形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
<p>高燥ニシテ水ニ遠キ地ヲ喜フ故ニ栽ル者ハ沙土野土ノ澎鬆ナル處ヲ選ムヘシ下野武藏丹後及南部仙臺ニ良材最多シ伊豆八丈島隱岐ニ産スルモノナシタシタリト稱ス</p>	<p>成長ノ速ナル他樹能及フナシ其ナル者ハ一二歳ニシテ二丈許ニ及フ之ヲ斫ルハ新芽ヲ生シテ愈長シ易ク歲中ニ亦能ニ丈ニ及フ屢斫テ漸ク肥大ナラシメ圍三尺餘ニ至テ斫ルヲ適度トス</p>	<p>花後實ヲ結フ卵形ニシテ未尖リ長一寸餘外面粘着スルヲ葉ノ如シ内ニ兩房ヲナシテ薄片ノ小子ヲ充ツ羽ノ如クニシテ至輕殼老ルハ裂ケテ子ヲ飛ス</p>	<p>春月葉ニ先タチテ花ヲ生ス唇椏筒形胡麻花ノ如クニシテ大ナリ多花ヲ着ケテ長穗ヲナシ揚起ス淡紫色白色ノ二種アリ頗ル美觀ナリ</p>	<p>花裏ハ時新葉ヲ出ス皆對生狀圓大ニシテ未尖ル大ナル者ハ尺餘毛茸アリテ粘滑ナリ樹葉中ノ最大ナル者ト云ヘシ然レモ小樹ハ葉大ニシテ大樹ハ較小ナリ</p>	<p>扶疎トシテ四出廣張ス中心ノ虛ナル幹ト全シ</p>	<p>小ナル者モ豐肥ニシテ挺立ス大ナル者ハ數圍空中ニ森球ス中心虛ヲナス外皮灰白色ニシテ皺皺ス</p>	<p>旁根長大ナリ</p>
							<p>名通</p>
							<p>名方</p>
							<p>名漢</p>
							<p>白桐 又 桐</p>
							<p>名洋</p>
							<p>PAULOWNIA IMPERIALIS. S. ET Z. パウロウニア イムペリアリス</p>

種	藝				養培	護保	質材	効用	雜說
	條歴	接嫁	條摺	植苗					
<p>種子ヲ下スニ甚生シ難シ其法高陽ノ地ヲ選テ畦ヲ治メ秋分ニ子ヲ取テ直ニ蒔キ土ヲ覆フ一二三分ヲ度トス其子輕渺ニシテ飛散シ易キヲ以テ瓦石ヲ用テ之ヲ歴ス翌年發芽スルヲ候ヒ之ヲ撤去シ春分前後ニ分植ス</p>	<p>旁根ヲ斷テ之ヲ分植スル最モ妙ナリ實植挿條ニ勝レルモノトナス栽法錯互ニシテ相對セサラシム凡ソ一段ノ地ニ百本ヲ栽ルヲ度トス</p>	<p>春分ノ後枝若クハ細幹ヲ斫リ潤地ニ挿ム</p>	<p>冬月糞水ヲ澆ケハ其成長最モ速ナリ</p>	<p>鬆地ニ栽ル者其生長極メテ速カナリト雖風ヲ受ケテ傾倒シ易シ宜シク柱ヲ立テ繩ヲ以テ欄束スヘシ</p>	<p>輕虛白色ニシテ微紅ヲ帶フ綺文アリ其中心皆虛ヲナス數々斫テ早ク長スル者其虛孔較大ナリ又シタシタリハ木理通密ニシテ一層ノ觀美ヲ増ス</p>	<p>琴瑟ヲ作テ美響ヲナス机箱木履諸器ヲ作ルニ甚タ美ナル此材ヲ以テ第一トス或ハ外面ヲ焦シテ用ユ亦美觀ナリ衣匣書厨ヲ作ルニ能ク水濕火氣ヲ驅除ス木炭ハ火藥ノ用トナス庭園ニ栽テ愛スヘク又行樹ニ宜シ</p>	<p>草木耕種法ニ曰初生三四年ノ後其幹ヲ餘ス四五寸許之ヲ斫リ竹皮ヲ用ヒテ其口ヲ包ム復ク萌芽シテ斜曲反張セル者ハ之ヲ斫伐ス摠木ノ成長セル者モ亦此法ヲ用ユ</p>		

第五十二號
きり

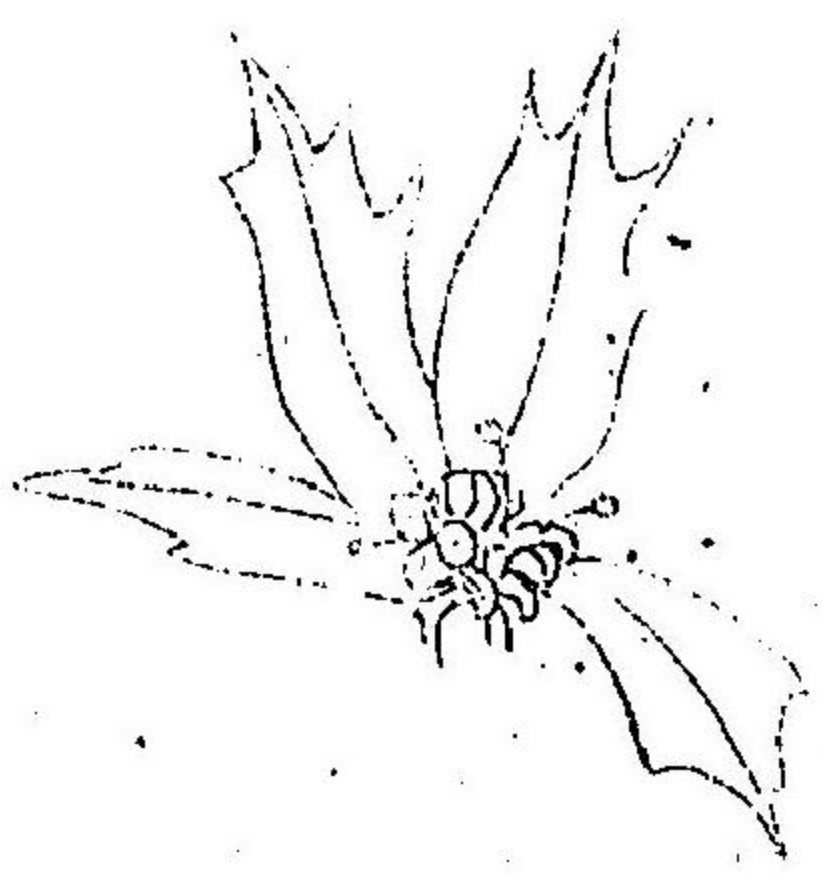


器常潤澁 狗骨科
物綠葉木

號三十五第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名					
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根		名 通				
	舊俗節分ニ此小枝葉ヲ以テ必ス門扉ニ挿ム	印材楠算類ノ類ヲ製スルニ供ス又多ク人家ニ栽植シテ藩籬トナス其葉白斑アル者盆玩ニ供スヘシ ○花香木犀ニ及ハスト雖モ亦庭院ニ栽テ其芳香ヲ愛スヘシ	材質白色肌理甚タ緻密ニシテ堅硬ナリ			冬青女貞ノ類互ニ接換スヘシ	嫩枝ヲ剪リ長サ五寸許葉ヲ去リテ小許ヲ存シ粘土ノ泥珠ニ捲シ之ヲ潤地ニ斜植ス	根土多ク小本ヲ生ス分植スヘシ	下種シテ生シ易シ	山野ニ自生ス樹性黃赤ノ粘土ヲ喜ンテ砂土卑濕ノ地ニ適セス	小楨圓實ヲ結フ漸ク熟シテ紫黑色	秋冬ノ際葉腋ニ小花ヲ掛懸ス白色微黃四瓣反張シ二趾アリ奇芽數歩ニ聞ユ	其葉長楕大サ山茶葉ノ如クコシテ厚硬ナリ深翠滑澤周邊ノ鋸齒疎ニシテ五七ノ尖刺ヲナシ鋭甚シ冬ヲ經テ凋マズ	枝柯婆娑小枝頗ル稠シ皮色亦灰白	高二丈許圍三尺許ニ至ル半身以上酸梢ヲ分生ス樹皮灰白色ニシテ粗皺ナリ	ひらさぎ	名 方	ひらさぎ	名 漢	狗 骨	俗 終	名 洋	OLEA AQUIFOLIUM. S. ET Z. フレア アグニイホリ ウム

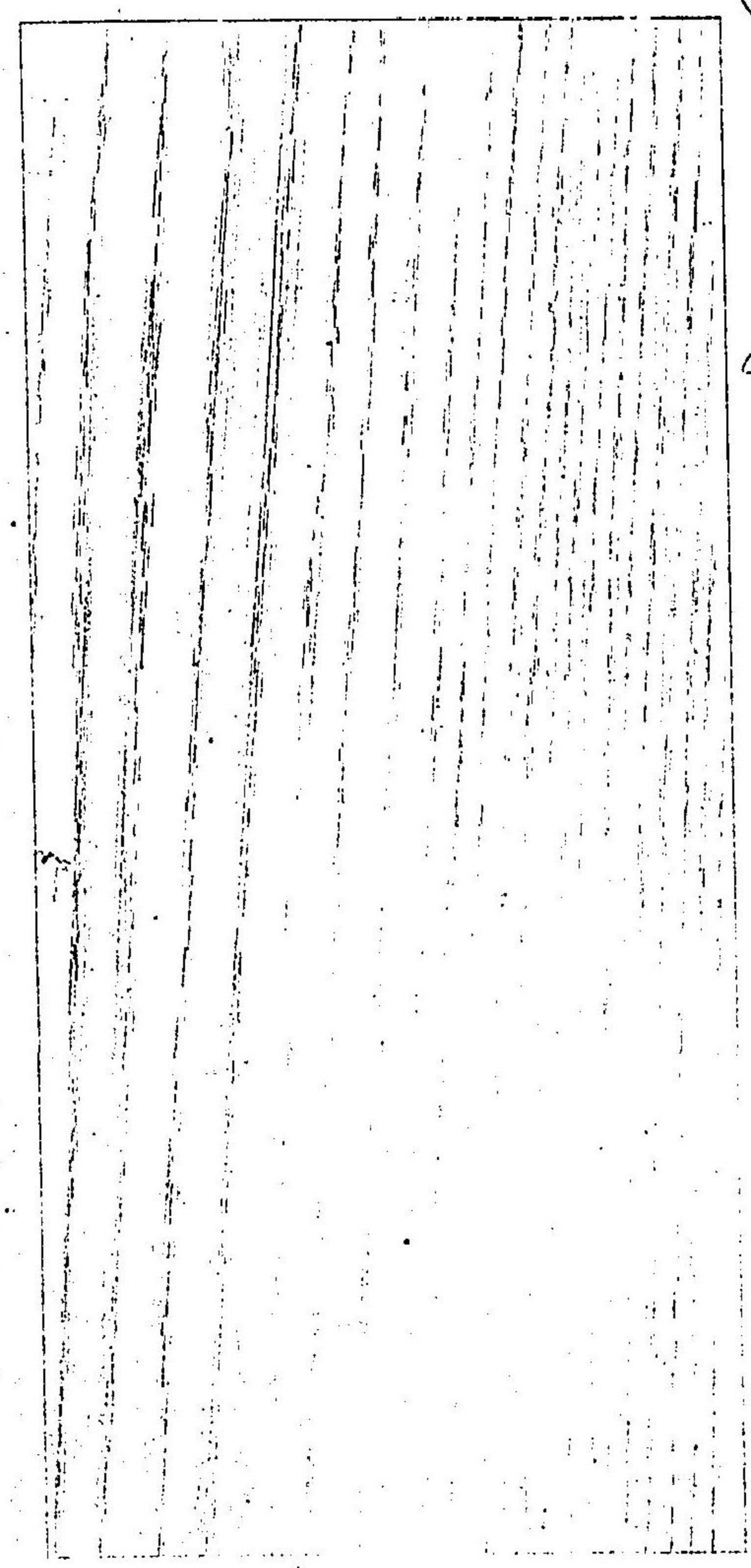
第五十三号
むいらぎ



諸落潤喬狗骨科
用葉葉木科
提要
號四十五第

種	藝	養培	護保	質材	効用	雜說	形							地適	稱名		
							體全	實	花	葉	枝	幹	根		名通	名方	名漢
				白質微黄肌理密ナラス堅硬ニシテ重量ナリ粘カアリテ折レヌ且水漏ニ耐フ	船艦家屋ノ材ニ充ツヘク器具ヲ製シテ頗ル美ナリ細幹ハ農器ノ柄トナスニ最宜シ	志ほぢハとぬりこノ屬ニシテ山生スルモノナリト云フ	深山中ニ自生シ溪谷潤濕ノ土ニ適ス而シテ寒地ニアルモノ最高大ナラス陸羽北海道及木曾山日光山良材ヲ産ス	枝柯揚起シテ翠綠陰ヲナス	複葉ニシテ一柄上ニ排生ス楕圓尖頂長三四寸邊ニ鋸齒アリ深緑ニシテ厚カラス霜後飄零ス	枝柯肥大ナリ	直徑シ高三四丈圍六尺許樹皮灰白淡褐粗厚ニシテ皺皺ナラス	志ほぢ	北海道 やちだも	漢名	洋名 FRAXINUS SP. フラキニニス		

第五十四號
志不七



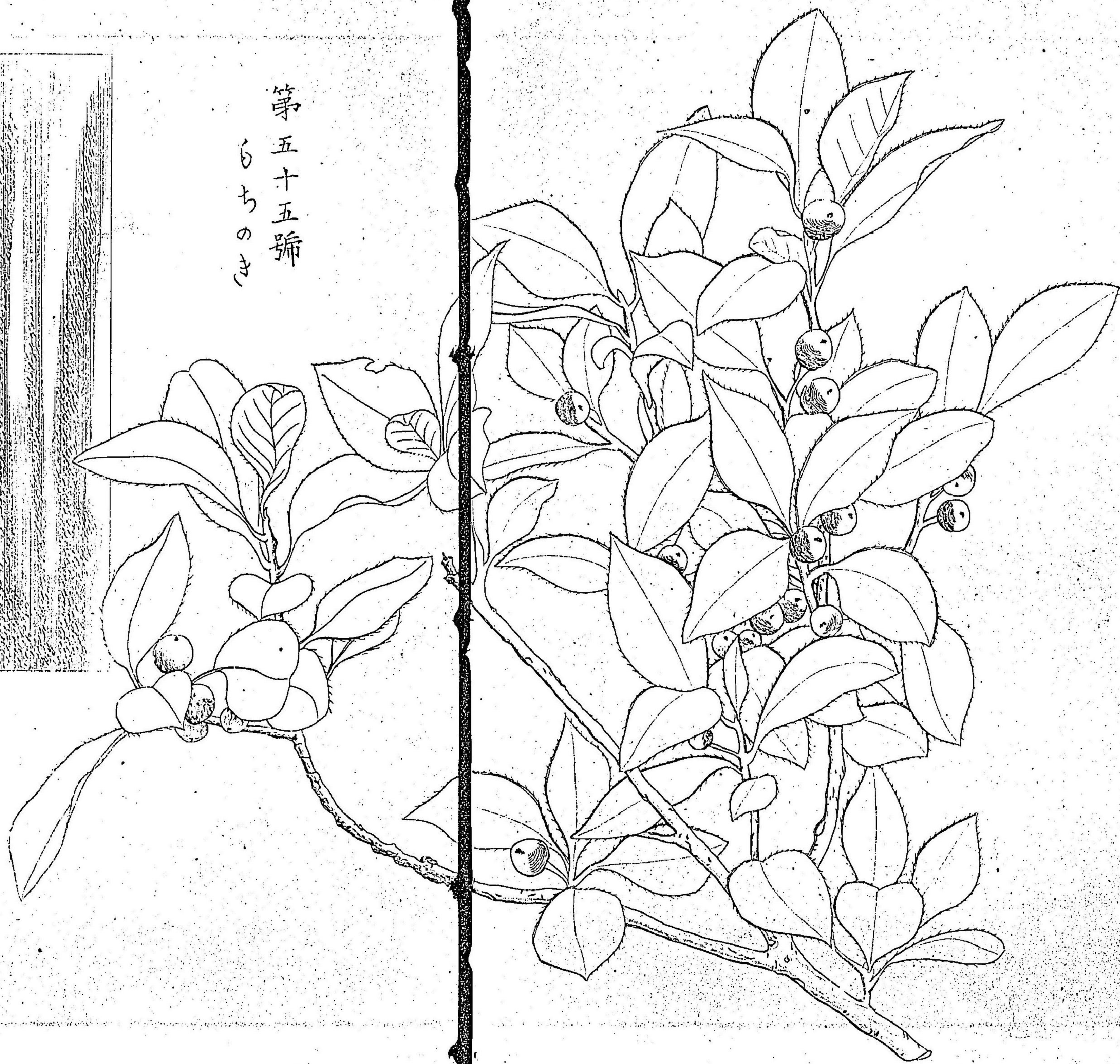
提 要
冬青科 喬木 常緑 葉木 器納 膠物

第五十五號

種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜
	植 實	植 苗	接 挿	條 挿	條 壓					
下種シテ生ス	春季根旁ノ小木ヲ分栽スヘシ	挿挿能活ス	春季接換スヘシ				木理白細ニシテ紋アリ堅重	鍍作諸器ノ用ニ供ス 皮ヲ剥テ水ニ浸シ腐爛セシメ搗過シテ糊ヲ製スルヲをほもちニ同シ又染料トナス		

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
性陰燥ノ地ニ適セスニ豐紀伊阿波相摸等暖地ニ産スルモノ最モ喬大ナリ然レモ木曾山中亦多シ	青條崎々トシテ綠葉再々ナリ	花後圓實ヲ結テ生ハ綠ニシテ熟スレハ朱赤色	夏月葉間ニ小白花ヲ開クニ二三葉其梗長シ	圓形ニシテ頭微尖チナス邊ニ鋸齒ナシ或ハ疎鋸齒アルモノアリ互生ス厚クシテ光アリ冬ヲ經テ凋マズ	枝條繁茂ス其皮青色	高三丈餘圍三尺許ニ及フ者アリ 外皮白綠色粗ニシテ微皺チナス	も ち の さ 名 漢 細葉冬青 名 洋 ILEX INTEGR. TH. イレキス インテグラ

第五十五號
白木のせ



提 要
 狗 骨 科
 灌 木 類
 常 綠 葉
 印 板 器
 具

第五十六號

名 稱	形 狀							地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	全 體	
いぬつけ 名 方 ひんろ 名 漢 柞 俗 奴 柞 名 洋 ILEX CRENATA LINN. イレキス クレナタ	樹ノ生長速ナラス老樹ト雖高二丈圍三四尺ニ過ス樹皮青黒ニシテ皺皺セス	枝條密ニシテ長カラス	楕圓形ニシテ大サ半寸厚硬ニシテ深翠光滑邊ニ細鋸齒アリ	夏月葉間ニ細碎ノ小花ヲ開キ四瓣白色雌本雄本アリ又兩全花アリ	子實ヲ結フ正圓ニシテ大サ南天燭子ノ如シ熟シテ紫黒	獨幹ノモノアリト雖多クハ一根數本ヲ灌生シ或ハ半身數幹ヲ分ツ山野ニアルモノハ矮小ナル多シ	山野ニ自生ス諸國有ラサルナシ	
種 類		藝 術	養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說	
植 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 壓	其材白色ニシテ堅重肌理頗ル緻密ナリ又粘カアリテ折レス	印版印材トナシ或ハ櫛ヲ作り鑱作ノ材ニ充テ黃楊ニ代用ユレ其粗ニシテ劣レリ又鑿柄ヲ作ルニ此材ヲ用ニ故ニ鑿子木ノ稱アリ○庭院ニ栽テ風趣アリ	民家此樹ヲ以テ掛登木ト爲ス故ニ其地方ニハ新年ニ團餅ヲ作リ此樹ニ掛ルノ俗アリ	
下種シテ生シ易シ	根旁多ク小木ヲ生ス分植スヘシ	嫩枝ヲ摺挿シテ活シ易シ						

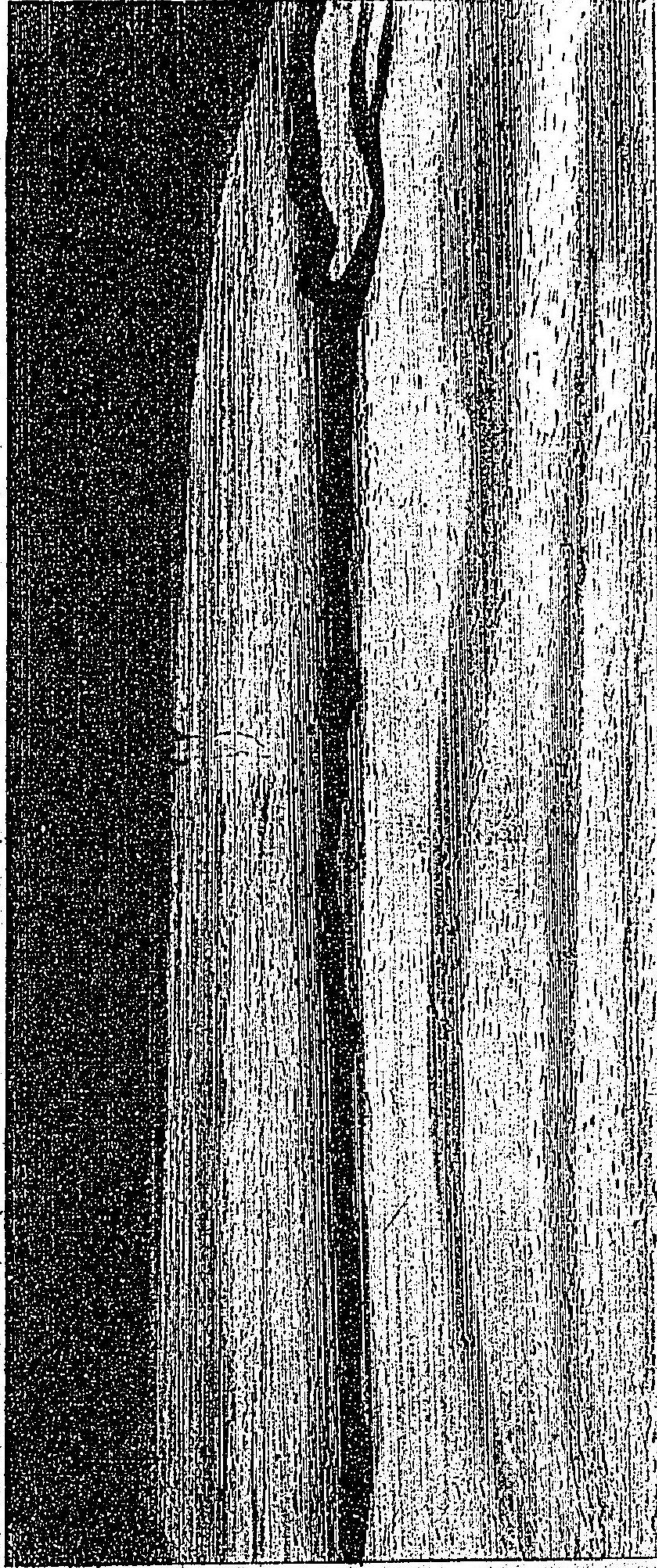
第五十六號
いぬつげ



提 要
 器 落 潤 澁 柿 樹 科
 具 葉 葉 木

號七十五第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名					
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋		
	<p>机案匣箱ノ類ヲ製シ器具ヲ鑄作シテ甚タ雅美ナリ凡器具寄セ木ノ類黒色ヲ要スルモノ此ヲ捨テ他ニ用ユヘキモノナレ且其堅實美麗ナルカ故ニ所用少カラズ其質ハ搦テ以テ柿漆ヲ取ルヘシ用亦廣シ</p>	<p>材質堅硬肌理緻密中部烏黒或ハ黑白斑ヲナス飽削シテ光澤ヲ生ス之ヲくろがきト稱ス</p>			<p>諸柿樹皆互ニ換接スヘシ</p>			<p>子實ヲ下ニテ生ス</p>	<p>山野ニ自生スル者多シ人家ニモ栽植ス</p>	<p>枝柯廣張翠葉婆娑タリ</p>	<p>雌花實ヲ結フ圓ニシテ大サ七八分季實ノ如シ其味澁ニシテ啖フニ耐ヘヌ初青綠色熟シテ紅</p>	<p>立夏ノ際花ヲ開ク黃白色四瓣綠蕊雌雄アリ雌花大ニシテ疎雄花ハ小ニシテ掛懸ス皆柿花ニ同フシテ較小ナリ</p>	<p>楕圓尖頂長サ三寸許邊ニ鋸齒ナシ霜後紅葉シテ麗奪ス</p>	<p>枝條肥大ニシテ交加ス</p>	<p>直聳スルモノ高三四丈圍七八尺樹皮灰白ニシテ褐色ヲ帶フ厚硬皺皴ス</p>			<p>まめがさ</p>	<p>名 方</p>	<p>名 漢</p>	<p>君 遷 子</p>	<p>名 洋</p>	<p>DIOSPYROS LOTUS. シラスピロス ロチニス</p>



第五十七號
牛乳如き

石南科 提 要 號八十五第
器常潤漑 具綠葉木

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
諸國深山中ニ産シ山嶺ノ陰地ニ繁殖ス肥饒陽煖ノ地ヲ喜ハス下野日光諸山ニ最モ大樹ヲ生ス大和金峯山モ亦之アリ然レ 而土地ニヨリ葉花ノ形狀少異アリ○此樹寒ヲ喜フ高山ノ樹木生セス纔ニ草ヲ生スル極點ノ寒地ニモ亦能ク生スト云フ	枝葉婆娑トシテ陰翳ヲナス高山ニ在ルモノハ枝幹齊シク地ニ榻ヲ深間ニ生スル者ハ較伸長ス樹性成長速ナラス	子實ヲ結フ亦踴躍ニ似テ長サ寸許紅色ナリ縦裂シ内ニ細子アリ	立花ノ後ニ筒子花ヲ開キ踴躍花ニ似タリ枝頂ノ一莖中ヨリ十餘花ヲ出シ恰モ球狀ノ如クニシテ掛懸ス其色淡紅紫色ニシ テ頗ル靚ルニ堪ヘタリ	長楕圓ニシテ末潤ク木狹シ長サ四五寸頭微尖邊ニ鋸齒ナシ互生ス厚硬ニシテ面深綠青ニ淡褐ノ茸毛ヲ生ス冬ヲ經テ凋落 セス	枝條肥軟ニシテ屈曲優美ス	其幹曲辰シテ端直ナル者少シ高丈許ニ過キス圍亦尺餘樹皮暗褐粗ニシテ厚カラス	<p>名 通</p> <p>ヒヤクナゲ</p> <p>名 方</p> <p>ヒヤクナギ</p> <p>名 漢</p> <p>石 南</p> <p>名 洋</p> <p>RHODODENDRON METTERNICHL.</p> <p>ロドデンドロン メテルニチ</p>

種	藝			養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺					
深山ニハ自生スルモノアリ				洗クニ米泔水ヲ以テス或ハ油滓ヲ與フ殊ニ人糞ヲ洗クヲ忌ム		其材質白色肌理緻密ニシテ堅硬ナリ鉋削シテ光澤ヲ生ス	印材トナシ櫛ヲ製シ墜子ノ類ヲ作ルヘシ	世俗此材ヲ以テ神靈アリトシテ貴重ス故ニ伊豫地方ノ俗ニ裁帛板トナシテ之ヲ用ユル者モ亦此意ナラン但何ニ據ルヲテ 知ラス
移植スル者ハ結土ニ交ユルニ細砂ヲ以テス深山ニ産スル者ハ庭園ニ移植シ難シ僅ニ盆栽スヘシ			立夏或ハ秋分ノ後摺挿シテ活ス					

第五十八號

一やぐさき



第九十五號
提要
石南科
澁葉木
潤葉木
落葉木
薪柱柴

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名			
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋
	<p>直幹ナル者ハ屋柱トナシテ頗ル雅致アリ山家伐採シテ柴薪トナス ○普通ノ小木庭園ニ栽テ花ヲ賞スヘク紅花ノ者盆栽ニテ最愛スヘシ</p>	<p>材色微赤肌理緻密雲紋アリ其質硬堅ナリ</p>						<p>根旁小樹ヲ分植スヘシ</p>		<p>深山ニ自生ス山ノ中腹以上巖石ノ間ニ生ス日光山中最多シ</p>	<p>細條繁稠ニシテ帚ノ如ク四出シテ揚起セス ○此樹深山ニアラサレハ皆喬大ナサス</p>		<p>夏月筒子花ヲ開ク大サ寸餘五瓣紅色風鈴狀ヲナス頗ル美ナリ或ハ白花ノ者アリ</p>	<p>楕圓尖頂長サ寸餘深綠色ニシテ薄シ霜ニ遇テ飄零ス</p>	<p>枝柯肥大細條極メテ多ク其色亦淡黒</p>	<p>直幹スル者高二丈許圍二三尺ニ及フアリ樹皮外面淡黒ニシテ薄シ皺皺ヲナス</p>	<p>根</p>	やしやつゝじ	名 方	名 漢	名 洋
																		ANDROMEDA	SP.	ア ン ド ロ メ ダ	



第五十九號
やしんまつ



號十六第
提嬰
齊整果
科
澁木
落葉
器具薪柴

種	藝						地適	形						稱名						
	條	接	條	植	植	條		體	實	花	葉	枝	幹		根	名	通			
種子下シテ生ス				根傍ノ小木ヲ分植スヘシ		活シ易ク	山野ニ自生ス諸地アラサルナシ而シテ潤地ニアルモノ最繁盛ス	半樹以上數幹ヲ分生シ翠綠扶疎ナリ	夏月小花ヲ開ク五瓣白色大サ六七分柑樹花ニ似テ香氣アリ三五花掛生ス梗長シテ葉間ニ下垂ヌ又瓣脚ノ微赤ナル者アリ	楕圓尖頂大サ一寸許邊ニ鋸齒アリ淺綠ニシテ互生ス霜ヲ經テ凋落ス	枝條旁出シテ能ク舒長ス	高丈餘大ナルハ二丈餘ニ至ル皮色蒼褐ニシテ灰白ノ斑點多シ滑澤ニシテ皺セス	ろくはぎ	ろくはぎ	ろくはぎ	ろくはぎ	漢名	齊墩果	洋名	STYRAX JAPONICUM. S. ET Z. ステラキス シヤボニキム
白質ナリ肌理密ニシテ甚々堅硬ナラス																				
傘柄ノ轆轤ヲ作ルニ必ス此材ヲ需用ス獨樂及桶樽ノ嘴子其他撥作諸器ノ用ニ供スヘシ萌蘗ノ速ナルヲ以テ山家伐斫シテ柴薪トス其實ハ仁ヲ榨テ油ヲ取ルツニ油ト云フ山家ニ油ヲ取ルモノ同名多シ																				
庭院ニ植テ花ヲ賞スヘシ																				
細條ノ末ニ蟲窠ヲ生ス羽化ノ如キモノ五七ヲ擡生シ内ニ向ヒ卷曲ス淺綠微黃ニシテ白粉ヲ帶フ中ニ蟲アリ羽化シテ出ツ																				



第六十號
木
ご

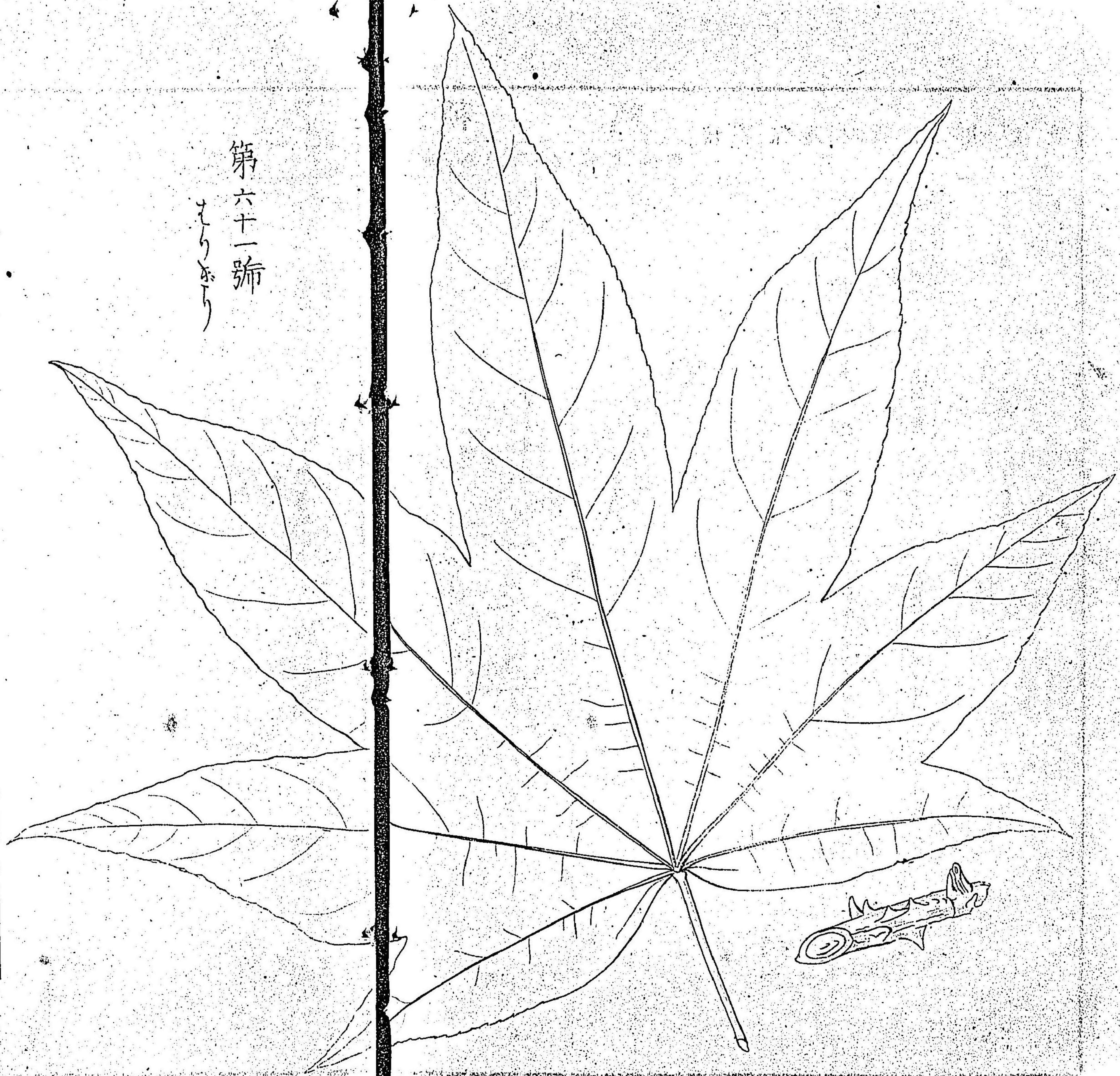
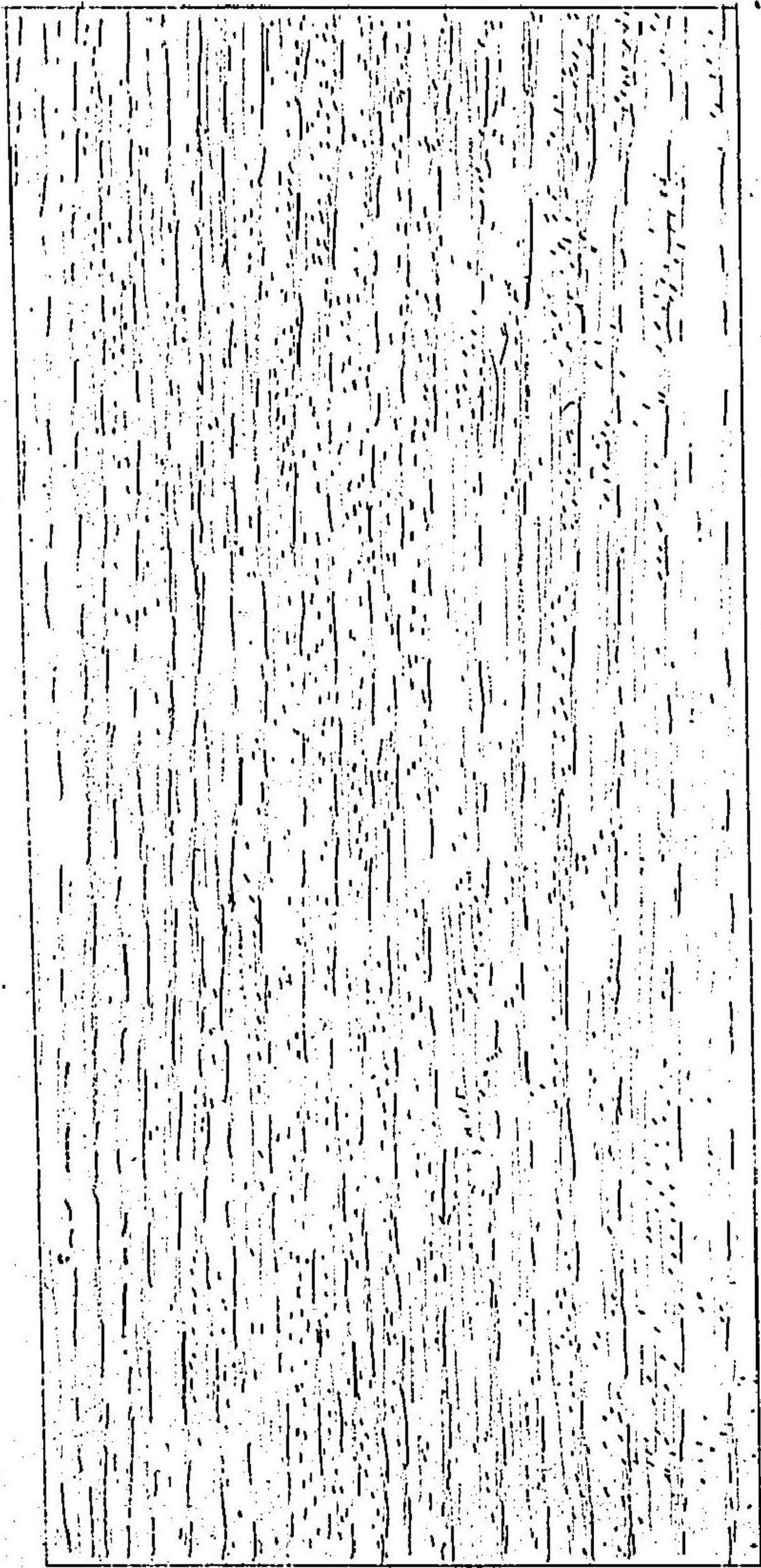


五加科 喬木 潤葉 落葉 諸用 提要 第六十一號

種名	形 狀						地 適	種 藝					養 培	護 保	質 材	用 効	說 雜	
	根	幹	枝	葉	花	實		全 體	植 實	植 苗	條 摺	接 嫁						條 壓
刺楸	幹身直上シテ高二四丈圍七八尺皮粗厚ニシテ皴散ス其色黒褐ナリ此樹幹小ナレハ多ク大刺アリ老大ナルニ及ヒ漸ク解脫シテ堅ク其痕癭狀ヲナス	枝柯肥大翠滑小枝ニ刺アリテ鋭甚シ	其葉七裂或ハ九裂ヲナシ邊ニ鋸齒アリ大サ五寸許柄ノ長サ全葉ニ過ク深緑ニシテ厚シ霜後飄零ス	夏月枝梢ニ白色ノ小花掛旅シテ開ク	實	樹容壯大翠綠ヲ成ス	諸國山林及ヒ深山中ニ産ス陰濕ノ地ニ生殖ス木曾日光諸山其他陸羽丹波近江諸國最モ多シ	下種シテ生シ易シ	樹性甚ク盛ナリ濕土ニ摺挿シテ能ク活ス						白質ニシテ淡青ヲ帯ヒ飽削シテ光アリ木理桐材ニ類ス堅硬ニシテ重量ナリ又粘力アリテ折レズ	建築ノ用ニ供スヘク匣箱諸器ヲ製シテ最モ可トス又棺及昇棒ノ類ヲ作ルヘク鑛作ノ用ニ宜シ	山民其嫩葉ヲ食ス	日光山中此材ヲ名産トシテ他國ニナシト自負ス
名 漢	名 漢							名 漢										
名 洋	名 洋							名 洋										
	KALOPANAX RICINIFOLIA MIQ.							カリバナクス リニホリア										

第六十一號

せりぎり

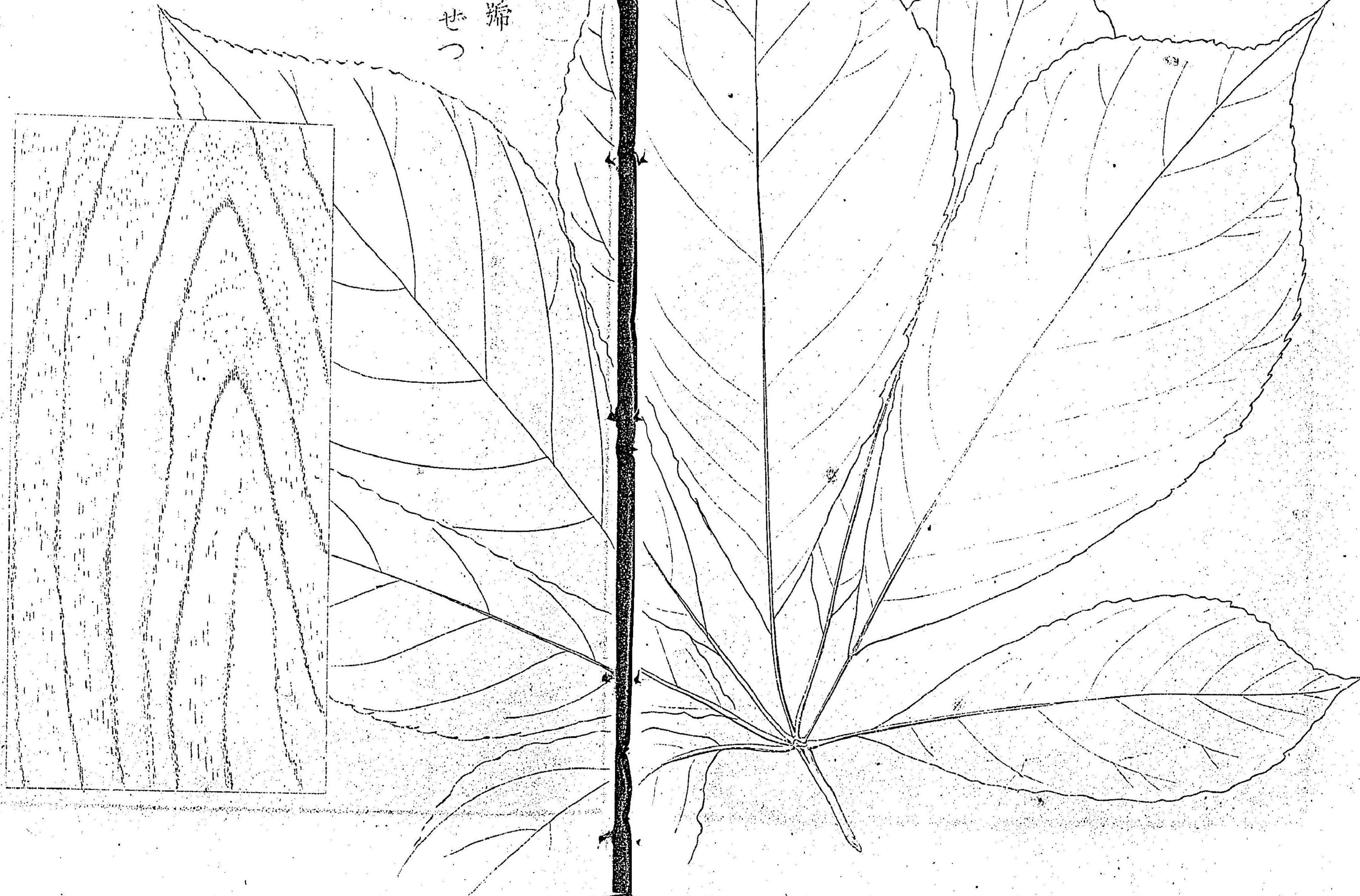


柴器落潤喬五
薪物葉葉木加
科
提要
號二十六第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質
	棒及木履ノ類ヲ作ル薪柴トナシテ中品ナリ山人嫩芽ヲ採リ之ヲ食フ	白質ニシテ軟ナリ							

地 適	状 形						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
山林中ニ生ス		圓實ヲ結フ熟シテ黑褐ナリ	秋月枝上ニ花ヲ若ク傘狀ヲナス小ニシテ白色簇生シテ密ナリ	掌狀ニシテ一柄上五葉ヲ若ク柄長サ六七寸其一小葉倒歪形ニシテ尖頂長サ四五寸邊ニ鋸齒アリ淺綠ニシテ厚カラス	枝條長大	高三丈許圍三四尺	
							名 通 む ん せ つ 名 方 こ ん ぼ ん ぼ く 名 漢 名 洋 ACANTHOPANAX. アカントバナキス

第六十三號
其人世つ



種名	形態						地適
	根	幹	枝	葉	花	實	
蚊母樹 <small>橋又柞</small>	樹ノ成長速ナラスト雖亦能ク聳立ス老樹ニ至テ高二丈許圍三四尺ニ過クルモノアリ樹皮厚硬ニシテ粗ナラス其色灰白ニシテ淡黒ヲ帯フ	硬ニシテ幹ト同色ナリ	深翠ニシテ厚ク長楕尖頂邊ニ鋸齒アリ山茶葉ニ似テ較小往々葉面ニ贅瘤ノ如キモノヲ生ス	春月新芽ヲ發スルノ後小花ヲ發ク黃色ニシテ積生ス	圓實ヲ結フ大サ二分許熟シテ黒色	枝柯廣張シ翠綠陰ヲ成ス○枝梢或ハ葉間ニ桃實狀ノ如キ者ヲ生ス小ナルハ金柑ノ如シ大ナルハ桃杏ノ如シ形狀一ナラス蟲窠ナリ中ハ空虚ニシテ細蟲多シ初ハ綠色熟シテ黃褐色	温暖ノ地ニ産スルモノ最モ能ク喬大ヲナス寒地ト雖亦生ス
方名 蚊母樹	漢名 蚊母樹	洋名 DISTYLUM RACEMOSUM. S. ET Z. ジステリウム ラセモジウム					

種	藝					栽培	保護	質材	効用	雜說
	條腿	接嫁	條摺	植苗	植實					
實	子實ヲ下シテ生ス									
苗	根土ノ小木ヲ分植マテ活シ易シ									
摺	摺挿シテ活ス寒地ニ在テハ傷ミ易シ									
條腿										
接嫁										
條腿										

木質極テ堅硬ナリ肌理亦密ニシテ淡黒褐色ヲナス或ハ微赤ヲ帯フルモノアリ一種黒褐ニシテ極メテ緻密重量ナルモノアリ上等品トス蓋シ數十年土中ニ埋藏セシ者ナリト云

屋柱トナン頗ル佳致アリ之ヲ拭フテ久ケレハ光澤ヲ生ス又櫛ヲ作り樂器家具ヲ作ルヘシ柴薪トナシテ上品トナシ又皮ヲ燒テ灰トナン陶製ノ用ニ供ス他ノ木灰ノ及フベキニ非ス

庭院ニ栽テ頗ル觀ルヘン

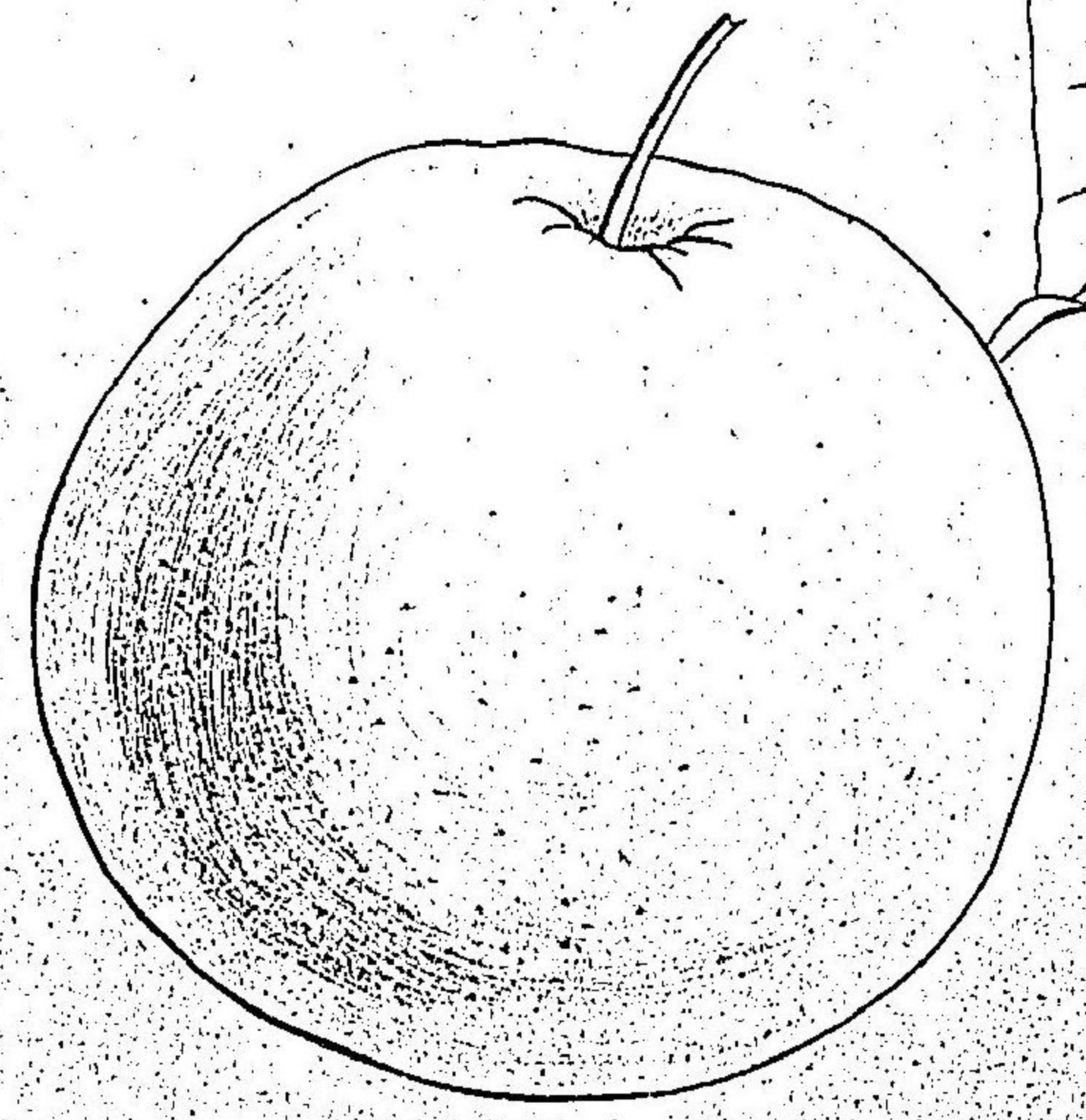


第六十三號
いす

器落潤喬器
具葉葉木科
提要

號四十六第

雜說	効用	質材	保護	栽培	種藝				形狀						地名				
					條歷	接嫁	條摺	植苗	植質	全體	實	花	葉	枝		幹	根		
此樹果形ノ大小熟時ノ早晚色ノ黄緑ヲ殊ニスルモノ數十種ニ下ラスト脚皆一個ノ梨樹ニ外ナラス然レモ其原種ハ蓋シ鹿梨 <small>(いぬなし)</small> 一名 <small>やまなし</small> ナラン此樹各地ニ之レアリ老大健全ナリ	果實甘脆多汁以テ渴ヲ解クヘシ諸果中ノ最モ佳ナルモノトス	机案匣箱及文房ノ具ヲ製シテ甚タ雅美ナリ印板及櫛トナシ又諸器具ヲ鑿作スヘシ石盤ノ縁板トナスニ此材ヲ最上品トナス	稚木竿ヲ堅クシ之ヲ擁護ス樹甚タ高大ナレハ果ヲ結フコト少シ故ニ石ヲ懸ケテ枝條ヲ低垂セシメ棚ヲ作テ之ニ上ホス最妙ナリ且下枝ヲ斫伐スルヲ禁ス其果ヲ保護スルノ法樹上ニ於テ每顆紙袋ヲ以テ包裹シ年ヲ越テ採リ食フ味亦佳ナリ材色淡赤ニシテ中部紫赤肌理堅密ナリ	冬月多ク輕肥水ヲ澆クヲ要ス根土ニ酒滓ヲ埋ムルモ亦可ナリ	啓發ヲ嫁接ノ季節トナス鹿梨ヲ砧トス最モ妙ナリ接換セサレハ其果小ニシテ苦澁ナリ	最熟ノ大顆ヲ用テ肥良ノ砂壤ニ全埋ス來春ニ至リ芽ヲ發ス	苗生シテ次年移植ス若シ適地ヲ得サレハ黑壤ノ地ヲ熟耕シ細砂ヲ交把シテ栽植ス	樹性甚タ砂壤ヲ喜フ溫暖ニシテ烈風ヲ受ケサル肥良ノ地ニ栽植スル最モ妙ナリ黄赤粘土及ヒ礫瘠ノ土ニ生スルモノ其果多クハ硬澁ニシテ啖フニ堪ヘス	圓毬狀ニシテ豐肥下垂ス其大ナルモノハ殆ント拳ノ如シ皮ニ細美ノ白點ヲ生ス初メ深青熟シテ黄色ヲナス或ハ赤色ヲ帶フ其肉細沙澁ニシテ甘味微酸ヲ帶フ果心堅硬ニシテ十餘子ヲ包ム其子黒褐	清明ニ每梢花ヲ發ク一苞數花ヲ掛出ス白色五瓣兩全花ニシテ多雄蕊ナリ梗長サ一寸許花容觀ルヘク香芬愛スヘシ	圓潤尖頂大サ二寸許柄ノ長サ亦葉ノ長サ均シ邊ニ鋸齒アリテ互生ス小枝ノ頂ハ數枚ヲ掛生ス深青光滑ニシテ微厚ナリ霜ニ逢テ紅黄色ヲナシ觀ルヘキ者アリ各樹皆然ルコアラス	高二三丈圍四五尺樹皮皺セス青黒ニシテ白斑多シ	枝條肥大ニシテ四出ス其皮深翠ニシテ果ノ未ク熟セサルモノト其色ヲ同フス	な	方	漢	梨	洋	PYRUS COMMUNIS LINN. ピリユス コムミニス
														枝柯密ナラス沃若トシテ翠蔭ヲナス					



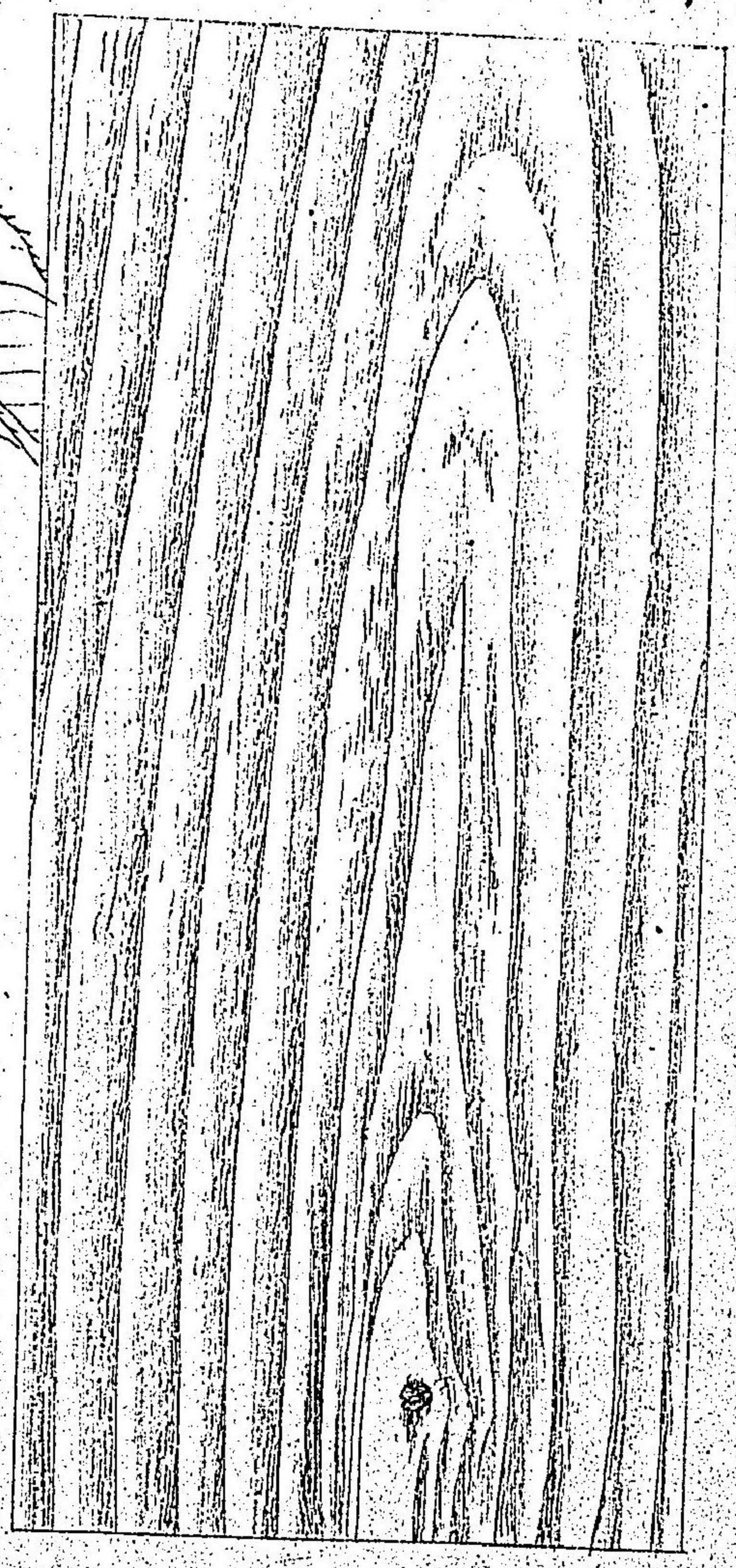
第六十四號
杏

提 要
 蔷薇科
 喬木
 落葉
 器
 物
 第六十五號

名 通	形 状						地 適	種 藝					説 雜		
	名 方	名 漢	名 洋	根	幹	枝		葉	花	實	體 全	植 質		植 苗	條 摺
さくら	やまざくら	山櫻桃	PRUNUS PSEUDOCERASUS LIND. プリニウス セウドセラ シニス	高四五丈圍七八尺 樹皮横理灰白色ニシテ紫黒ノ斑點アリ老樹ハ皺皺ヲナス 横山四敷ス喬木ハ數十尺ニ巨ル	楕圓ニシテ尖頂長三四寸鋸齒アリ柄長一寸許青酸ノ香氣アリ	清明花ヲ開ク白色ニシテ單瓣五出瓣頂缺刻アリ一苞二三梗ヲ抽ツ梗長一寸許花ヲ賞スルモノニ至テハハひがんざくらやえざくら等ノ種アリテ單瓣アリ重瓣アリ色ニ純白ナルアリ淡紅ナルアリ淡黄ナルアリ開クニ早晚アリ其類ヲ細別スルハ百餘種ニ及フ他樹ニ比スレハ花最多シ 花後梗頭ニ圓實ヲ結フ大サニ三分熟スレハ紫赤色味甘シ啖フヘン中ニ小核アリ 婆娑トシテ鬚花時ノ如キハ一白雪ヲ欺ク梅李ノ能及フ所ニアラス	山林ニ自生ス花ヲ賞スル者ハ原野市街栽サルコナク而シテ亦植セサルナシ最高燥ノ地ヲ喜フ卑濕ノ地ハ久レカラスニテ枯ル	下種シテ生ス 根傍ノ小本ヲ分植シテ亦能長ス 摺挿シテ活ス やまざくらノ苗ハ西洋種ノ櫻桃ヲ接スル砧トナスニ最妙ナリ他種皆換換スルニ難カラス	外部淡黄中部ハ淡赤木理緻密ニシテ硬シ	印板トナスニ必需ノ材トス又諸器物ヲ作り又鍍作ノ材ニ充ツヘン製圖家各種ノ定木ヲ作ル最良ノ材ナリ樹皮強韌ニシテ用ユヘン但樺木皮ニ及ハサルノミ又魚毒ヲ解スルノ能アリ花ハ鹽藏シ湯中ニ投シテ服スヘン實ハ釀シテ酒ヲ造ルヘシ 花ノ清麗富麗ナルヲ以テ庭院ニ欠クヘカラサルノ花トス					



第六十五號
老冬草



提
要
喬木科
落葉樹
器
柱

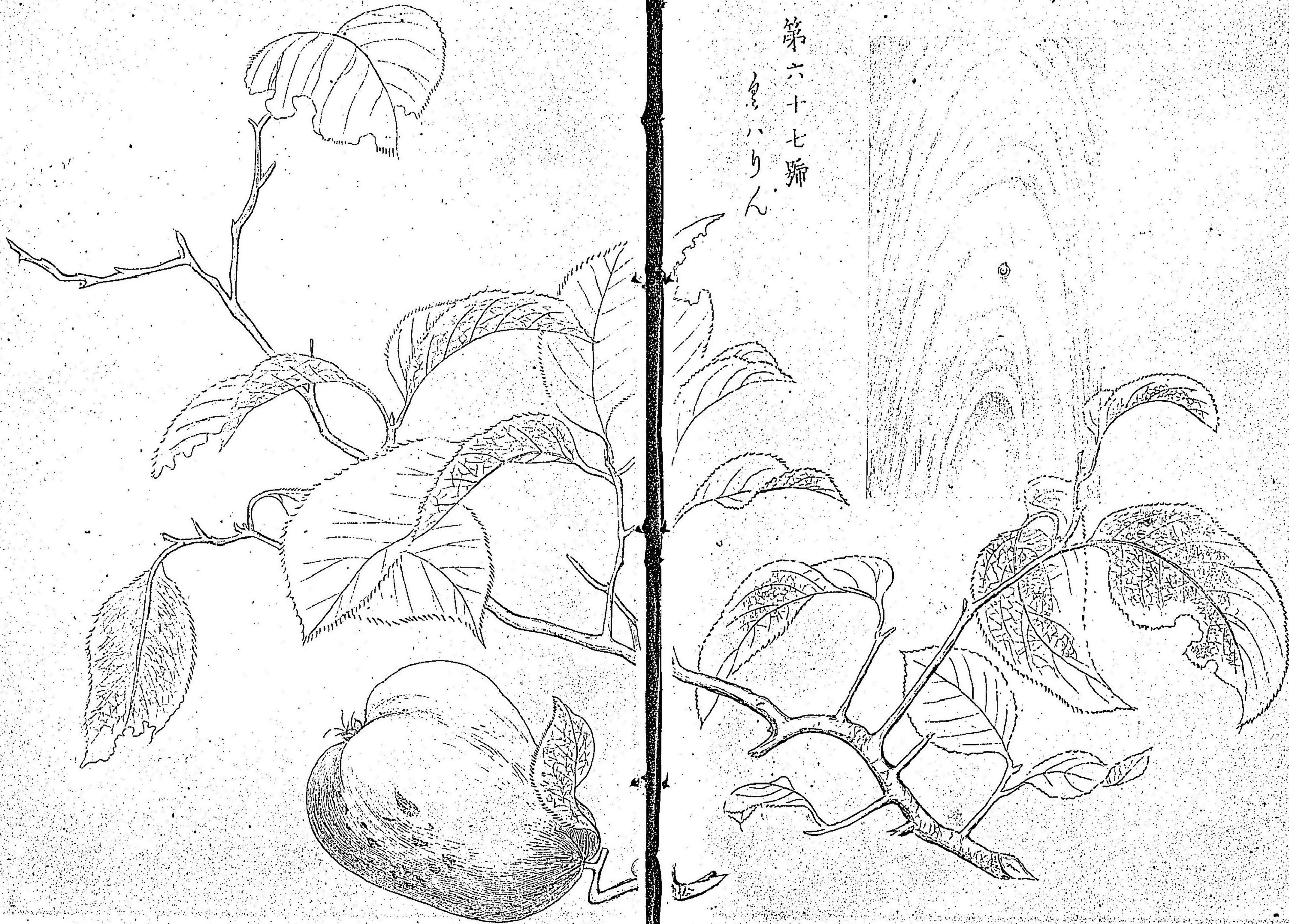
種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
う 光	花紅ナル者ハ根モ亦赤色	高二三丈圍二三尺幹直上スル者少シ老樹ハ内部朽腐シテ唯外皮ヲ以テ存スル者多シ樹皮紫褐色鱗皴シテ蒼蘚ヲ生スルコト多シ	横斜疎瘦皮紫褐色氣條ハ鮮綠色直上シテ一年ニ或ハ四五尺ニ及フ老樹枝梗曲亦蒼蘚之ヲ封シ寸許ノ苔鬚ヲ垂ルモノアリ又綠色ナルアリ	花後葉ヲ生ス圓形尖頂杏葉ニ類ス露齒アリ柄長五六分酸味多シ	啓發ニ花ヲ開ク五瓣白色縁紫赤芬香遠ク聞ユ之ヲ野梅ト呼フ又縁萼ナルアリ其枝亦綠花モ亦縁ヲ帶フ○一種冬至ニ開クモノアリ早梅ト云フ○花ニ重葉千葉アリ單瓣六出ナルアリ色ニ濃紅淡紅アリ紅白相間ナルアリ之ヲ細分スルハ二百餘種ニ至ルト雖今此ニ野梅ヲ以テ尋常ノ品トナス	花後實ヲ結フ圓形ニシテ大サ一寸許生ハ青クシテ熟ハ黃ナリ外面日光ヲ承レハ紅赤並チナスモノアリ中ニ核アリ○一種實ノ大サ寸半許ニ及フアリぶんごうめト云又小ニシテ金橘ノ大サノ如キアリしなのうめト云二三顆一枝ニ簇垂ス	假寒扶疎花ヲ開ニ至テハ風韻清高人最愛賞ス 新苗ノ生長速カラスト雖喬大ヲ爲スハ甚難シ
名 方	山野市街生植セサルナシ但卑濕ノ地ヲ忌ム能長大ヲ致スナシ 諸國梅林多シ伊賀國月カ瀬ニアル者最大ナリ						
名 漢	梅						
名 洋	PRUNUS MUME S. ET Z. プリニユス						

種 名	藝 種					用 効	質 材	護 保	養 培	説 雜
	條 壓	接 嫁	條 捲	植 苗	植 質					
う 光	梅雨ノ候壓條スヘシ	美花好實ヲ得ント欲スル者ハ嫁接セサルナシ春分ヲ佳トス晴明ヲ過ルモ亦接スヘシ			下種ヲ能生ス夏季ヲ佳トス	鐵作諸器ノ用ニ供スヘシ或ハ屋柱トナス雅致アリ 子實ハ以テ烏梅白梅トナスヘシ或ハ蜜煎糖藏シ或ハ梅醬トナス其用種メテ廣シ其花ハ鹽藏メテ白湯ニ投メテ之ヲ服スルニ甚芳最心胸ヲ快ス 此樹唯花ノ愛スヘシ實ノ啖フヘキノミナラス落木モ亦風韻アルヲ以テ人家庭園ニ栽サルナシ	赤質ニシテ堅使肌理緻密		澆クニ塘水ヲ用ユルハ茂ス肥養多量ナルハハ誘ヲ生ス	

第六十六號
糸

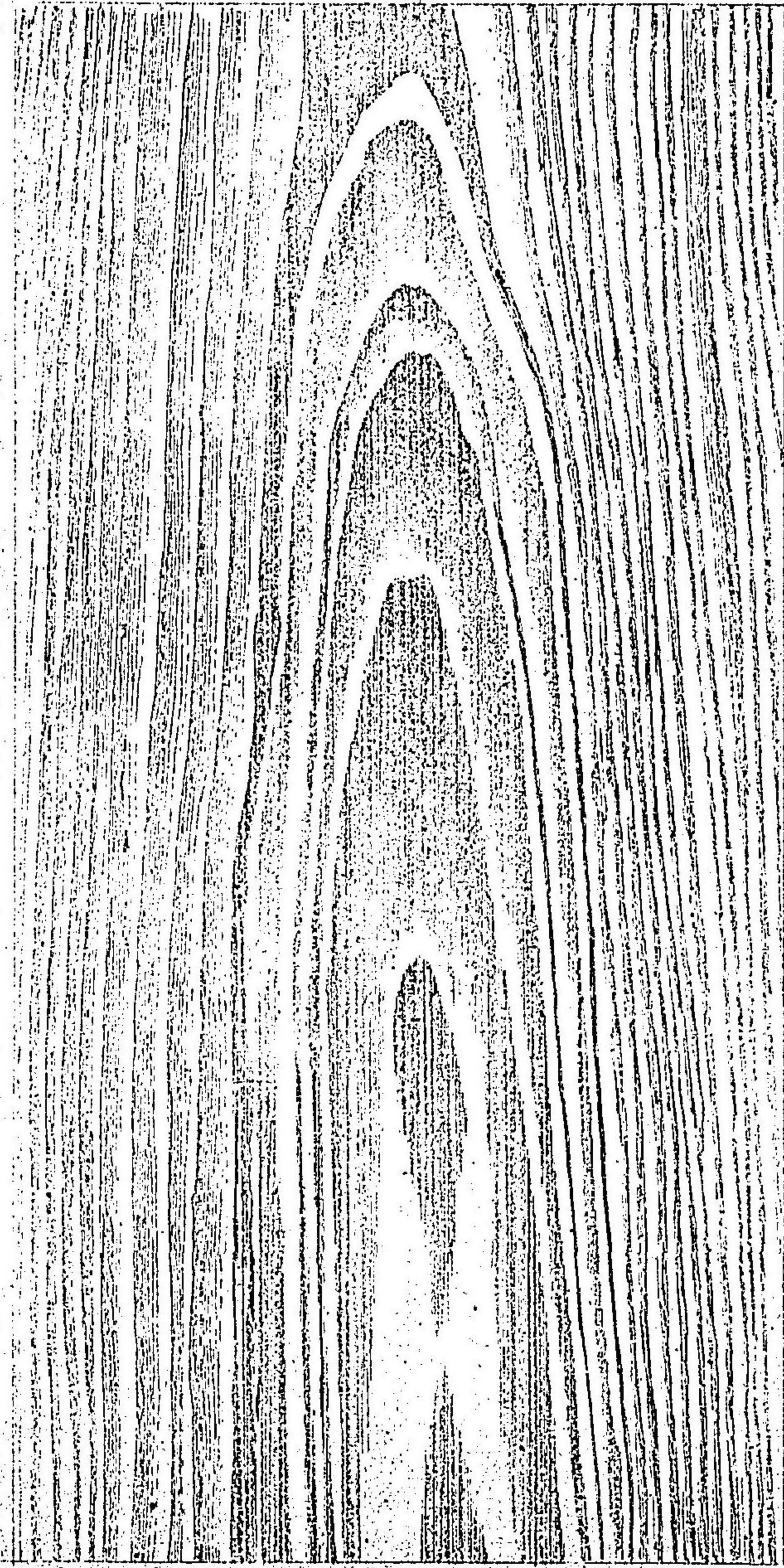


第六十七號
白ハリん



種 名	種 類					養 培	護 保	質 材	用 効	說 雜
	植 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 壓					
ずみ	肉ヲ去テ種子ヲ下生シ易シ			林檎ノ砧ト爲スヘシ			材色淡褐色肌理緻密堅硬ニシテ粘カアリ	机案匣箱ノ類ヲ作り鑲製ノ材ニ充ツヘシ山家多ク斧斤ノ柄トナス其質熟スト雖味酸ニシテ苦澁ナリ山家煨シテ之ヲ啖フ較甘酸ナリ或ハ鹽藏シ或ハ切テ曬乾シテ食料トナス木皮ヲ熟煮スル者ヲずみト呼ヒ木材ヲ黄色ニ染ムルニ用ユ漆工モ亦多ク之ヲ用ユト云フ		

地 適	形 狀							名 通
	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	
深山中ニ産ス東山道諸國最モ多シ	枝柯廣張シテ繁茂ス	實ヲ結フ圓ニシテ大サ七八分黄綠色日光ヲ受テ淡紅全面ニ細小斑點アリ霜後熟シテ自落ツ其味酸澁ニシテ甘シ	立夏ノ際梢頂ニ花ヲ開キ三五摺條ス五瓣白色ニシテ淡紅暈アリ大サ梅花ノ如シ	楕圓ニシテ上下皆尖ル狀林檎葉ニ似テ鋸齒較粗ナリ柄及葉背多ク白色ノ軟毛ヲ生ス冬月凋落ス	條暢四出小枝赤褐色ヲナス	樹幹直ニシテ高二三丈圍三四尺樹皮硬厚ニシテ粗ナリ其色黒褐		名 漢 名 洋 PYRUS ピリュス



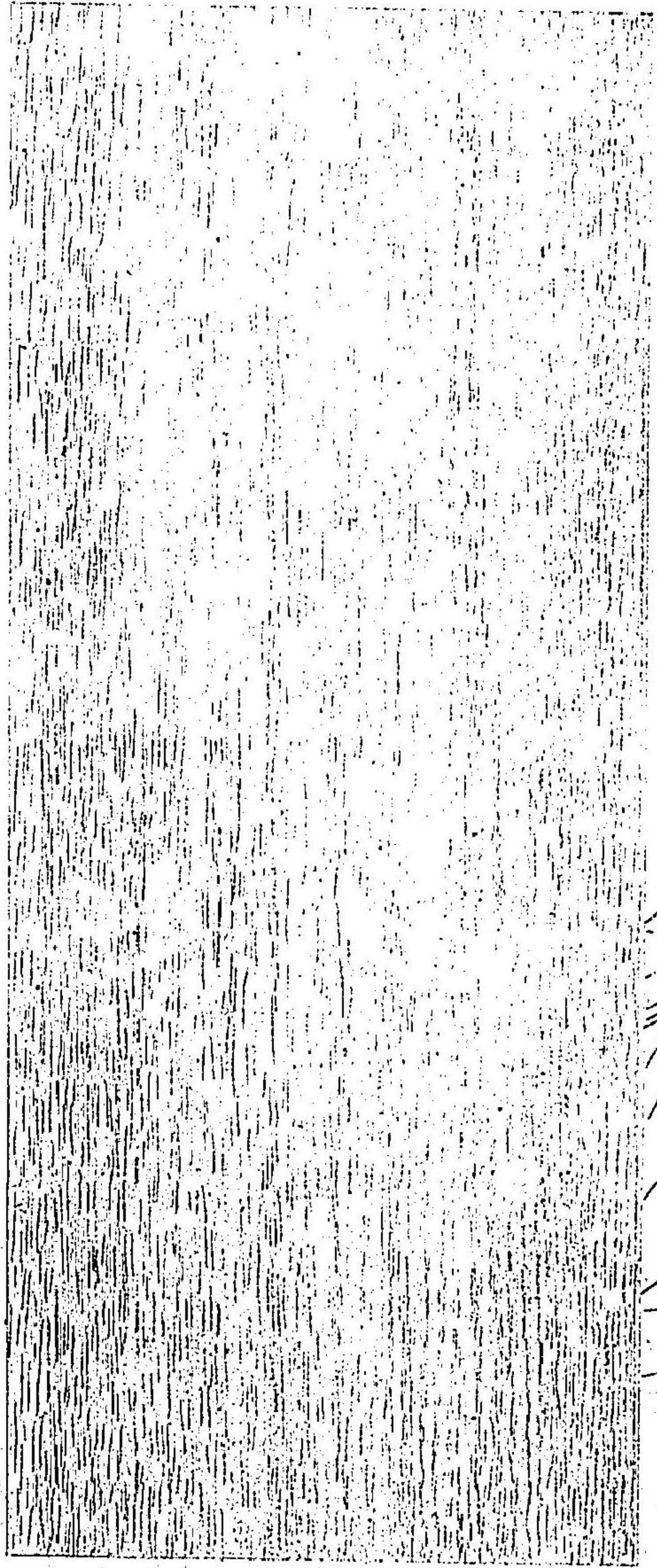
第六十八號
よみ

提 要
莖 木 科
喬 木 科
落 葉 木 科
諸 用

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
樹性水濕ヲ喜ンテ陰地潤土ニ在ルモノ能ク繁茂ス日向及三陸良材ヲ産スル最モ多シ	端直長彈シ幹ノ枝ヲ發スル甚ク高シト雖青翠葉密能ク庇蔭ヲナシ其姿凡ナラス	花後一穗ニ多ク焚ヲ結フ長二寸餘連珠狀ヲナシテ垂下ス之ヲ破レハ粘液多シ其子二三或ハ四五齊カラス形豈豆ノ如ニシテ小ナリ其色黒褐ニシテ硬シ	夏月枝梢ニ長穗ヲ發シ椀ヲ分テ小花ヲ持簇ス其一花ハ蛾形狀ヲナシテ豌豆花ノ如ク大サ三四分許其色淡黃ナリ	複葉ナリ小葉ノ大サ半寸楕圓形ヲナス綠色甚ク濃ナリ夜合朝開シテ合歡樹ニ異ナラス	枝柯舒長シ細條繁密皆深翠色ナリ	樹性能シ直生シ高四五丈圍七八尺ニ至ル者多シ樹皮淡黒褐ニシテ皺皺ス小幹ノ皮ハ纖維頗ル強シ	<p>名 通</p> <p>名 方</p> <p>名 漢</p> <p>名 洋</p> <p>SOPHORA JAPONICA LINN.</p> <p>ソホラ シヤボニカ</p>

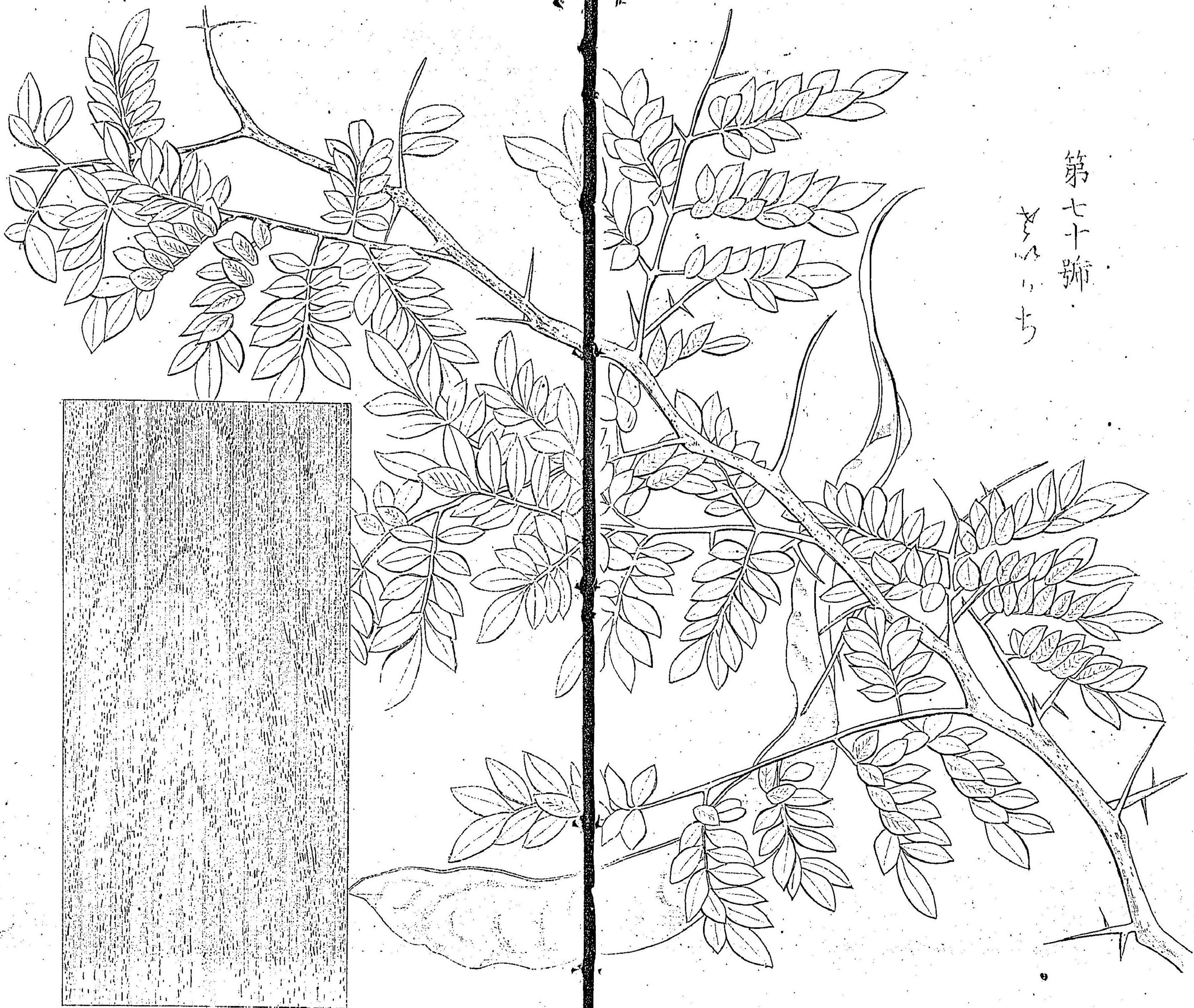
種	藝			種	質	種	質	種	質	種	質
	條 壓	接 嫁	條 摺								
子實ノ熟スルヲ採リ晒曝シテ収頓シ春分ノ後水ヲ以テ浸ヌ六七日芽ヲ生スルヲ候シテ下種ス				小樹細長ニシテ自立スル能ハス根コトニ木ヲ堅テ攔束ス	履輕肥水ヲ澆ケハ其生長殊ニ速ナリ	外部ハ白色淡黃ヲ帶ヒ中部ハ暗褐色ヲナス木理密ニシテ堅重ナリ且精力アリテ折レス	屋柱トナシ農馬ノ鞍トナシ諸器具ヲ作ルヘク又蓋盆ヲ鍍作スヘシ細幹ハ棍杆及農器ノ柄トナス又矯揉シ易キヲ以テ手斧柄トナス行道ニ栽植シテ頗ル可ナリ	發樹編日槐ハ直立成長ノ性アルヲ以テ林木ノ一ニ居ル			

第六十九號
名ん卜也



提 要
 豆 科 喬 木 葉 落 澗 器 物 染 料
 第 七 十 七 號

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
さ い か ち	高三四丈圍七八尺ナル者多シ刺アリ長三四寸枝極チナシ鋭甚シ 外皮灰白色粗ニシテ皺皺ス	高三四丈圍七八尺ナル者多シ刺アリ長三四寸枝極チナシ鋭甚シ	枝條長大ニシテ刺ヲ生スル最多シ	春月葉ヲ生ス複葉ナリ甚タ槐葉ニ似テ短小尖頂	夏月短穂ヲ垂レテ細小花ヲ開ク其色淺黄	花後實ヲ結ヒ莢ヲナス扁薄ニシテ潤サ寸餘長サ一尺許反張シテ正直ナラス熟スルニ及ヒ硬ニシテ黒褐色チナス冬月ニ至リ枯燥歪斜久ク繋テ落チス莢中十餘子アリ形豆ニ似テ扁小黒滑ニシテ甚硬シ	諸國皆アリ水涯ニモ亦能ク生殖ス
漢 名	皂 莢						
洋 名	GLEDISCHIA JAPONICA. グレヂスチア ジャポニカ						
種	藝					種 質	
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		
種 質	白質ニシテ木理密ナラス頗ル堅硬ナリ					春分種子ヲ下シテ生シ易シ	
用 効	護 保	質 材	養 培				
			其莢潤シテ長キヲ以テ長板莢ト呼フ又黒褐色ナルヲ以テ皂角子ト呼フ				
説 雜	用 効	質 材	護 保	質 材	養 培	種 質	
							莢ヲ用ヒテ皂色ノ染料トナス又其煎汁ヲ用テ洗フ最能垢ヲ去ル白馬ヲ洗フトハ毛髮ヲシテ皎潔ナラシム○山家春月其嫩葉ヲ採テ食フ 春杵ノ支柱ヲ作ルニ此材ヲ需用スト云フ



第七十號

きりぎりす

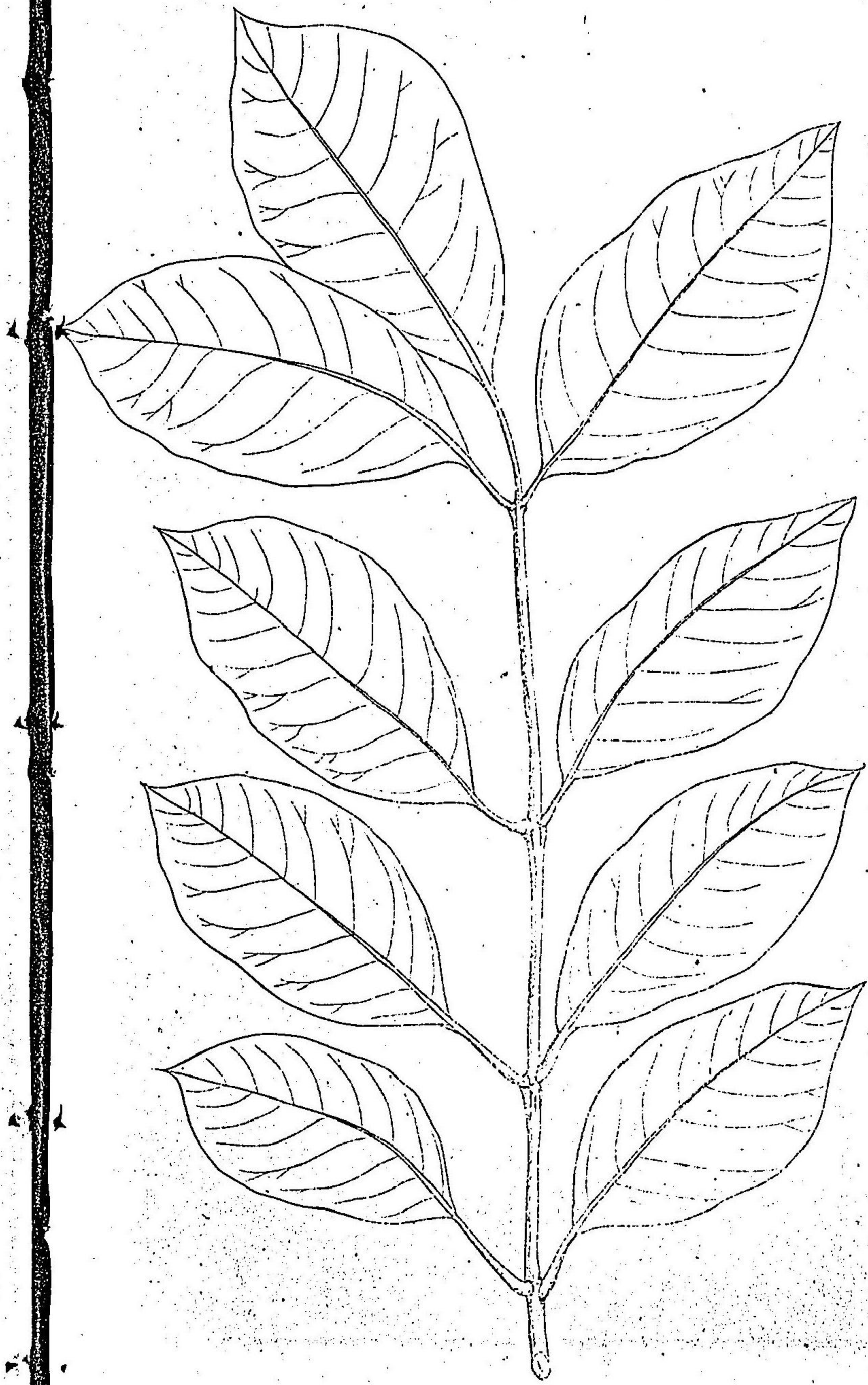
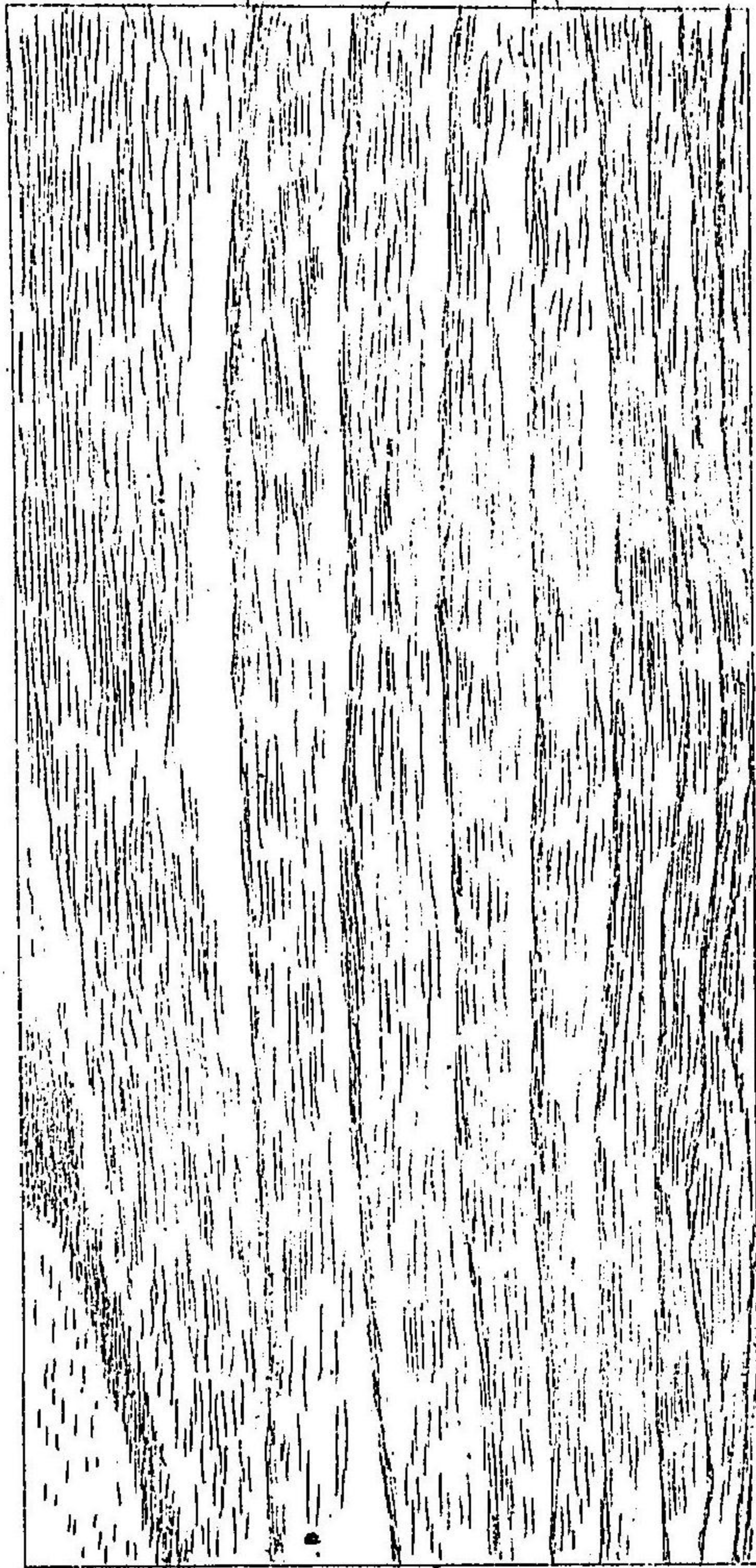
說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名						
					條 歷	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 漢					
樹質堅硬ニシテ材用ニ堪フ而シテ其子實輕質ニシテ飛散シ易キヲ以テ能ク自生繁殖スルコト少シ宜シク注意シテ收買下種スヘシ	馬鞍車輪及匣箱机案ノ類ヲ製スヘシ又鐵作諸器ノ材ニ充ツヘシ 木葉ヲ搗爛シ或ハ之ヲ煎シ其汁ヲ用テ衣ヲ洗ヘハ最能ク垢ヲ去ル	白質堅硬ニシテ肌理密ナリ	枝條甚ク繁稠ナレハ或ハ烈風ノ爲メニ頗仆セラハ、ノ恐アリ適度ニ斫伐シテ之ヲ防クヲ要ス				挿挿シテ活ス	根土ノ小木ヲ分植スヘシ	子ヲ下シテ生ス	山野陽暖ノ地ニ自生ス水涯ニ在ルモノ最モ繁殖ス深山寒地ニ生セス	再重複葉ナリ其一葉ノ形橢圓大サ二分許兩々對生ス昏夜相合シテ眠ルカ如ク且日漸ク開ク	夏月枝頭ニ花ヲ開ク數葉環生シテ傘形ヲナス其花絲長シテ球狀ナナン肩刷子ノ如ク上半ハ肉紅ニシテ下半ハ白色ナリ茸然散垂ス豐富ニシテ頗ル艶ナリ	花後莢ヲ結フ扁薄ニシテ長二四寸濶五六分莢中ニ小子アリ大サ米粒ノ如クニシテ薄シ其色黒褐ナリ	婆娑トシテ四散シ枝條繁茂ス頗ル嬌婉ノ態アリ	枝條柔軟四出シテ微垂ス	幹圍四五尺ナルモ高二三丈ニ過サル者多シ 外皮灰白色		ね ぶ の き	名 方	ね ね が ぶ ほ う た か	名 漢	合 歡	名 洋	ALBIZZIA JULIBRISSIN. アルビジア ジュリブリン

第七十一號
收七



漆樹科 喬木 漆葉 落葉 匣箱 漆 提 要 號二十七第

種 名	形 狀						地 適	種 藝					養 培	保 護	材 質	効 用	雜 說				
	名 通	名 方	名 漢	名 洋	根	幹		枝	葉	花	實	全 體						植 實	植 苗	條 摺	接 嫁
うるし			漆 樹 又 漆	RHUS VERNICIFERA DC. リス ヴェルニシフェラ	直上シテ高二三丈圍二三尺大ナルハ四丈ニ至ル外皮灰白ニシテ粗ナリ○雄本雌本アリ	肥大四出	複葉ニシテ一柄七九葉ヲ排生ス其一葉ノ大サ二寸許長楕圓正中ニ在ルモノ最モ大ニシテ左右漸ク削小ス霜ニ遇テ猩紅背黄色	夏月枝梢長穂ヲ出シ小花ヲ開ク其色黄白	圓扁ニシテ大サ二三分外皮黄茶色ニシテ光澤アリ肉中ニ一子アリ亦扁圓歪形一穂數十ヲ着ク	暢條四出シテ杈極婆娑ク	潤濕ヲ喜ンテ水涯ニ在ルモノ最モ能ク繁殖ス寒地ニ適應シ南方暖地甚ク稀ナリ越前太相摸等能ク漆ヲ製出ス奥羽ニ産出スルモノヲ最良トス其汁甚ク強カアリ蠟ニ至テハ岩代ヲ以テ最トス							種法はせニ同シ	中部深黄ニシテ頗ル美ナリ木理疎ニシテ軟質ナリト雖能ク水濕ニ堪ヘテ久ク朽腐セス	器具ノ用ニ供ス匣箱ヲ作ルモノ最モ雅美ナリ故ニ寄セ木ニ用ユ又鑲作ノ用ニ充ツヘシ其皮ヲ鋸シテ油脂出ルヲ採リ製シテノ用トナス民益ヲナス莫大ナリ亦洋外輸出中ノ一部トス其實蠟ヲ採ルヘシ	漆毒アリ漆ヲ畏ル、人之ニ觸ル、ハハ身肉癢腫ヲ發ス



第七十二號

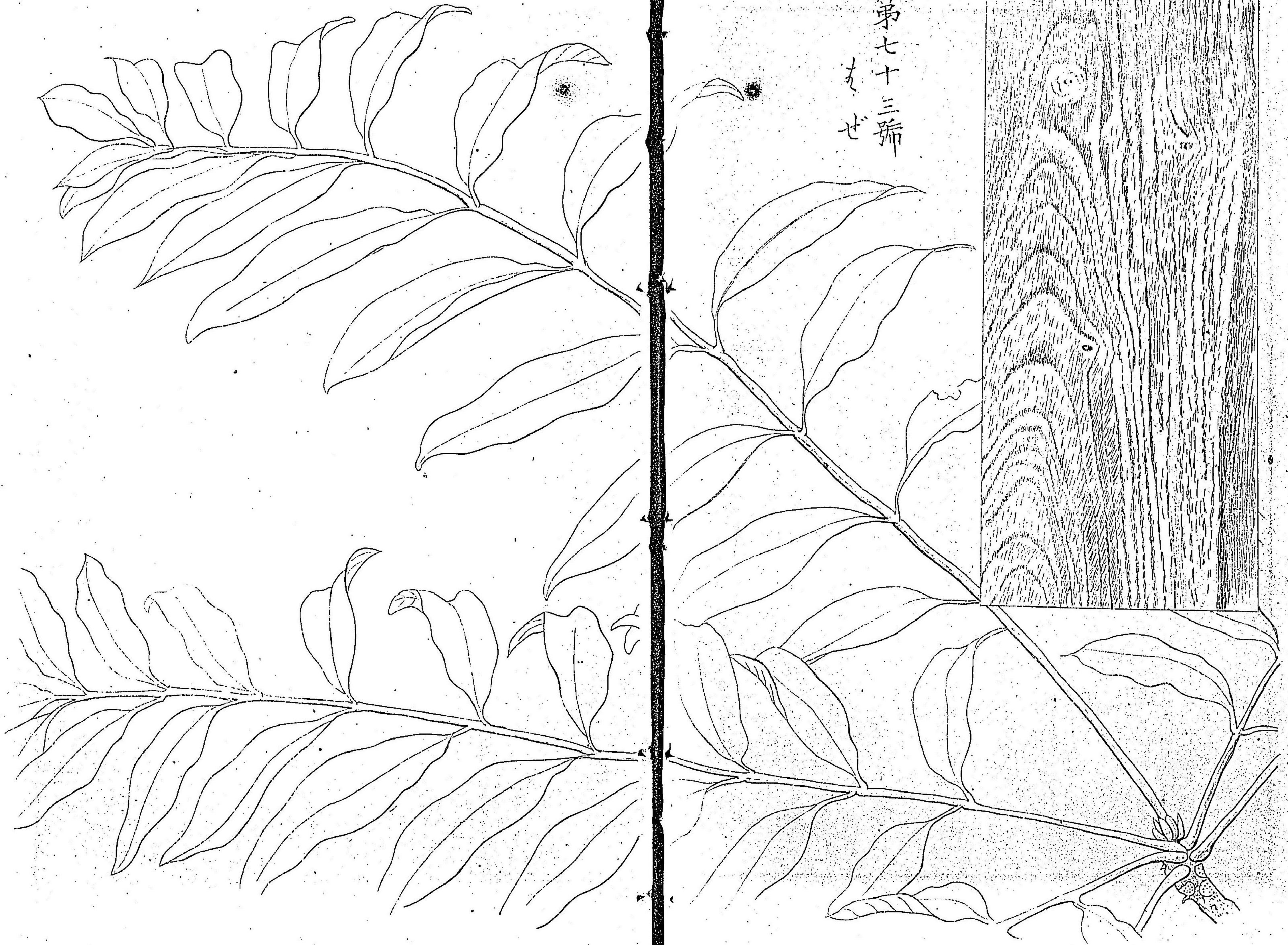
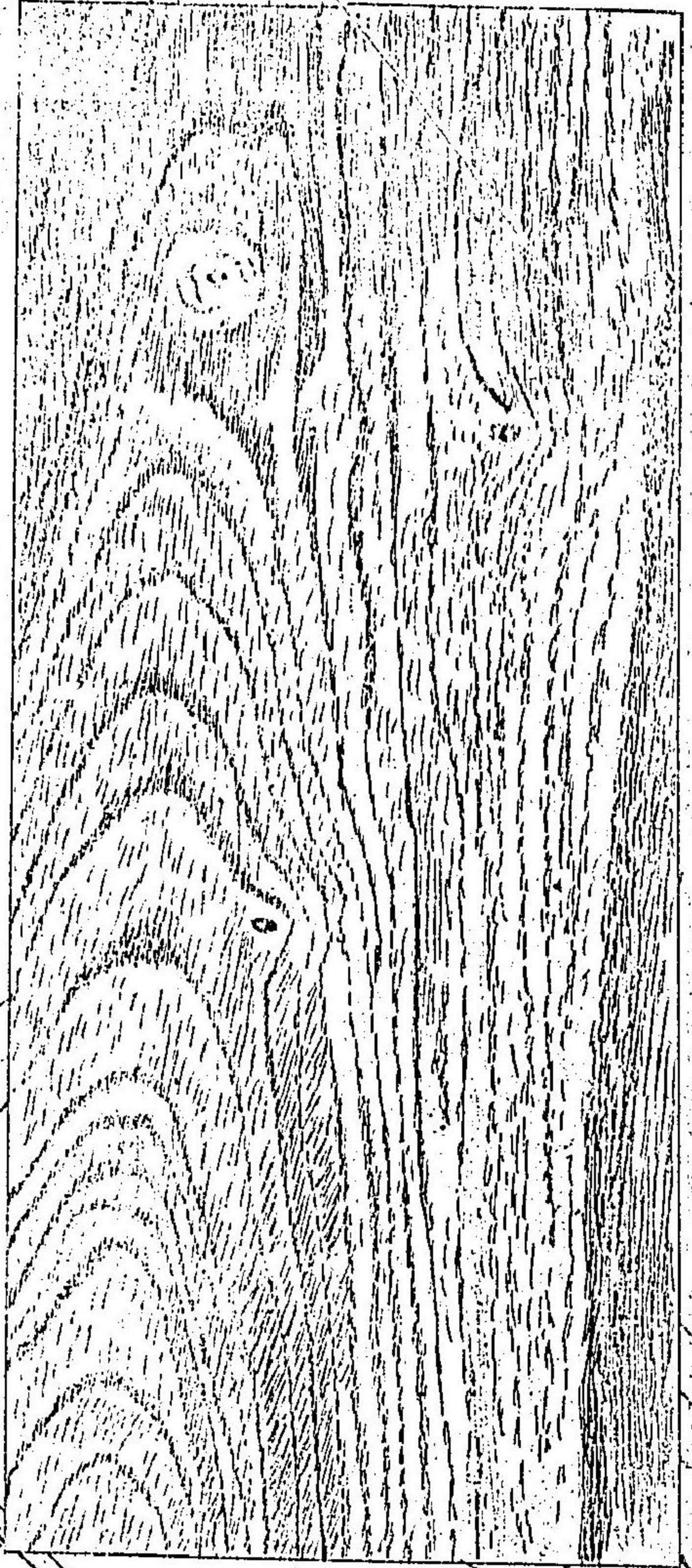
)}
る
}

號三十七第
提要
漆樹科
木
葉
葉
落
器
蠟
物
採

種	藝		養培	護保	質材	効用	雜說
	條	條					
實植	接	條	春月種子ヲ下ス者ハ預メ畦畝ヲ熟耕シテ輕鬆ナラシメ多ク糞肥ヲ用ユ苗ヲ移栽スルノ後ハ屢澆水及米泔ヲ澆ク	新苗ヲ生スル本年ハ夏月棚ヲ搭シテ炎日ヲ遮蔽シ草ヲ生スルモ切リニ耘除セス其根ヲ害セザルヲ要ス	材質黃色堅軟宜キヲ得テ肌理密ナラス	弓材トナシナリ又器具ヲ造ルニ中心深黃ニシテ美ナルヲ以テ需用スルコト多シ其質ナ格テ蠟トナシ以テ蠟燭ヲ作ル但漆ニ比スレハ一等ヲ讓ル	正保二年始テ此種ヲ我邦ニ傳フ(蓋明人)今ニ至テ西海南海山陽ノ三道極メテ多シ蠟ヲ製スルノ法農家益ニ詳ナリ
植苗	條	條	下種セント欲スル者ハ霜後實ノ熟スルヲ取リ小白ヲ用テ輕ク搗過シ子實ノ皮肉ヲ除去シ葉草之ヲ包ミ土ニ埋メテ温養シ春分ニ至リ發芽スルヲ候ヒ熟耕ノ肥地ニ下ス	發芽ノ明年苗五六寸ニシテ之ヲ畦圃ニ移植ス數歲ニシテ花ヲ開クニ至ル	雄木實ヲ結ハサル者ハ伐テ接換スヘシ雌木ト雖其木ノ枝ヲ接シテ實ヲ結ハシムルヲ要ス		

地適	形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
温暖ノ地ニ適ス北地ニ栽植スルモ子實ヲ結ハス南國ト雖土堅硬ノ瘠地ニハ多ク繁茂セス日向蔭及ヒ南方諸國最多ク栽植ス	花後實ヲ結フ形圓扁ニシテ大サ三分許中ニ核アリ大サ一分許堅硬ニシテ黃色ナリ外皮モ亦蠟氣アリテ黃色ヲナス	夏月枝梢ニ長穗ヲ出シ黃白ノ小花ヲ開キ簇々下垂ス雄本アリ雌本アリ又一木兩全花ノ者アリ	複葉形甚漆葉ニ似テ其一葉ハ較細長ナリ霜ニ遭テ深紅美觀ナリ俗ニはじもみちト云フ	能ク四出ス	高二丈許圍尺ニ盈タス 外皮灰白色	は ぜ	
						名方 古名 らむのるし 漢名 舊黃櫨	
						名洋 RHUS SUCCEDANEA LINN. リュス シュツセダニア	

第七十三號
木世



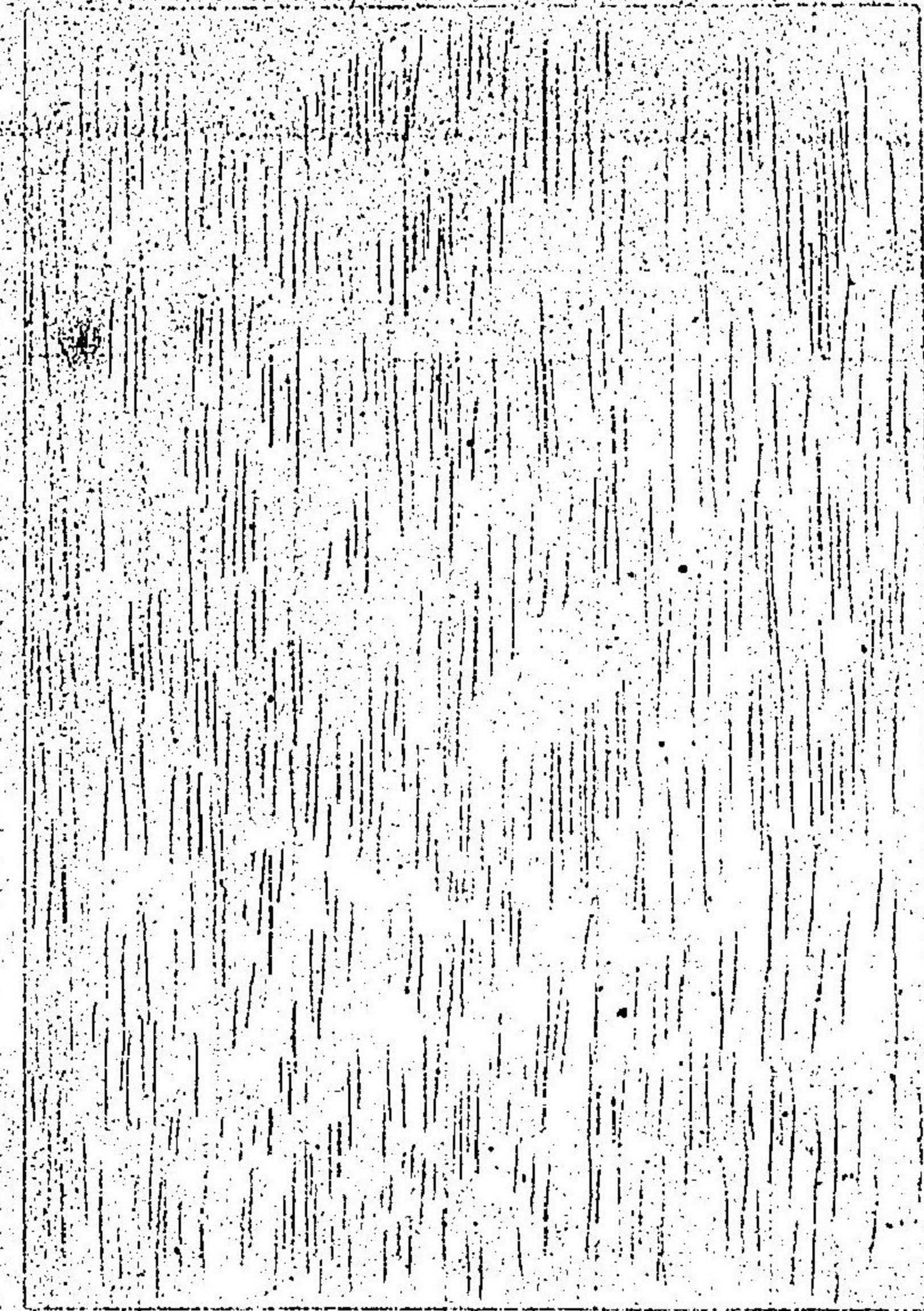
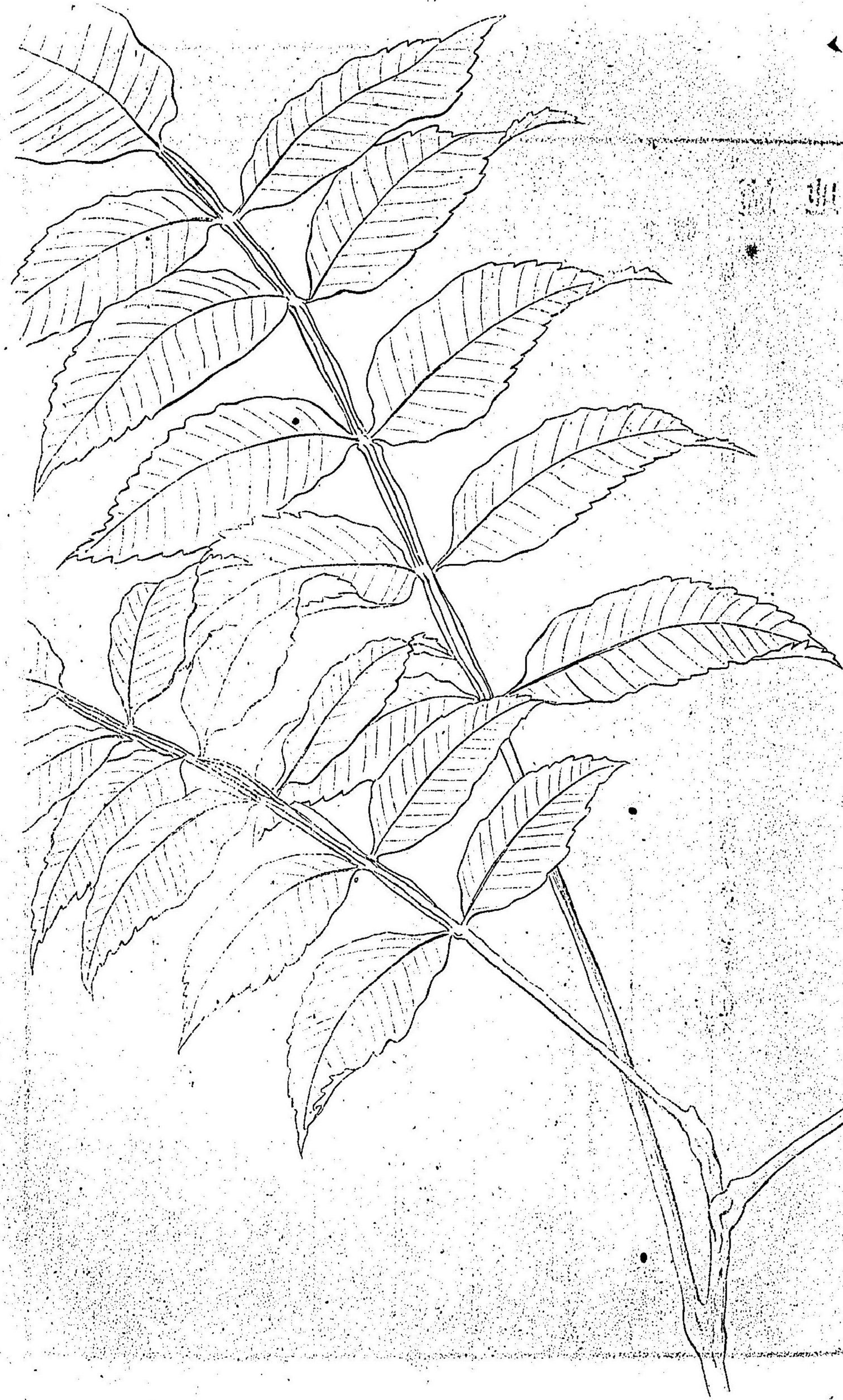
漆樹科 木 葉 落 匣
箱 葉 葉 木 科

號四十七第

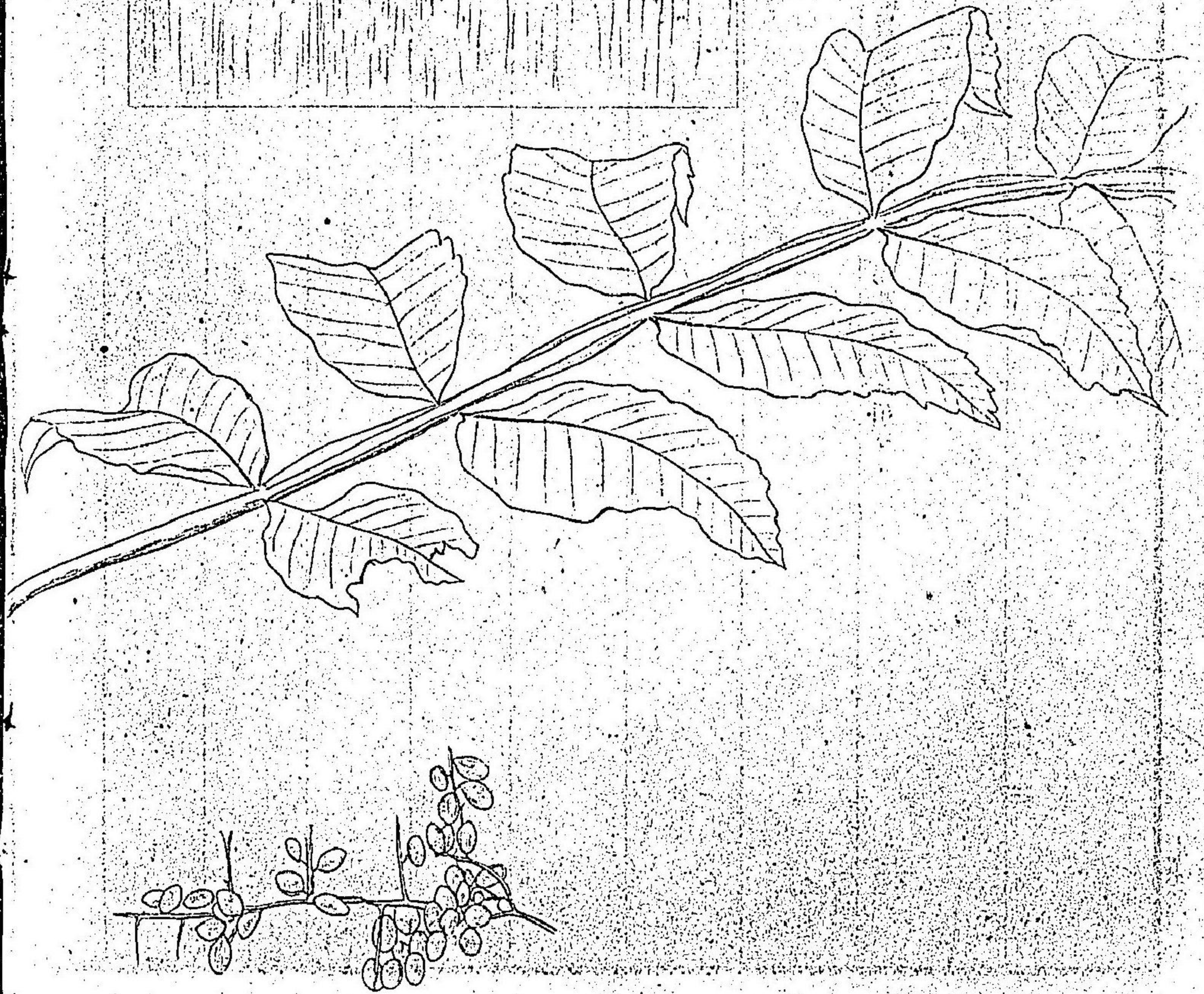
提要

種	藝	養培	護保	質材	効用	雜說
實植	下種シテ生シ易シ			材質甚堅カラス色白クシテ木理頗ル美ナリ	五倍子ハ澁質アルコ汝食子ニ劣ラス故ニ澁質ヲ要スル化學上ノ用及染料ニ用ユ	此材ハ舊習ニテ祝賀ノ用ニ供セリ

地適	形						稱名
	全體	實	花	葉	枝	幹	
山野ニ多ク自生ス諸國アラサルナシ		花後子ヲ結テ下垂ス一枝累累漆ニ似タリ大サ小豆ノ如クニシテ微扁生ハ青熟スレハ淡紫色ヲナス殼皮薄シテ皺アリ秋季外里ニ白粉ヲ生シ味鹹シ木鹽ト稱ス是レ蟲ノ爲ス所ナリ中ニ小扁子アリ茶褐色ニシテ甚堅シ	夏至後白色ノ碎細花ヲ開キ撰選シテ穂ヲナス長一尺許	複葉ニシテ一柄五七葉ヲ對生シ狀漆葉ニ類シ邊ニ鋸齒アリ面深緑青白クシテ細毛アリ其柄ニ翅アリ箭羽ノ狀ノ如ク霜ニ遭テ猩紅美觀ナリ俗ニぬるでもみぢト呼フ	四出條暢ス	幹直ナレトモ幹立セス高一二丈圍二三尺樹皮ノ外面灰白色ヲナス	ぬるで
							方名 漢名
							ふしのさ 塩膚木
							洋名
							RHUS SEMIALATA MURR. リュス セミアラタ



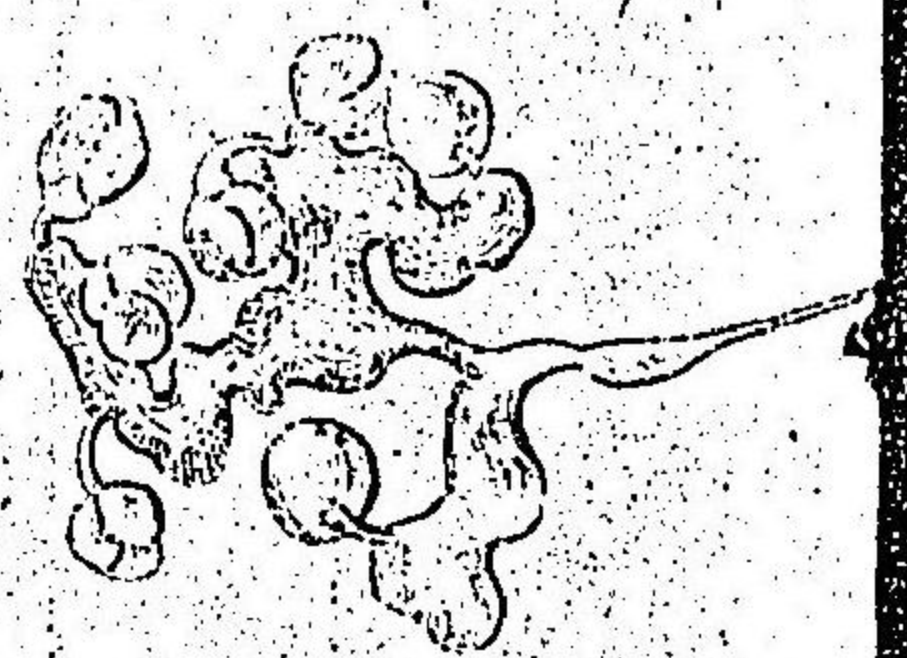
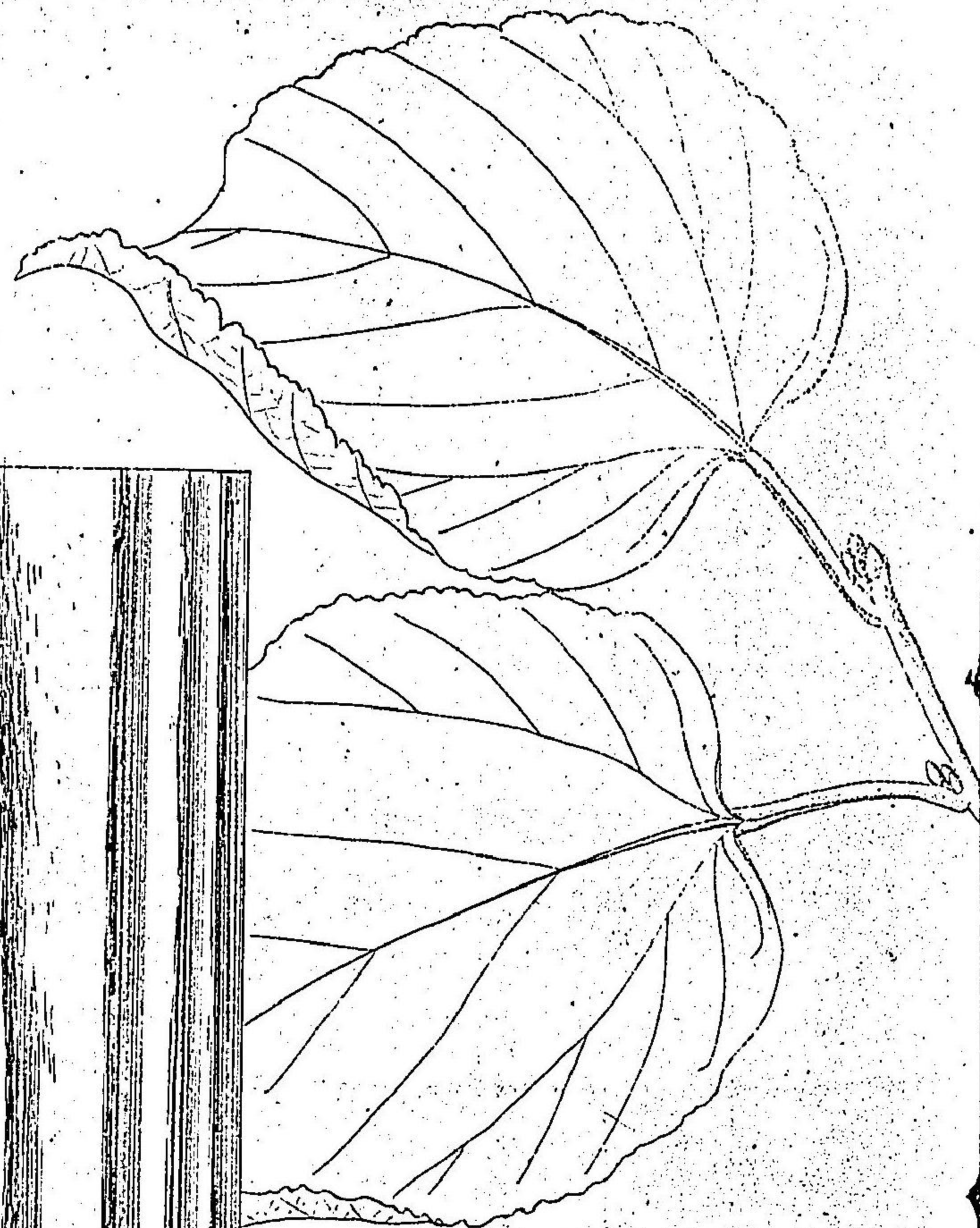
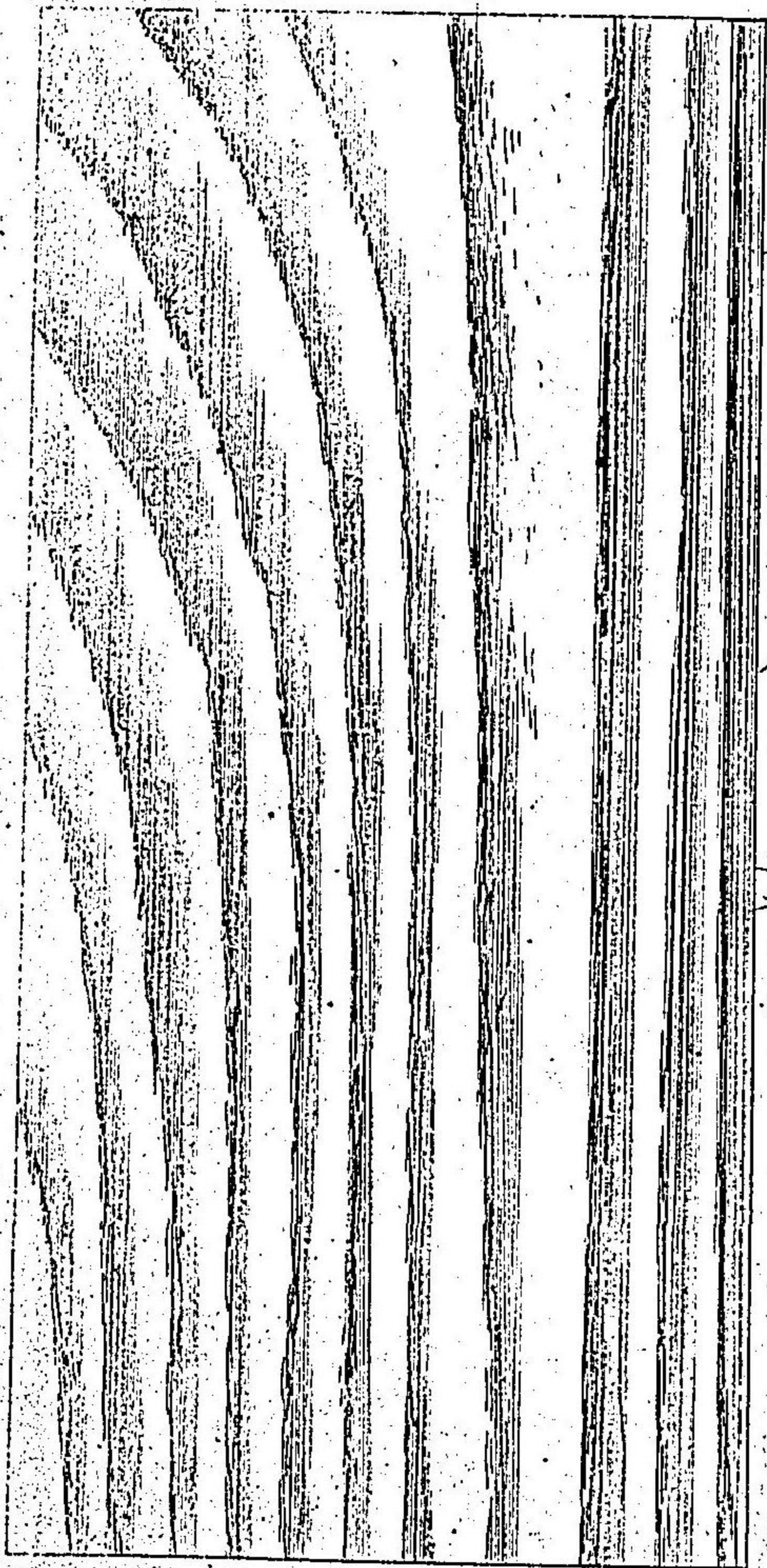
第七十四號
ぬるで



提 要
鼠李科
喬木
落葉
機案
椀

第七十五號

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
けんぼあし 名 漢 枳 椇 名 洋 HOVENIA DULCIS. TH. ホヴエニア シユルシス	喬大ナル者高四五丈圍五六尺ニ及フ木皮粗ニシテ黒褐色ヲナス	圓形ニシテ尖頂邊ニ鋸齒アリ狀桑葉ニ類シ小ニシテ暗綠色ナリ硬ニシテ厚カラス霜後飄零ス	枝柯廣張シ小枝屈曲ス	花梗長サ寸餘屈開シテ三五枝ヲ成シ岐頭毎ニ五瓣白色ノ小花ヲ開ク	花後其梗ニ肉ヲ生シ之ヲ經フ初青色霜ニ遇テ紫褐色ヲナシ其味蜜ノ如シ莢中ノ奇形ナルモノトス其頭毎ニ各一小子ヲ結フ大サ豆ノ如クコンテ圓ナリ薄キ殼皮アリ之ヲ破フルニ二核或ハ三核アリ圓扁ニシテ硬ク其色暗褐ナリ	稠翠蔭ヲナス	原野ノ燥土ニ宜シ深山陰濕ノ地ニ稀ナリ諸國有ラサルナシト雖林ヲ成スノ多キヲ見ス
種 質	植 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 歴	種 質	秋季子ヲ收メ春分ニ下種ス
種 名	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	多ク種植シテ良材ヲ得ルノ目途ヲ立ツヘキ者トス
種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	材色紫赤木理雅美ナリ質密ニシテ脆ナラス又反張折裂セス
種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	枳椇匣箱及文房ノ具ヲ製シテ甚タ雅致アリ益椇ノ類ヲ鑿作スヘシ其實柄ノ肉ヲ啖フヘシ行道ニ栽植シテ最モ宜シトス
種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	種 質	俗説ニ此樹能ク酒ノ味ヲ薄クス故ニ其實モ亦酒毒ヲ解スト云フ



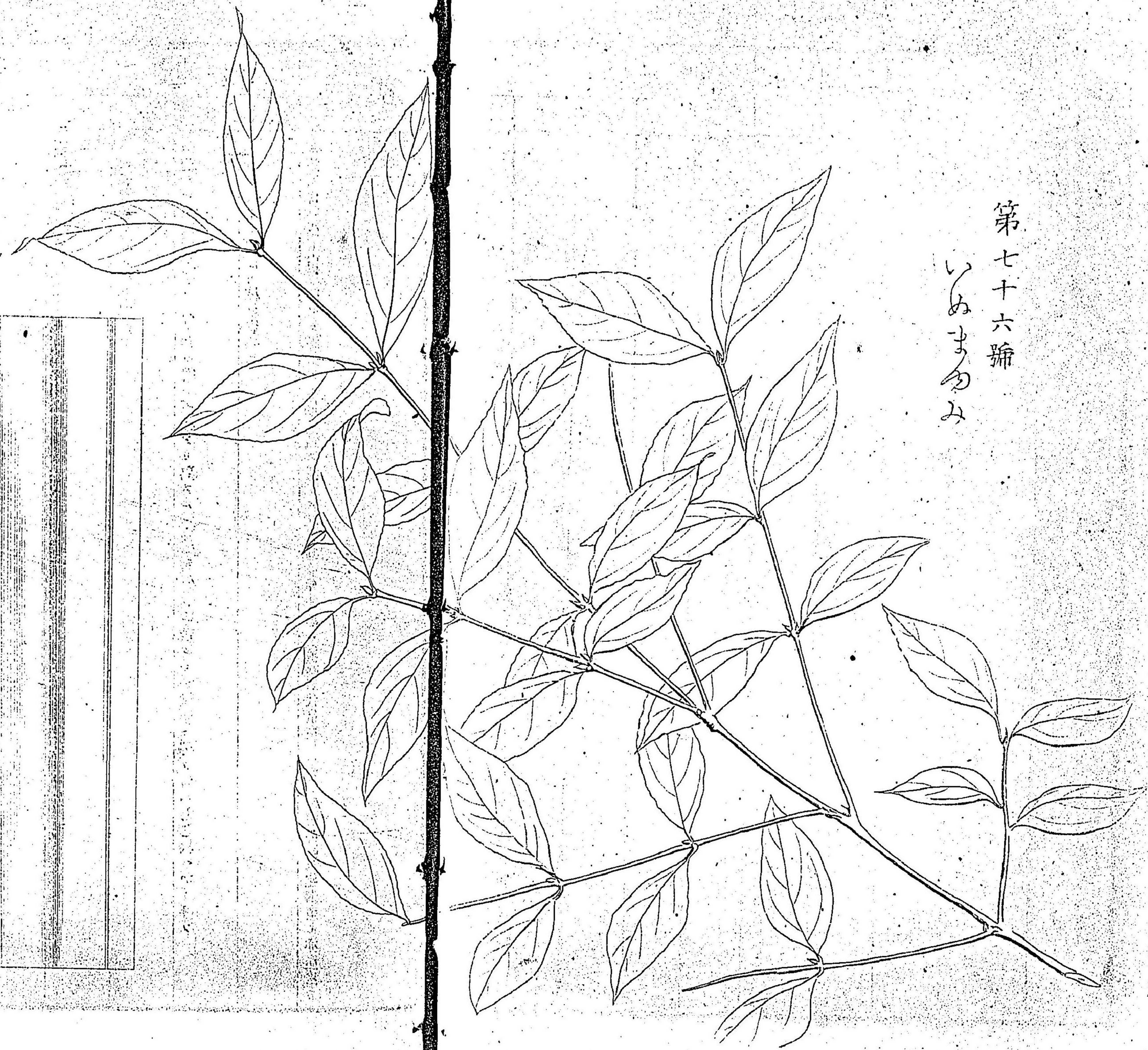
第七十五號
竹ノハナ

器落潤澁術衛
具葉葉木科
提
要
號六十七第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質
	器具ヲ鋸製スヘシ又木曾山中ヨリ多ク櫛ヲ作テ輸賣ス	白質ニシテ強韌肌理甚タ密ナリ				斫伐シテ砧トナシ衛矛ヲ接スヘシ	摺挿シテ活シ易シ		下種シテ生シ易シ

地 適	狀 形						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
諸國山野ニ自生スレド多クカラス微漏ノ土ニ適ス	實ヲ結フ大サ四分許微シク四稜ヲナス初メ綠色熟スルニ及ヒ淡紅ナリ四裂反張シ白色ノ小核三四進出シテ紅肉ニ附ク頗ル奇狀アリ	春月枝頭ニ花ヲ開ク四瓣淡綠大サ二分許	長橢尖頂甚ク桃葉ニ類シ長サ二三寸許鋸齒アリテ對生ス此葉深綠ニシテ厚ク常綠樹ノ態アリ而シテ霜後凋零ス	枝條細長皮色淺綠ナリ	成長最モ速ニシテ高丈餘圍二尺餘樹皮白綠ニシテ粗ナラス		桃葉衛矛
	枝條微垂シ翠綠莖葉ナリ						名 漢
							名 洋
							EVONYMUS SIEBOLDIANUS BL. エヴォニミヌス シールツァニ
							名 方
							イヌヨシ
							名 通
							いぬよしみ

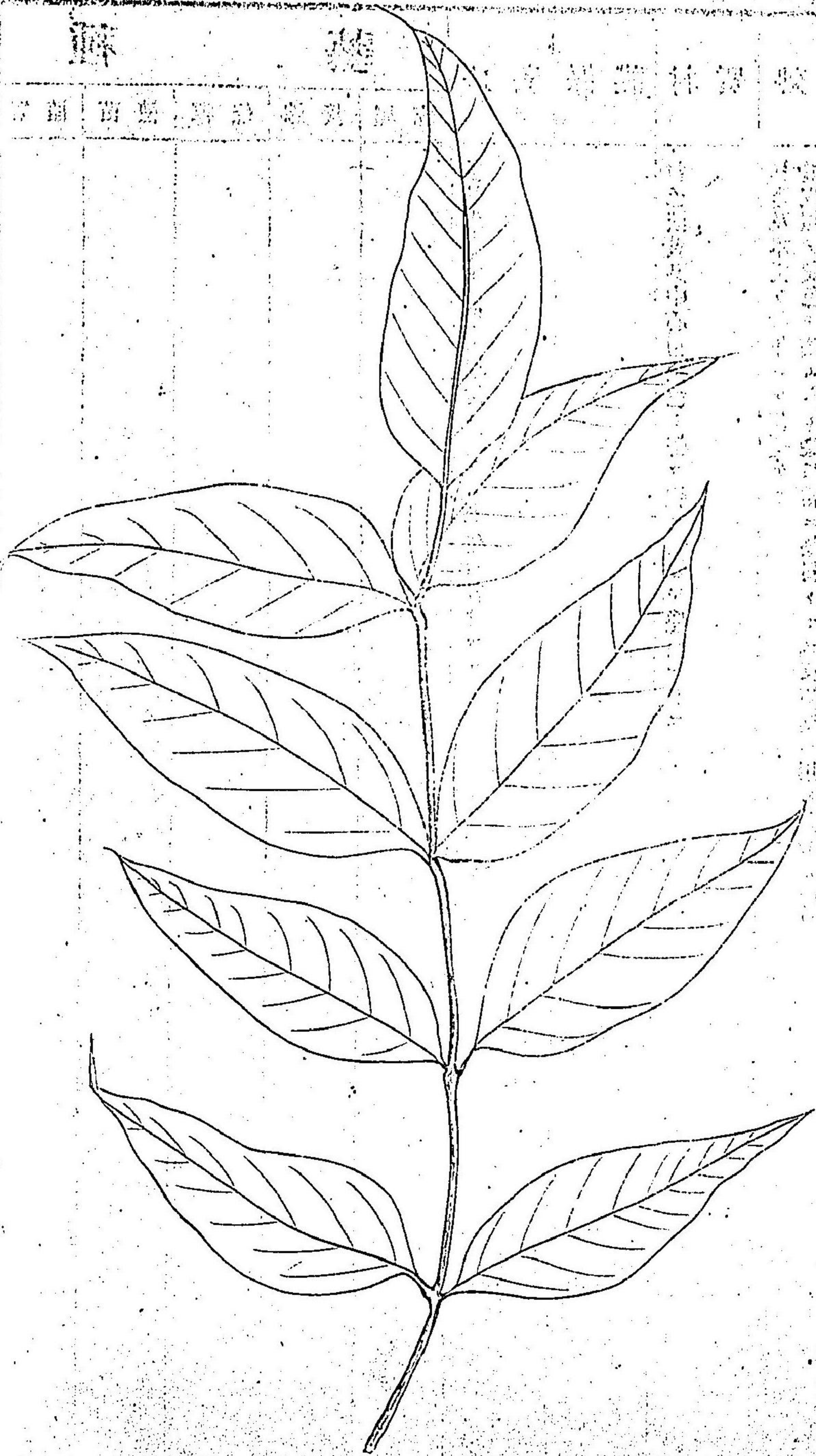
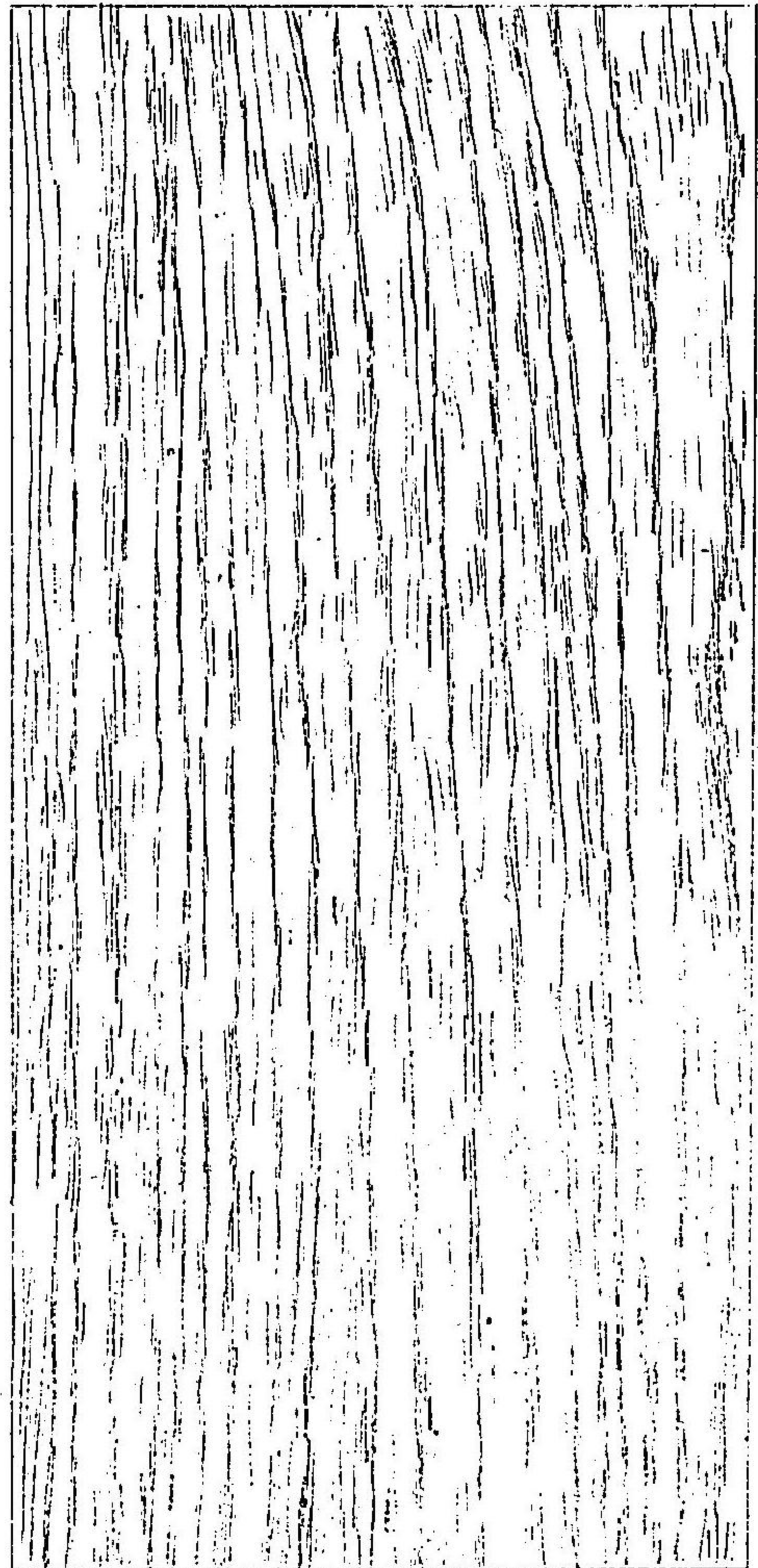
第七十六號
いぬまゆみ



提 要 第七十七號
 喬木科 秦椒科 落葉木 器染物

種 名	藝 種					養 培	保 護	材 質	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實					
さとうだ						冬月馬糞尿ヲ用テ根傍ニ澆ケハ其生育甚速カナリ		材色淡黄其中心稍褐色ヲ帶フ輕質ニシテ堅硬ナラス	杯蓋及木孟ヲ鍍作シテ甚美ナリ 其皮以テ黄色ヲ染ムヘシ染戸常ニ染料トナス又漢藥ニ用ヒ黃蘗ト呼フ	

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
寒地深山ニ生シ山野微シク濕氣アル地ニ適ス然レモ潤濕甚シキヲ忌ム信濃岩代最多シ近江美濃三陸及北海道モ亦產出ス	形圓ニシテ南天燭子ノ大ノ如シ縱ニ五稜アリ熟スルニ及テ色黒ク味苦クシテ微辛ヲ帶フ俗ニシコバハと呼ン	夏月細黄花ヲ開ク樹ニ雌雄アリ	枝葉ニシテ其一葉ハ橢圓尖頂大サ寸餘狀葉ニ似タリ之ヲ斷テハ臭アリ面綠色背白色ニシテ微毛アリ	枝柯肥長	老木ナル者高三四丈圍五六尺ニ至ル皮色深黄ニシテ厚ク其外面ハ灰白色ヲナス		名 漢 槩 木 舊黃蘗
	小木ハ直上シ大樹ハ枝柯廣張ス					名 洋 EVODIA GLAUCA. MIQ. ニウヰシア グラウカ	



第七十七號
きまだ

器落潤喬棟
物葉葉木科

提要

號八十七第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 掘	植 苗	植 實
		材質輕軟木理密ナラス其色淡紫赤ニシテ頗ル美ナリ	小苗ハ冬月風雪ノ折傷ヲ防護ス	夏月多ク泥水ヲ洗ク				一年ニシテ苗ヲ移植ス	秋季熟實ヲ採リテ乾收シ春分ニ全額ヲ下種ス一畝畝本ヲ生メ一畝中數尺ニ及ブ

札案匣箱ノ類ヲ作テ雅致アリ近畿ノ人民多ク木屐ヲ作ル肥前地方此材ヲ以テ樺ニ代用ス又行樹ニ宜シ

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
性寒ニ耐ヘサルニ非ス然レモ寒土ニ産セス五畿地方大材最モ多シ	婆娑トシテ横張ス	花後圓實ヲ結ヒ掛簾下垂ス大サ五六分初綠色秋ニ至リ黃熟シテ下垂ス梗ニシテ内ニ數核アリ	立夏ノ後枝梢ニ種ヲ出シ梗ヲ分チ多花ヲ開ク一花ノ大サ錢ノ如シ五瓣淡紫色芬香アリ	再重複葉ナリ葉柄長二尺許數層ノ重柄ヲ出シ其中間長キハ三寸許上下短シ重柄ヨリ再ヒ小柄ヲ出シ三小葉ヲ附ク而シテ大柄重柄ノ頂モ亦三小葉ヲ附ク小葉ノ中ニアル者大サ寸半許兩側ニ對生スルモノ之ニ半ハス皆長橢尖頭ニシテ鋸齒縁ノ缺刻アリ其色深綠秋後變容ス	舒長シテ密ナラス頗ル四散シテ垂ル、ニ至ル	幹直聳シ高三丈許圍四五尺皮黒褐粗ニシテ皴皺ス	せんたん 名 方 古名 ふち 名 漢 棟 俗稱 名 洋 MELIA JAPONICA G. DON. メリア ジャポニカ

本草綱目卷之五十一
木部
第七十八號
甘んだん



第七十八號
甘んだん

第七十九號
提嬰
無患樹
科 喬木
落葉
庭園器具

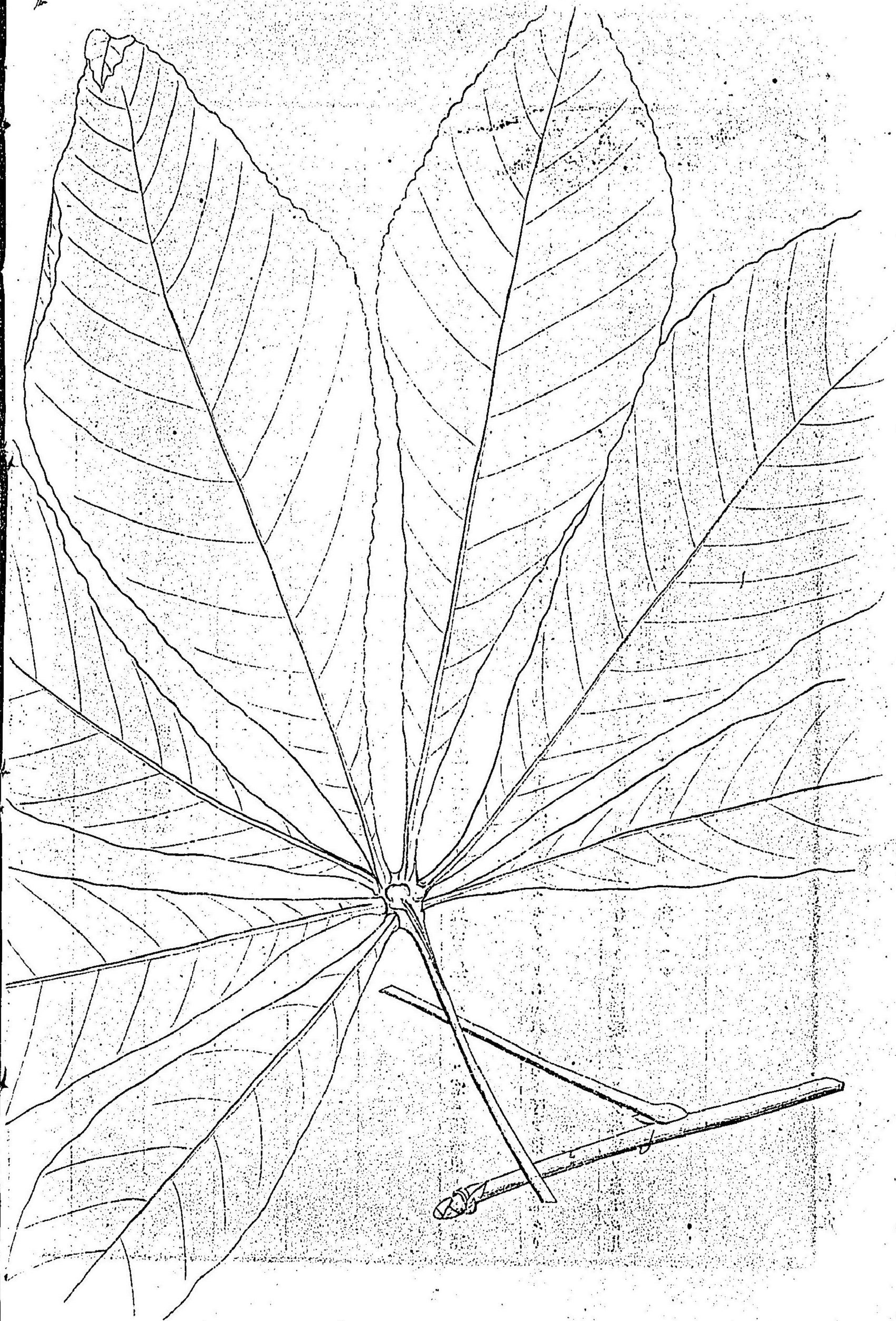
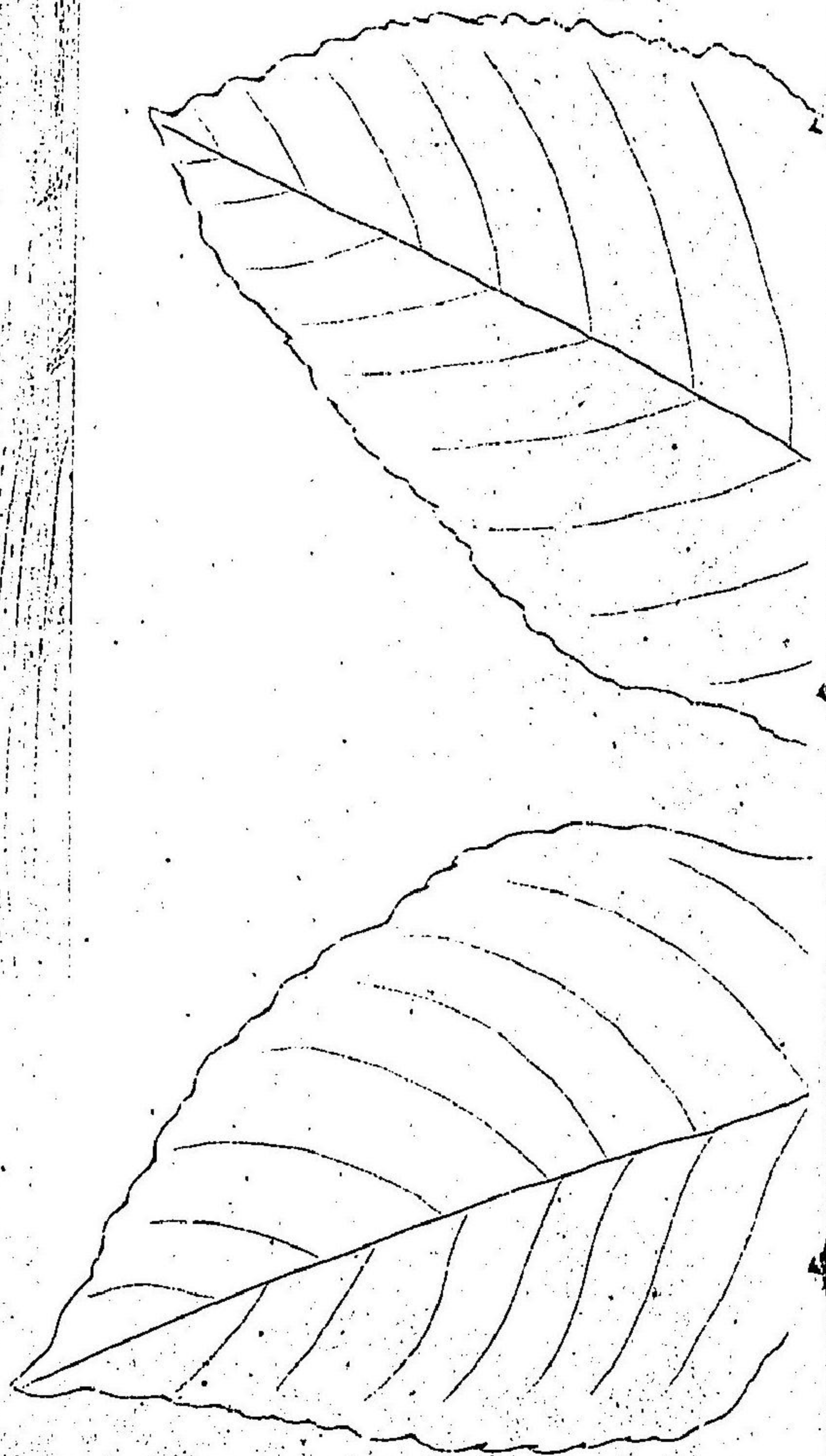
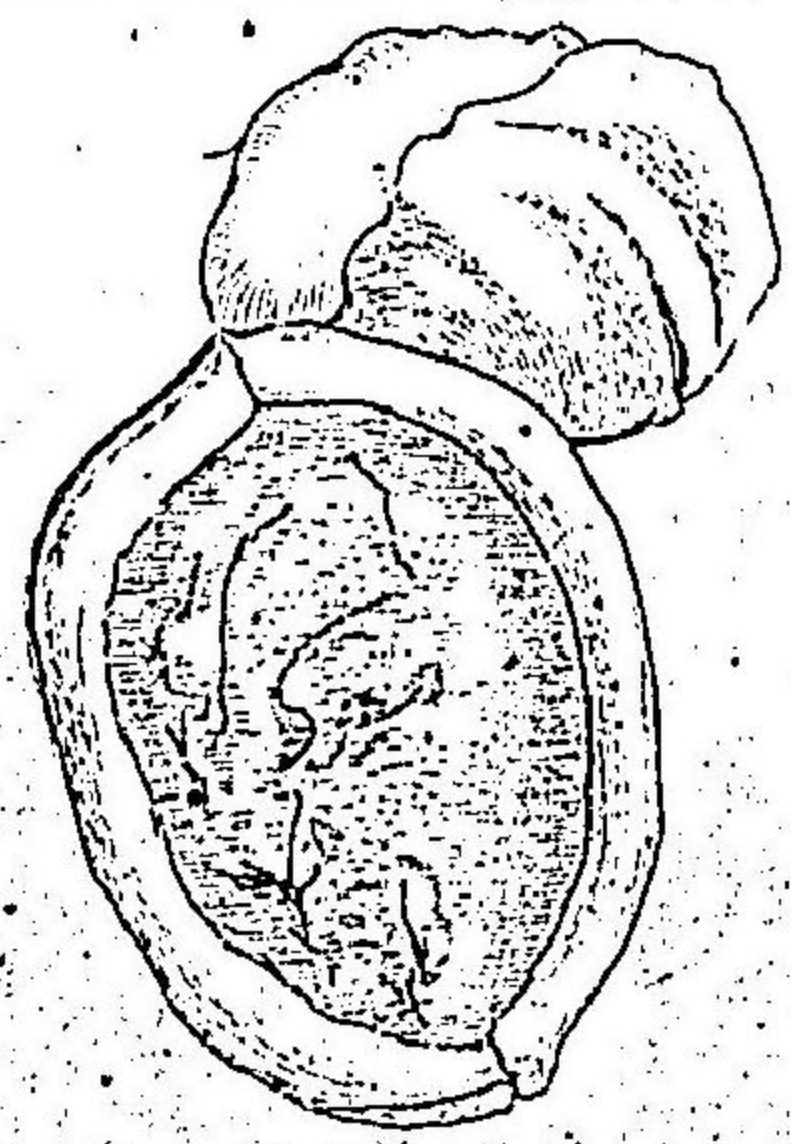
種	藝	養培	保護	質材	効用	雜説
秋季實ヲ收メ春分ニ之ヲ種ユ其法栗樹ニ全シ然レモ潤濕ノ肥地ヲ撰フヲ要ス	苗二年ニシテ移栽スヘシ	嫩枝ヲ剪リ春分前後陰地ニ挿ム常ニ潤濕ナラシムレハ能ク新芽ヲ萌生ス		白色淡黄其質極テ美密ナリ便軟宜キヲ得テ工作ヲ施シ易シ或ハ木理緻紋チナスモノアリちゞれとちト呼フ最モ貴品タリ	板ヲ作り門扉トナシ机案匣箱ノ類ヲ製スルニ光澤アリテ頗ル雅美ナリ盆盂ヲ斲作スルモ滑澤愛スヘシ又拆裂ノ患ナシ凡ソ椀蓋ノ類此材ヲ以テ質トナシ漆髹スル者ハ最貴品トナス	庭園ニ栽植シテ愛スヘク又行道樹トナスヘシ

七十九

地適	形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
深山中陰濕ノ地ニ産スル者最モ喬大ナリ原野ニ生スル者ハ矮小ニシテ實ヲ結ハサルモノ多シ紀伊ノ産ヲ上等トナス日光木曾諸山モ亦多シ	扶疎魁大ニシテ深翠鮮淨能ク根土ヲ庇蔭ス	大ヤ桃實ノ如ク初メ綠色外面ニ小軟刺アリ秋末熟シテ黒褐其殼ニ折シテ子墜ツ大サ寸許至圓形ニシテ其形一ナラヌ其色栗子ト相似タリ	立夏漸葉ノ間ニ穂ヲ出ス長五六寸白花ヲ開ク五瓣ニシテ紅暈アリ大サ四五分	掌狀ノ複葉ニシテ潤葉樹中葉ノ最モ大ナルモノナリ一柄上ニ七葉ヲ附クルヲ常トス其一葉ノ形倒蛋形ニシテ末尖リ周邊ニ鋸齒アリ其正中ニ在ルモノ最モ大ニシテ長サ尺許左右漸ク小ナリ綠色ニシテ厚カラス霜ヲ經テ茶褐色チナシ飄零ス春初梢頭ニ茶褐色ノ苞アリテ甚タ粘着ス此苞ヨリ葉ヲ發生ス	枝柯肥大ニシテ疎ナリ	幹身直生ス皮色灰白ニシテ皴チナス大ナル者高十餘丈圍二丈ニ及フ	とち 名方 名漢 七葉樹 俗橡又枋又栲 名洋 AESCULUS TURBINATA B. L. ニスキユリス チユルヒナク

第七十九躰

とち
二分一縮寫



名 通	名 漢	名 洋	形 狀							地 適				
			根	幹	枝	葉	花	實	體 全					
かへて	名 方	名 漢	名 洋	<p>聳立シテ高四五丈圍五七尺ニ及フ皮青黒ニシテ粗硬</p> <p>枝條暢舒シテ小枝翠滑ナリ</p>	<p>葉五七缺刻尖又ニ鋸齒アリ淡緑ニシテ厚カラズ大サ二寸許柄長サ寸許細軟霜ヲ經テ猩紅光彩錦ノ如シ</p>	<p>夏月嫩葉ヲ生スル時花梗ヲ生ス一硬上數小椀ヲ分チ多花アリ一花ノ形大サ四五分雄花雌花又兩全花アリ</p>	<p>花後翅果ヲ結ヒ必ニ二個相對ス其翅ノ長サ寸許潤ニ三分淡紫褐色ニシテ薄シ秋後茶褐色ヲナシ葉ト共ニ飄零ス</p>	<p>柯條揚起開張シテ自ラ風致アリ</p>	<p>高山陽燥ノ地ニ適應セス溪澗水畔等ニ繁茂スル者多シ庭園ニ栽ル者モ日光照射ノ甚シキヲ忌ム</p>					
	名 漢	名 洋	<p>ACER PALMATUM.</p> <p>アセル パルマチニム</p>	<p>下種シテ生シ難シ然レモ種子自ラ地ニ落チ堆葉腐土ノ中ニ入ル者ハ往々能ク生ス</p>	<p>根土ニ多ク小木ヲ生ス以テ分植スヘシ自生ノ者亦移植スヘシ</p>	<p>條 摺</p>	<p>接 嫁</p>	<p>條 壓</p>	<p>藝 種</p>	<p>養 培</p>	<p>護 保</p>	<p>質 材</p>	<p>効 用</p>	<p>雜 說</p>
				<p>嫁接ニ難キヲ以テ過貼スルヲ良トス</p>						<p>其材白色或ハ微赤ヲ帶フ質堅韌ニシテ肌理緻密ナリ</p>	<p>小木ノ如キハ最モ日光ヲ蔽陰スルヲ要ス</p>	<p>屋柱机案匣箱ノ類ヲ作テ甚タ雅美ナリ銃炮ノ柄ヲ製スルニ需用ス又木理文采アルモノ及ヒ小節瘤アルモノヲ剝テ片板トナシ船室ヲ艤裝スルニ用ユ庭院ニ栽ヘ又盆栽トナス</p>		



第八十號
かへで

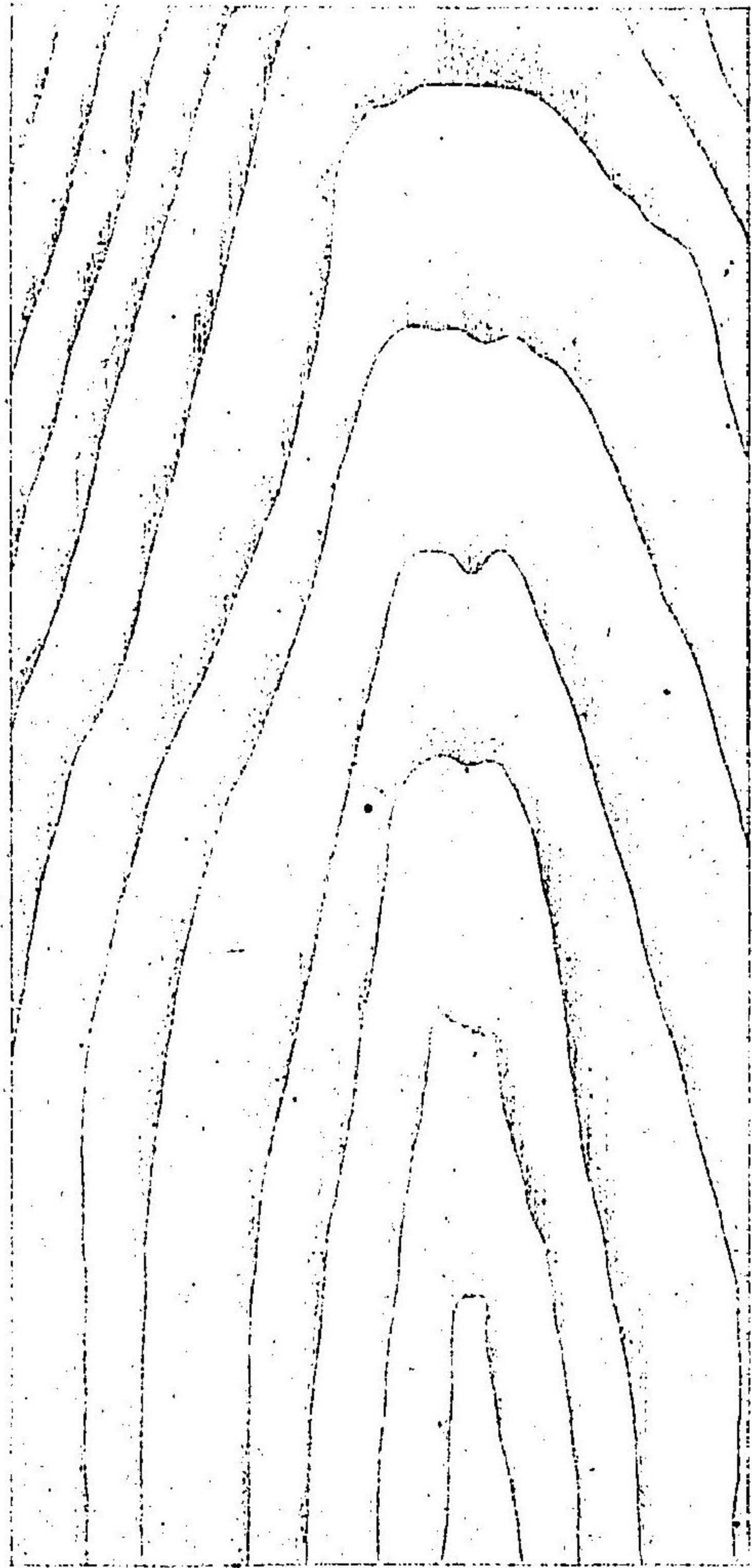


提 要
 槭 樹 科
 澁 葉 木
 澁 葉 木
 落 葉 具
 器 具

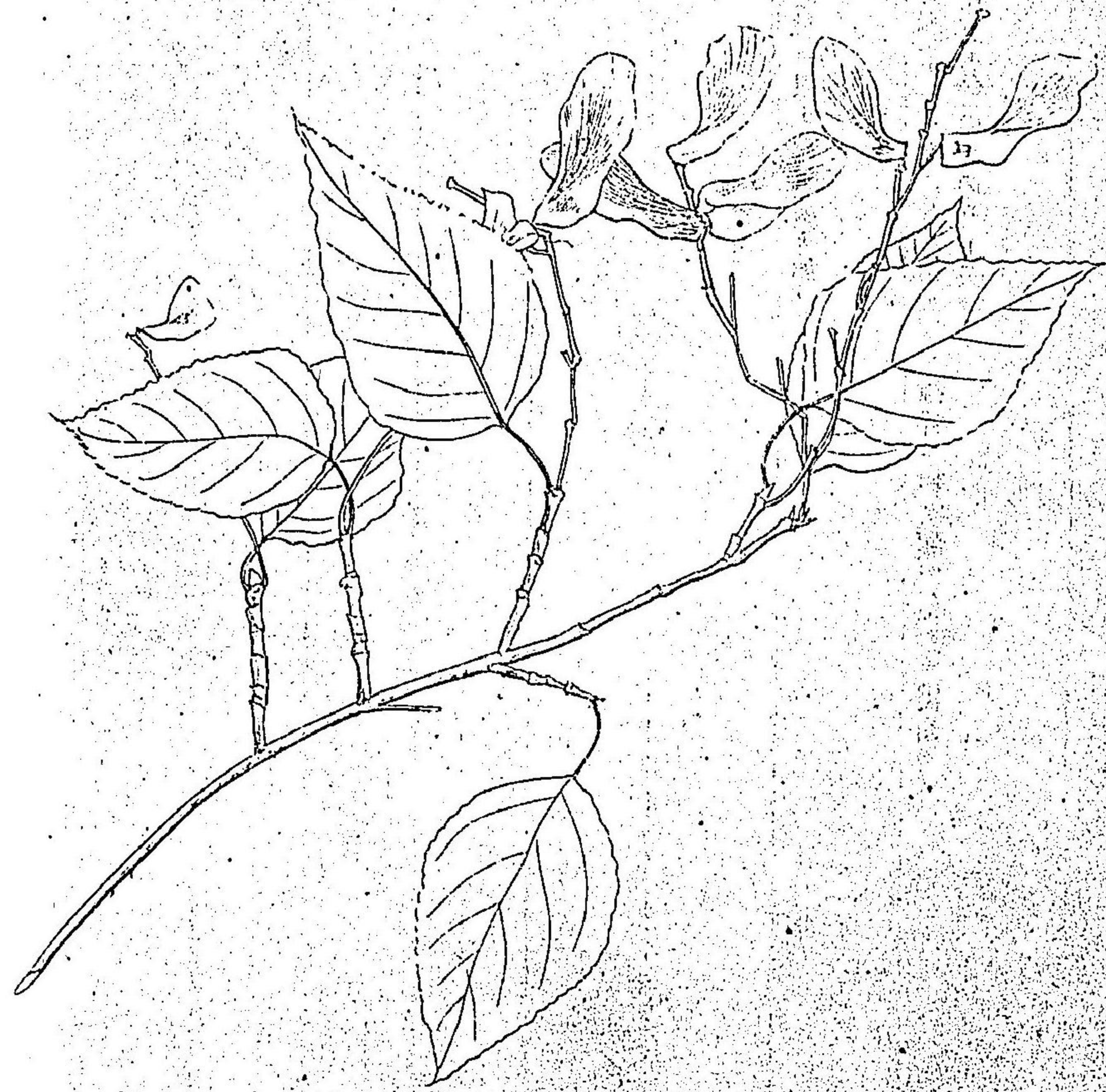
第 一 十 八 號

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
うりかへて	高丈餘圍一尺餘樹皮外面翠黒斑チナシテ烏樟ニ似タリ臭アリ	細枝密ニシテ硬ナリ嫩樹枝ハ延長ス	葉ノ大サ寸半許ニシテ三尖岐ヲナシ或ハ較小ニシテ尖岐ヲナサ、ルモノアリ邊ニ鋸齒アリ深緑ニシテ斑狀チナス背淡緑ニシテ粉白其柄ハ纖弱ニシテ長シ	雌花雄花アリ新葉ノ間ニ花梗ヲ出シ數小花ヲ簇生ス槭樹ニ異ナラス	子實二個對生シ薄翅アリテ一翅ノ大サ六七分其色淡緑乾クハ茶褐色長柄アリ秋季飄零ス	深山中ニ自生ス諸國山地アラサルナシ近江伊勢紀伊及木曾山中最多シ	
うりのこ							
漢 名							
洋 名	ACER CRATAEGIFOLIUM アセル クラテギホリウ						

種 名	種 質	植 苗	條 摺	接 嫁	條 壓	養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
								材色白質ニシテ淡褐肌理美密ナリ櫻材ニ似テ較粗硬チ加フ	机案匣箱ノ類ヲ作テ頗ル雅美ナリ又鍍作ニ宜シク箸ニ作ルヘシ細幹ハ棒ノ類ヲ作ルニ需用ス 木皮粘液多シ駿河ニテ抄紙ノ用ニ供ス方言のりのと云フ	

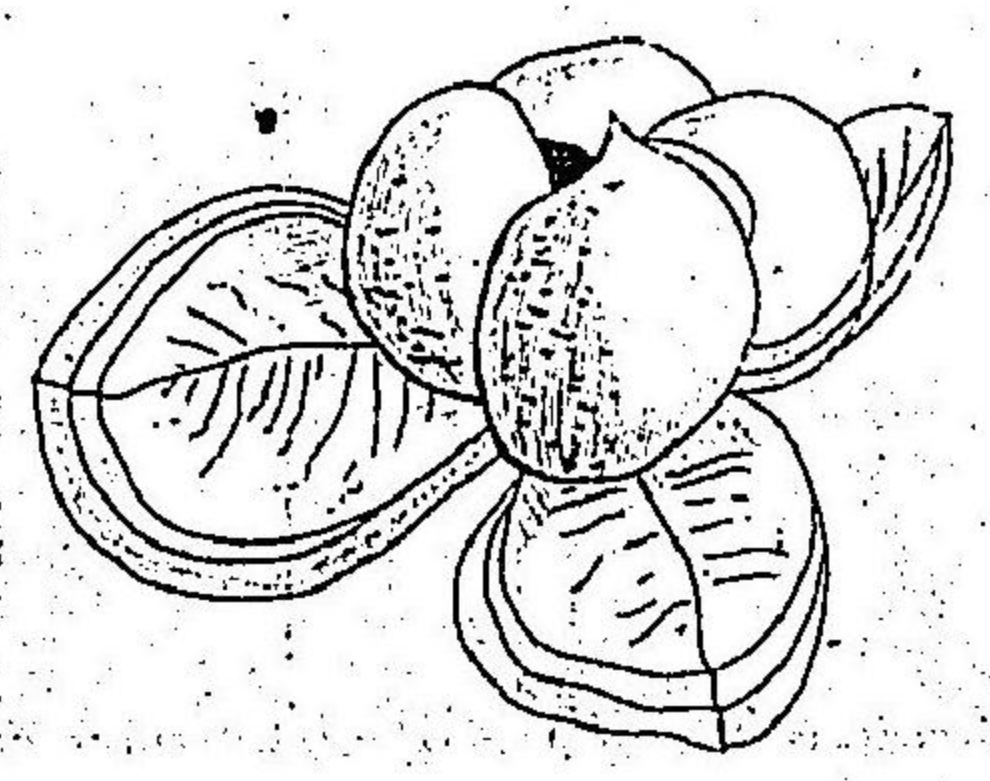
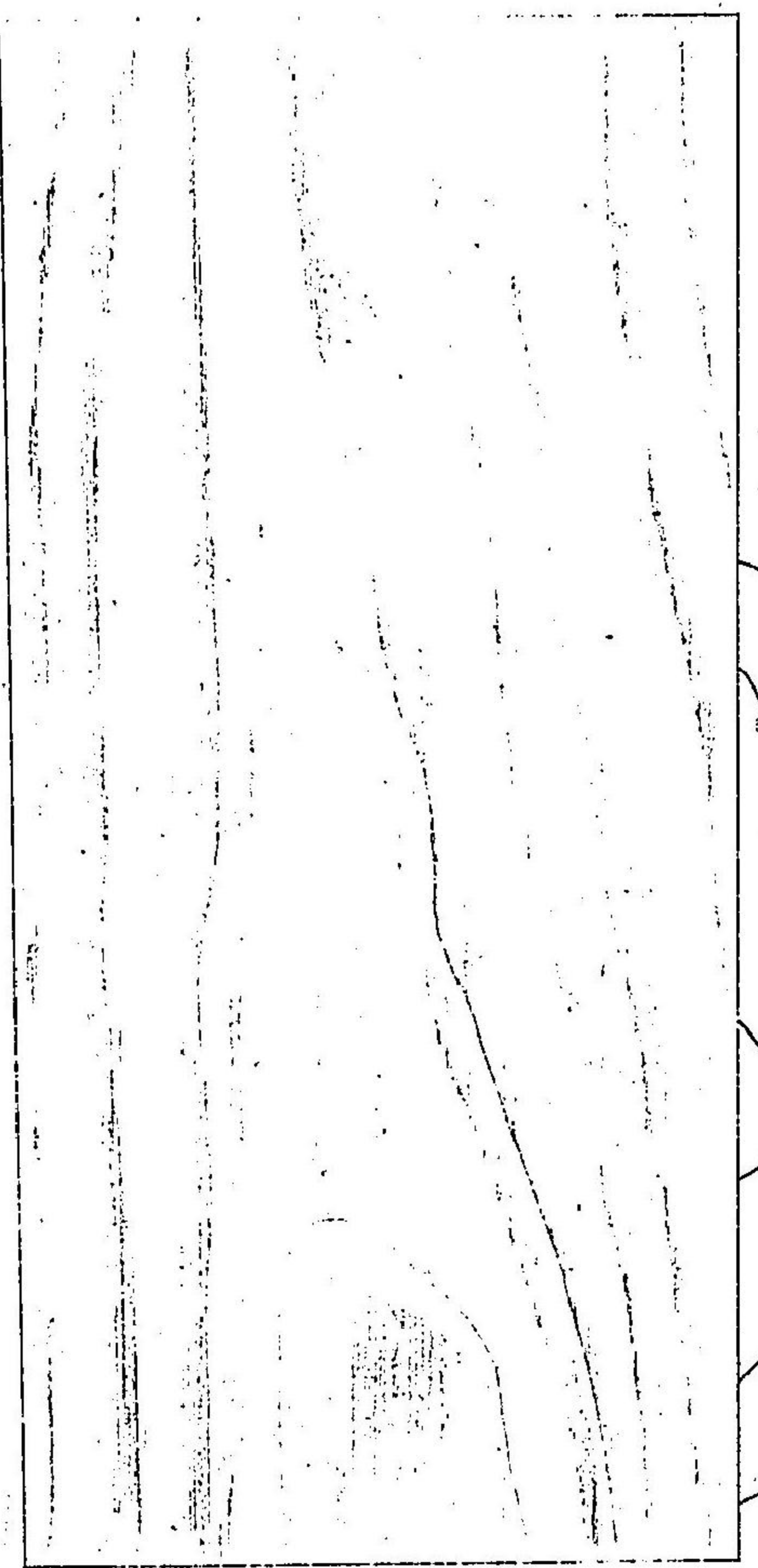
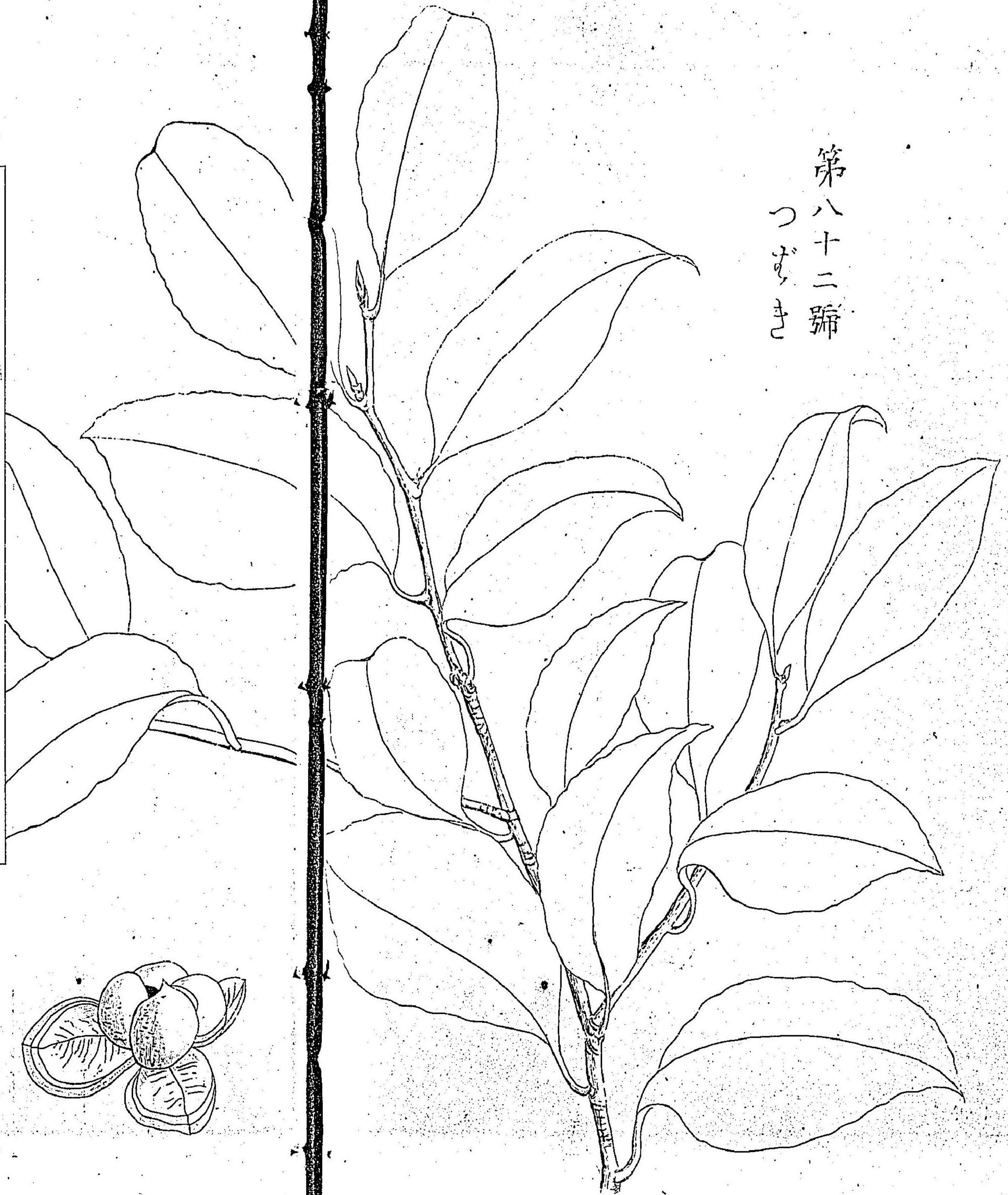


第八十一號
うりかへで



名 通	形 狀						地 適	種 藝				養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	根	幹	枝	葉	花	實		體 全	植 實	植 苗	條 摺					
つばき	高キハ三四丈許圍二三尺ニ及フモノアリ幹身直立スルモノ少シ 樹皮灰白色煖地ニ生ズル樹皮ハ淡褐色ヲ帶ルアリ 假塞シテ頗ル能ク茂ス	橢圓形尖頂ニシテ鋸齒アリ長二寸許厚硬ニシテ滑澤ナリ面深緑昔ハ淡緑冬ヲ經テ凋マヌ○各種類小異アリ	春初花ヲ開ク茶花ニ似テ大サニ寸許五瓣ニシテ紅色其雄蕊驕植シテ筒狀ヲナス結ニ黃粉多シ開落相續テ春季ニ至ル其謝 スル花冠全ク落ツ是ヲやぶつばきト稱ス花ヲ賞スルモノニ至テハ花ノ大小瓣ノ單重色ノ紅黃白齊一ナラス種類甚タ多ク 細別シテ數百種ニ至ル別ニ支那種アリ異種ナリ	花後圓實ヲ結フ大サ四五分中ニ二三ノ子核アリ暗褐色光澤アリテ堅硬ナリ仁ニ油多クままつばきト稱スル者實ヲ結フ 多シ	枝幹交加シ翠綠婆娑タリ	南方暖地ニ生茂シ北方寒地ニ適セス伊豆諸島ニ多ク栽植スルモノヲままつばきト呼フ	春分或ハ梅雨ニ摺挿スヘシ小枝ヲ批テ馬耳ノ如クシ其末ヲニニ割キ冷水ニ浸シ赤壇ヲ潤シテ泥トナシ雞子大ニ丸シテ枝 本ヲ封固シ軟土ニ下シ其土ヲ固定ス時々水ヲ澆テ乾カシムヘカラス活シテ後移植ス	春分ヲ以テ接換ノ季節トス單葉ノモノヲ以テ千葉ノモノニ接スレハ花盛ニシテ樹久シ又根ヲ剪テ砧トナスモ亦能活ス	雨水ニ壓條スヘシ				白質ニシテ微褐色ヲ帶フ肌理緻密ニシテ堅硬	農器ノ柄トナシテ佳ナリ鍍作諸器トナスヘシ凡堅硬ト美觀トヲ要スル器物ハ皆以テ作ルヘシ 又炭トナシテ最良枝葉ハ燒テ灰トナシ製紙ノ用ニ供ス 子實榨シテ油ヲ取ル所用最廣シ○庭院ニ栽テ大ニ粧飾ヲナス斑葉ノ如キニ至テハ唯花ノミニアラス四時觀ルヘシ		
名 漢																
山 茶																
俗 椿																
名 洋																
CAMELLIA JAPONICA LINN.																
カメルリア ジャポニカ																

第八十二號
つばき



茶喬木科
落葉樹
提 要

第三十八號

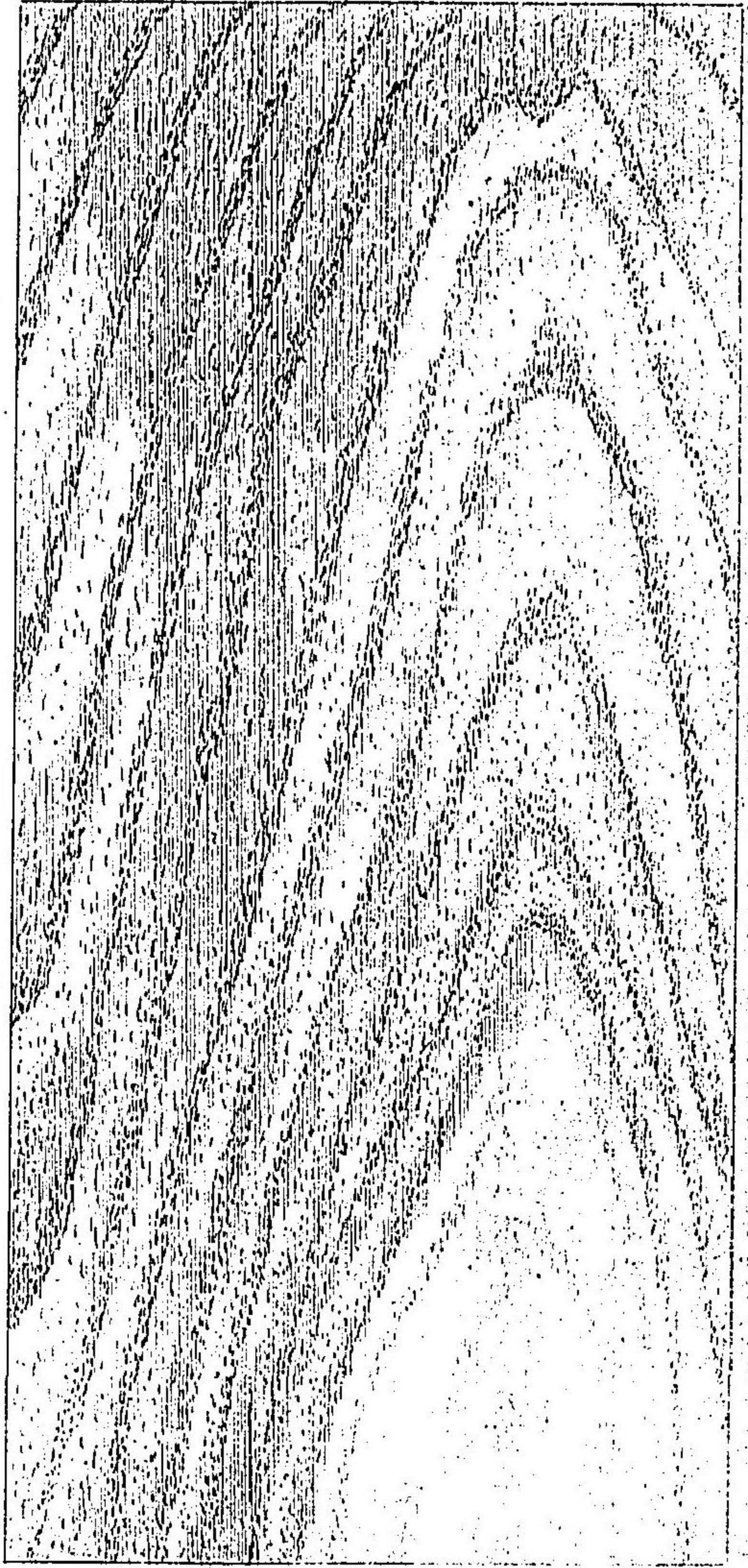
種 名	形 狀						地 適	種 藝					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 説			
	名 通	名 方	名 漢	名 洋	根	幹		枝	葉	花	實	全 體						植 實	植 苗	條 摺
さるどべり なつばきノ一種	さるた	漢	洋 STUARTIA SP. スチユアルチヤ	其根甚ク盛ナリ旁根多ク土上ニ露出ス	其幹多クハ直上ス高二丈許圍二三尺皮ノ外面淡褐ニシテ薄ク極メテ滑澤ナリ其百日紅ニ似テ同稱ナルヲ以テ甚ク混シ易シ	細條頗ル密ナリ	卵形ニシテ末尖リ大サ寸許淡青微紅ヲ帶フ	狀山茶花ニ似テ小ナリ其蕾ハ淡紅ニシテ開クニ及ヒ縁邊ニ微紅ヲ帶フ	卵形尖頭大サ五分許熟スルニ及テ五裂シテ子ヲ糝ス	枝條揚起四出ス	深山ニ産ス多クハ山嶺ニ近キ高燥ノ地ニ繁殖ス日光箱根木曾諸山中最多シ						子ヲ下シテ生ス			
																	材色微褐肌理緻密ニシテ頗ル堅硬ナリ又粘力アリテ折レス	多ク「トコバシラ」トナス飽削ヲ用ヒス自ラ光澤ニシテ雅致アリ石工ノ鑿柄必此材ヲ用ユ又伊豆地方山中ヨリ石ヲ搬出スル者細幹ヲ研リ車柄トナス柔軟ニシテ摺折セス又楷木トナスヘシ	木曾山民多ク伐樵シテ柴薪トナスニ斧斤ヲ施ス甚難ト云フ其堅質知ルヘキノミ	

第八十三號
さぶさへり



地 適	形 狀						名 通
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
深山中ニ自生ス信濃國最モ有名ナリ日光富士諸山及九州地方亦多シ	山ニアル者ハ喬木原野ニアル者ハ枝條四布シテ其葉ト形ヲ同ス	圓實ヲ結フ大サ二分許中ニ黒核アリ甚タ硬シ	春月葉腋ヨリ花梗ヲ出シ梗ニ着テ細長ノ苞ヲ生ス狀柳葉ノ如ク長寸半其色黃白ナリ花梗ノ頂ニ又細梗ヲ分チ細花ヲ開ク花母ト五片交錯シテ開ク白瓣微黃ヲ帶フ芬芳ニシテ能ク蜂蝶ヲ來タス	心臟形ニシテ大サ梨葉ノ如ク長寸半嫩樹枝ハ大ナルモノ三寸許鋸齒アリ面深青ニシテ背ハ淡シ互生ス霜後飄零ス	枝條柔軟ナラヌ幹ト同色能ク四布シ末ニ至テ微垂スル者アリ	樹幹直長高三丈許圍五六尺樹皮外ハ茶褐色内ハ淡褐一年一層ヲナシ層々之ヲ剝クヘク又剝キテ根ヨリ梢ニ至ルベシ	<p>名 漢</p> <p>名 洋</p> <p>TILIA CORDATA. チリア コルダ、</p>

種 類	藝 種					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實					
下種ヲテ生ス								材色淡赤肌理密ナリト雖モ軟質ニシテ重量ナラス	建築器具ノ用ニ供スヘシ其樹皮ヲ用ヒ大繩ヲ作ルヘシ又船ヲ縫合スルニ能ク水ニ堪フ此皮ヲ以テ布ヲ織ル者ナ「マダヌ」ト呼フ古ヘシナヌト稱スルモノ是ナリ又行樹ニ宜シ 漉酒袋及蚊帳ノ類ヲ作り或ハ袴トナス馬腹ニ掛テ柄ヲ防ク或ハ紙ヲ製スヘシ	是亦菩提樹ナリ但漢波ノ種ト異ナルノミ○或ハ云フ信濃國ノ名ハ此樹多キカ故ニ名ツクト

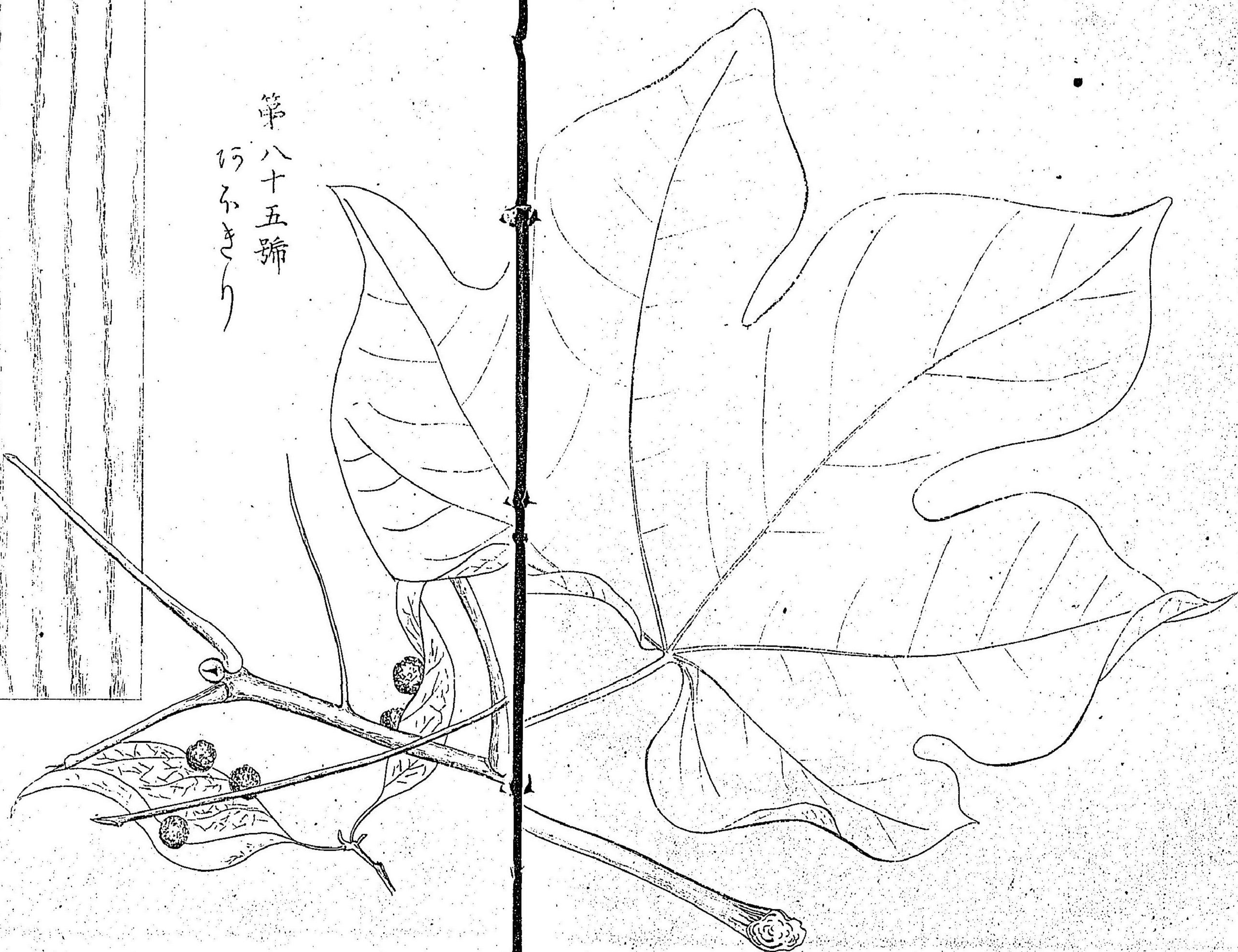
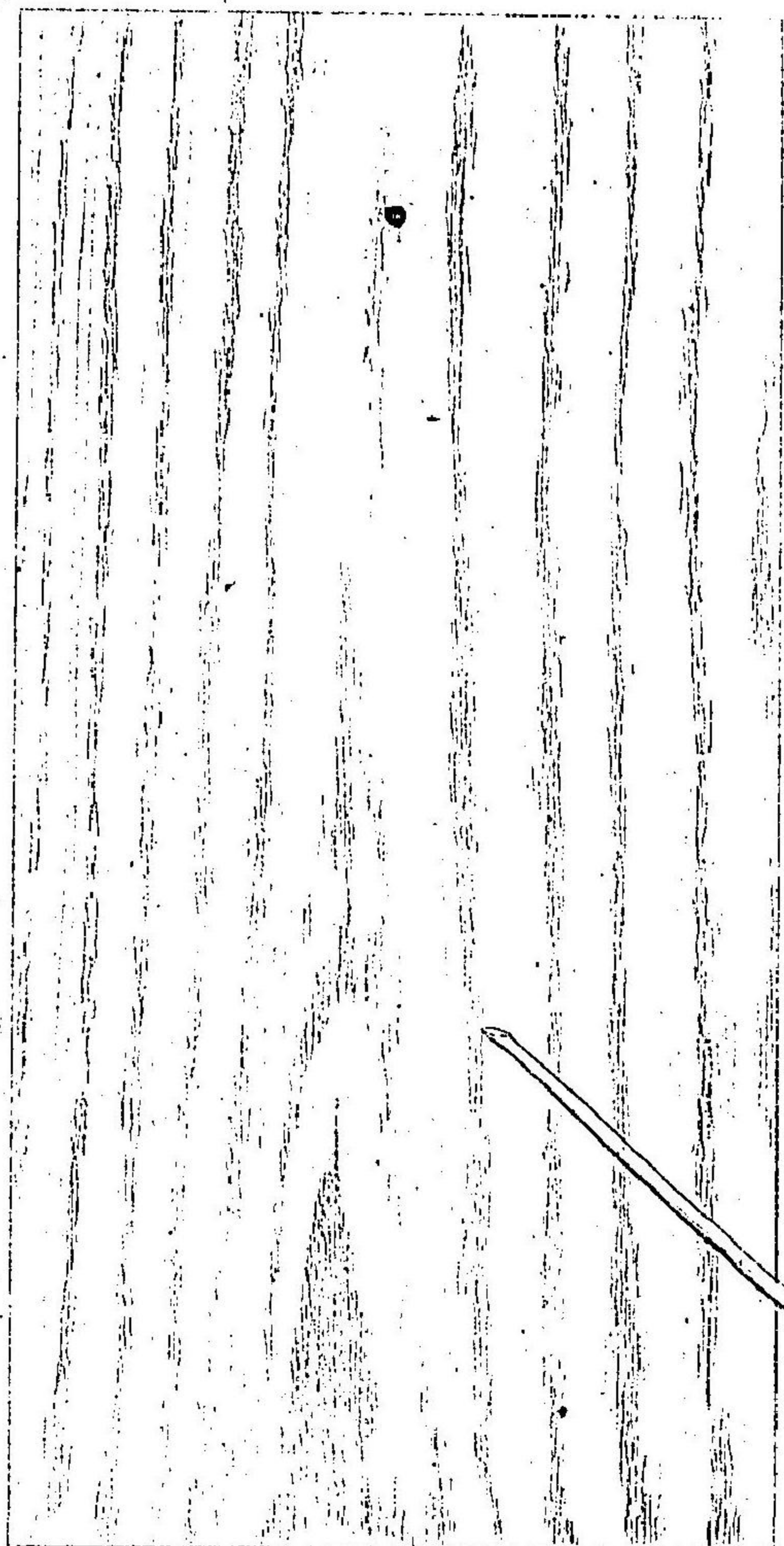


第八十四號
——
ふのき

器落喬梧
物葉葉木桐
科
提要
號五十八第

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形						稱 名
					條 歴	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	
	匣箱ノ類ヲ製シテ甚タ佳ナリ古者琴瑟ヲ作ルニ此材ヲ需用ス 庭院ニ栽植シテ妍淨愛スヘシ又行樹ニ宜シ 其子炒レテ啖フヘシ味頗ル香美ナリ○皮ノ纖維白色強韌ナル者製シテ絲トナシ以テ布ヲ織ルヘシ	材質白色輕軟ニシテ木理疏直ナリ	初生ノ年雪霜風寒ヲ防クニ注意スヘシ	屢輕肥水ヲ澆ケハ其成長甚タ速ナリ	嫩條ヲ剪リ潤土ニ挿ンテ能ク活ス	苗生シテ一年中二三尺ニ至ル明年春分移植スヘシ	秋季熟實ヲ採リ契ト共ニ收頓シ春分ニ至リ肥良ノ地ニ畦ヲ治メ下種ス鳥雀其子ヲ脚ンテ墮レハ即チ生ス其生易キ推シ知スヘシ	土ニ微濕アリテ輕鬆ナラサルノ地ニ適ス且寒地ニモ植ヘント雖多カラス四國西海ノ地方多ク良材ヲ産ス	樹幹直徑ス高三丈許圍三四尺皮色白ニシテ纖維強シ外皮綠翠ニシテ滑澤ナリ 枝柯亦條暢樹梢ニ四散シテ肥大ナリ	葉ノ大ナル潤サ尺許缺刻アリテ三五岐ヲ成セリ梢頭ニ集リ着ク其色深綠ナリ秋後凋零ス	夏月花ヲ開キ梢頭ニ掛珠ス五瓣黃白色大サ小錢ノ如シ雄花雌花アリ	實 莢ノ大サ二寸許橢圓ナリ熟スルニ及ヒ一隅自ラ綻裂シ狀舟形ニ類ス二子或ハ四子アリテ其兩邊ニ附テ落チス其子正圓ニシテ大サ豆ノ如ク外皮油色ヲナス乾ケハ皺ヲ生ス	枝幹綠色妍淨ニシテ清陰ヲナス白桐ニ比スレハ大ニ雅致アリ	名 漢	梧 桐	名 洋	STERCULIA PLATANIFOLIA R. BR. ステルキョリア プラタニホリ
														名 方	九州 い つ さ き	名 通	百 ぎ さ り

第八十五號
巧不きり



地適	形 狀						稱 名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
深山ニ生スルモノ最高大ナリ原野モ亦生スト雖材トナスヘキモノ稀ナリ陸羽信濃飛騨下野地方最多ク山城丹波地方亦アリ	樹容魁大端直淨翠愛スヘシ樹ノ勢力頗ル盛ンナリ	其實四五寸狀打綿槌ニ類シ縱皺甚タ多ク秋季成熟スルニ及ヒ皺裂ケテ赤子ヲ吐出ス裙帶豆ニ似テ較大ナリ光澤アリ	立夏前後枝頂ニ一大花ヲ發シ大サ尺ニ幾シ重瓣ニシテ淡紅ナリ白蕊紫心アリ芳烈數歩ニ聞ク然レモ甚タ佳ナラス	其葉長楕圓形長サ一尺餘木葉中ノ頗ル大ナル者トス周邊ニ鋸齒ナク枝頭ニ掛簇シテ生シ輻狀ヲナス新芽ノ初メ生スルモノ紅色ニシテ甚タ美ナリ秋季暗黒縮チ經テ凋零ス	枝柯大ニシテ密ナラス其外皮色ハ青白ナリ	幹身端直ニシテ高聳シ高五六丈圍八尺許ニ至ル樹皮茶褐厚密ニシテ香氣アリ外皮白シテ青ヲ帶フ微滑ニシテ皺皺セス	<p>名 漢</p> <p>浮爛羅勒</p> <p>俗 朴</p> <p>名 洋</p> <p>MAGNOLIA HYPOLEUCA S. ETZ.</p> <p>マグノリア ヒボレウカ</p>

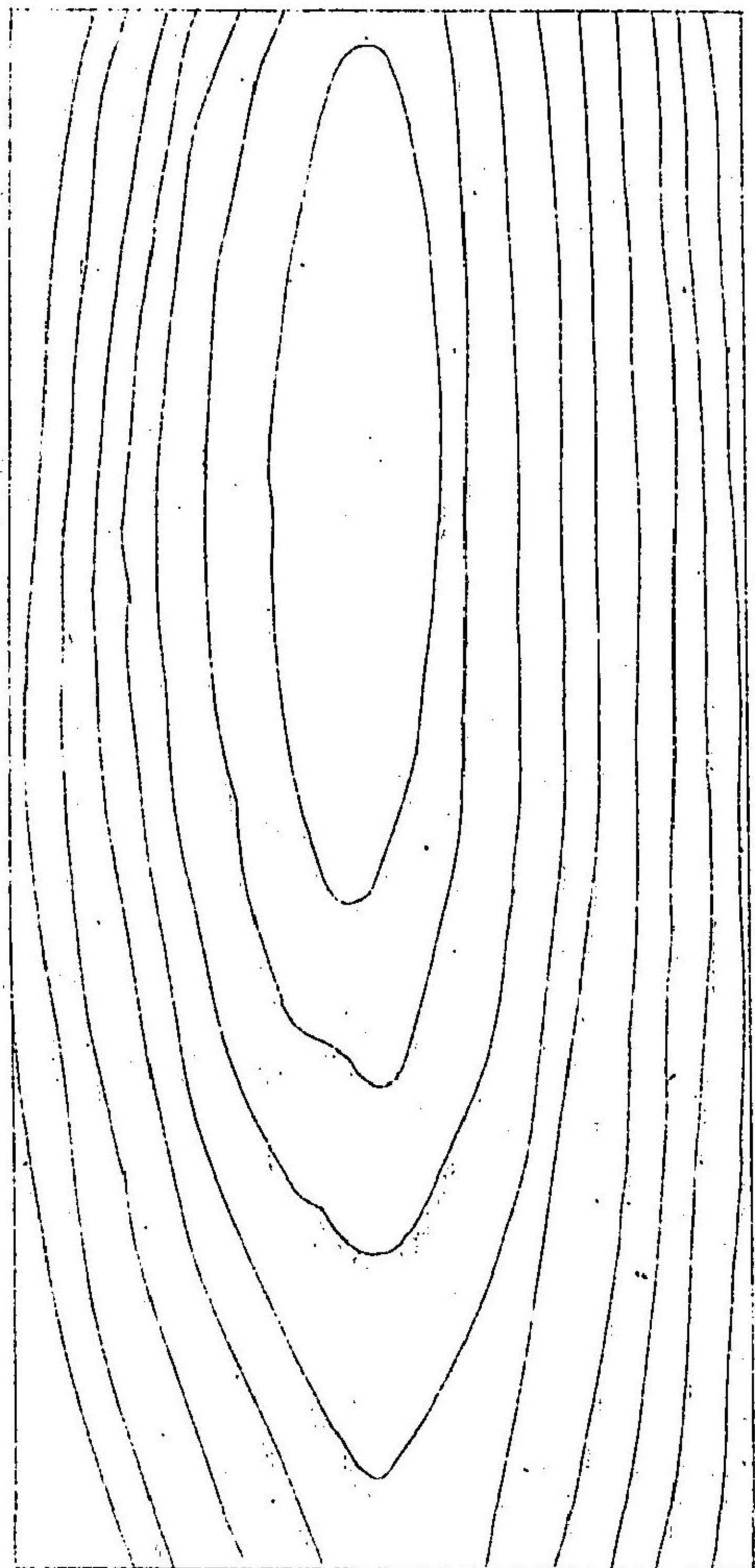
說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實
	刻板ノ用ニ充ツヘシ木屐ヲ作り器具ノ材トナシテ雅美ナリ又横理アル者ヲねもくと云フ之ヲ輕縹シテ室内ヲ裝飾ス最美觀ナリ又炭ヲ作ル漆工ノ需用タリ其用極メテ廣シ 庭院ニ栽ユヘク又行樹ニ宜シ	材色淡黃ニシテ其質輕軟ナリ然レモ肌理密ニシテ頗ル美ナリ			山林自生ノ者ヲ移植スルモ亦活ス	嫩枝ヲ摺挿シテ活シ易シ	子實ノ熟スルヲ候シテ之ヲ採リ晒乾シテ其子ノ自ラ出ルヲ収メ肥大ナル者ヲ撰ンテ下種ス		

第八十六號
石、のま

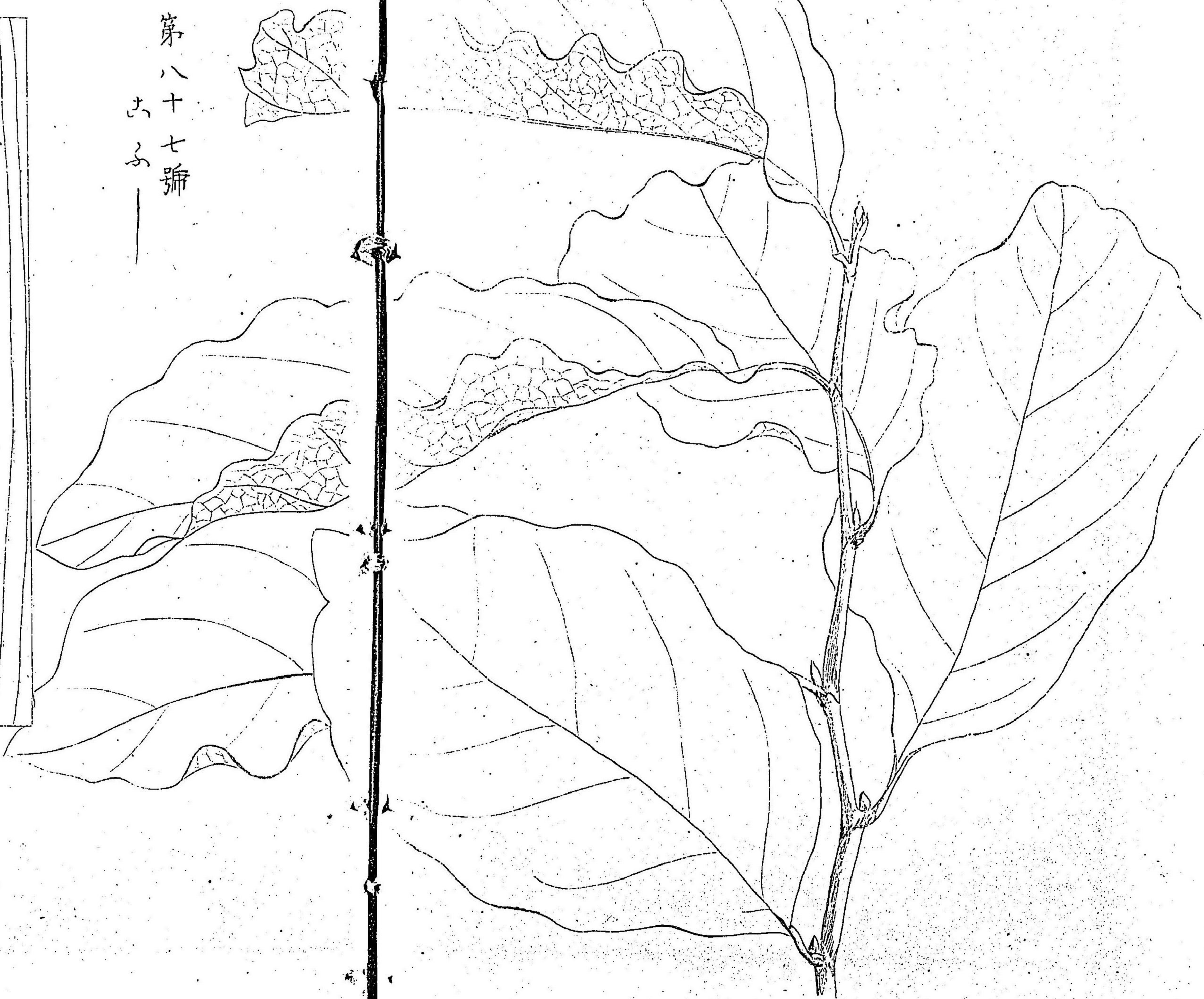


地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹 根	
<p>山中原野皆アリ寒地モ亦生ス</p>	<p>扶疎繁茂能ク庇蔭ヲナシ頗ル雅趣アリ喬大ヲナス者甚ク稀ナリ深山中ニ生スル者ハ多クハ一丈ニ盈タス</p>	<p>形長橢圓ニシテ上下尖ヲナシ大サ拇指ノ如シ外面ニ皺文多シ熟スルニ及ヒ錯裂シテ十數子ヲ吐出ス其色朱赤</p>	<p>夏末枝頭ニ苞ヲ生ス苞ニ白毛アリ冬ヲ歷テ漸ク肥大ナリ長寸餘狀筆尖ノ如シ明年春分ノ後苞ヲ脱シテ花ヲ開ク六瓣白色ニシテ紅條アリ又淺紅色ノ者アリ白色ニシテ紫條アルアリてこぶト名ク皆香芬アリテ愛スヘシ</p>	<p>潤頂狹下楔形ヲ成シ形浮爛維勒ノ葉ニ似テ小ナリ厚クシテ硬ク深緑ニシテ滑澤ナリ霜後凋零ス明春花褪シテ後ニ生ス</p>	<p>枝條舒長ス</p>	<p>樹能ク高長スル者ハ圍四五尺ナルモ高三四丈ニ及フ樹皮黑褐ニシテ滑ナリ</p>	<p>名 通 ふぶし</p> <p>名 方</p> <p>名 漢 辛夷</p> <p>名 洋 MAGNOLIA KOBUS. マグノリア コブシ</p>

種	藝				種	養 培	護 保	質 材	効 用	説 雜
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗						
<p>春秋二分根下ノ小木ヲ移栽ス</p>	<p>枝條ヲ潤地ニ摺シテ活シ易シ</p>	<p>玉蘭ヲ接換スヘシ清明ヲ季節トス</p>	<p>玉蘭ト並植ヘ秋分ニ過貼スヘシ</p>	<p>寒月多ク糞水ヲ澆クハ花大ニシテ香濃ナリ</p>	<p>性水ノ浸スヲ忌ム</p>	<p>白質美密ニシテ柔軟ナリ</p>	<p>庭院ニ栽テ花時愛玩スヘシ花莖ハ以テ香ニ合スヘシ又行道ニ栽植スヘシ</p>	<p>屋柱トナシテ雅致アリ樹ノ矮曲ナル者多キヲ以テ山家伐採シテ薪柴トナス</p>	<p>庭院ニ栽テ花時愛玩スヘシ花莖ハ以テ香ニ合スヘシ又行道ニ栽植スヘシ</p>	<p>庭院ニ栽テ花時愛玩スヘシ花莖ハ以テ香ニ合スヘシ又行道ニ栽植スヘシ</p>



第八十七號
木



種	藝				養培	護保	質材	効用	雜說
	條歷	接嫁	條摺	植苗					
山中樹陰又潤沙ノ中ニ自生ス移植スヘシ							其材淡黄ナルアリ白色ナルアリ質甚硬ナラス木理細直ニシテ粘カアリ	材多クハ端直ナルヲ以テ多ク橋梁ノ用トナス又屋柱トナスヘシ器具ヲ作テ頗ル佳美ナリ	山城國加茂神祭ニ此枝葉ヲ用テ祭冠ヲ粧飾ス

地適	形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
<p>深山ニ生長ス遠江ノ千頭信濃ノ木曾下野ノ日光陸奥ノ十和田等ノ諸山最多ク産出ス山城ノ北山亦多ク此樹培養ヲ得レハ諸地皆成長スト雖腐土及ヒ温暖甚シキノ地ニ適セス</p>		實雌相接シ後各一細莢ヲナシ四布ス立秋ニ及ヒ熟シテ堅ク中ニ扁子多シ	雄本雌本アリ春分新葉米ダ生セス先ツ花ヲ開ク之ヲ望メハ紅色頗ル美ナリ雄花ハ外苞ニ三片アリ上ハ小下ハ大ニシテ蕾ナス中ニ雄蕊三十條アリ其圍ニ短瓣様ノモノアリ周邊多ク缺刻ヲナス是翼瓣ノ狀ヲナスモノニ似タレ其形一定セス雌花ハ四雌蕊アリ亦紫色ニシテ細長ナリ	兩々對生圓形尖頭其葉ニ類ス淺緑ニシテ厚カラス周邊ニ鈍鋸齒アリ	枝條細弱新條ハ微紅ヲ帶フ	直幹ニシテ高六七丈圍丈許	<p>かつぶ</p> <p>名方</p> <p>名漢</p> <p>名洋</p> <p>CERCIDIPHYLLUM JAPONICUM. S. ET Z.</p> <p>セルシジファイル シヤボニキユム</p>



第八十八號
かつら

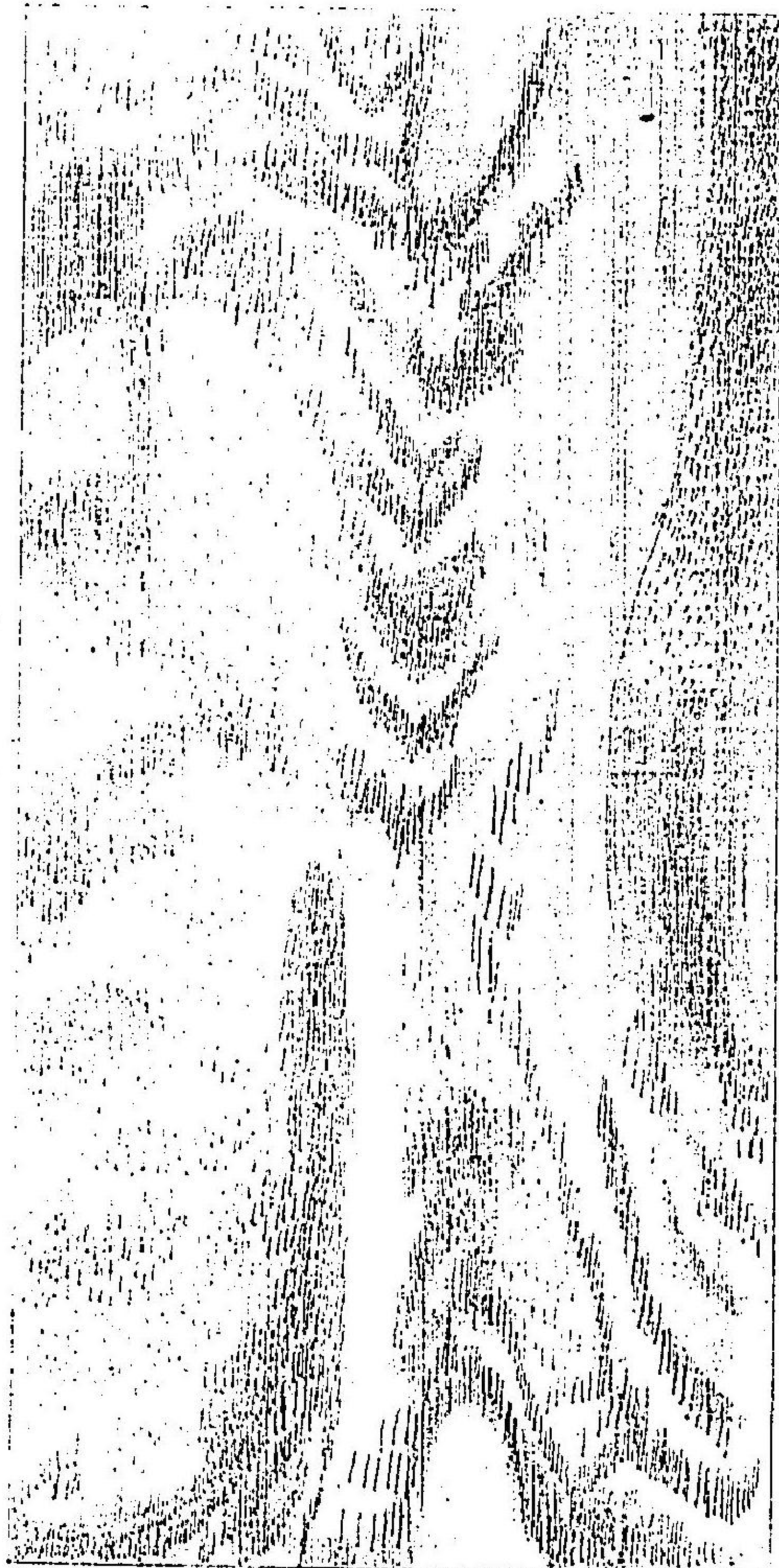
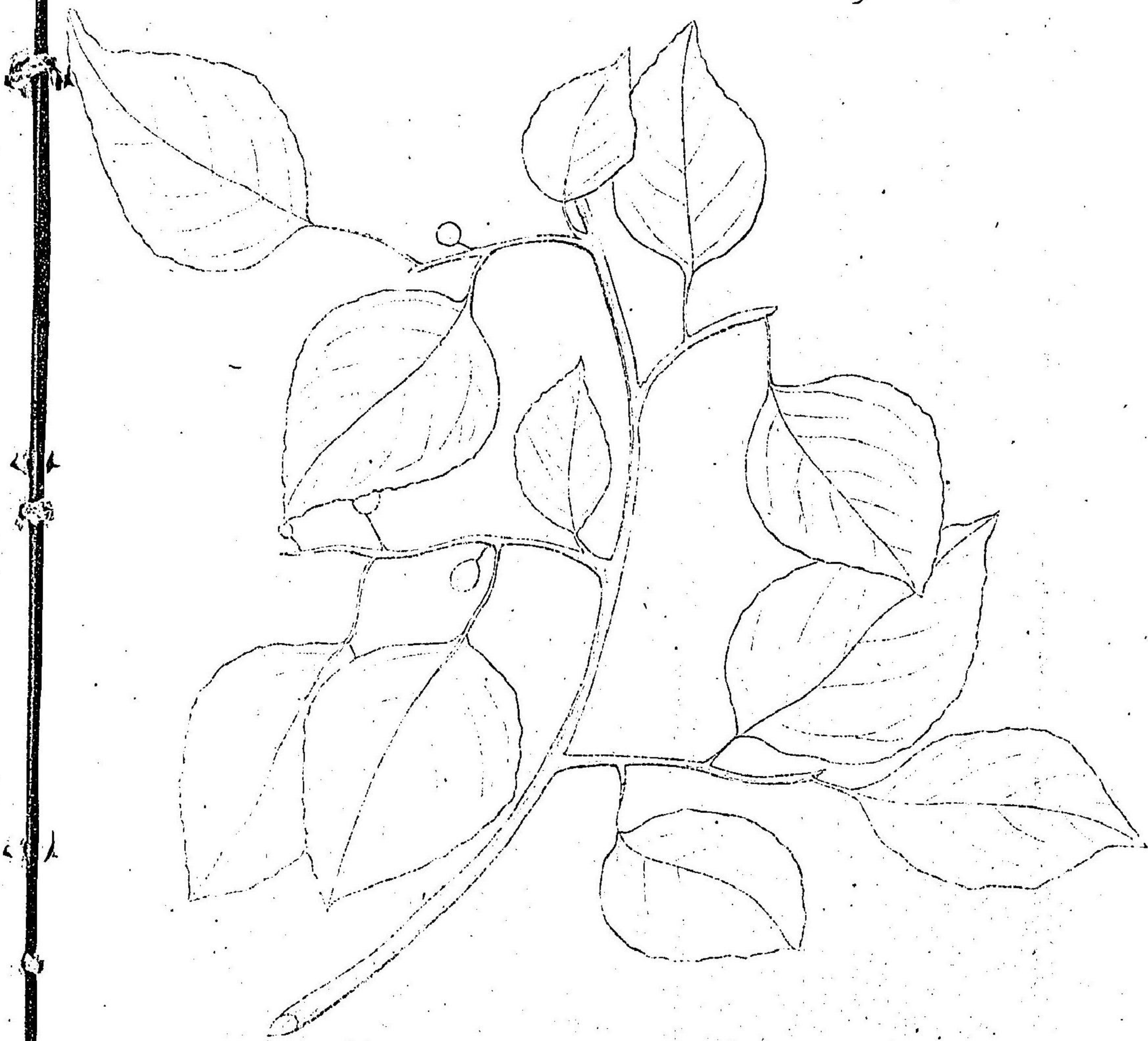
木天蓼科 木天蓼
器落潤莖科 木天蓼
具葉葉本 木天蓼
提要
號九十八第

種名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
名 通	<p>蔓本ナリ年ヲ經ル者ハ圓一二尺長十數丈ニ及フ旋縲シテ自ラ溝道數條ヲナス皮色茶褐色之ヲ剝クニ長ク數尺ニ及フ</p> <p>蔓延シテ軟長</p> <p>春分ニ新芽ヲ發ス形橢圓ニシテ邊ニ鋸齒アリ大サ櫻葉ノ如シ柄色鮮紅霜後凋零ス</p> <p>葉芽生スル時蕾ヲ生ス大サ豆ノ如クニシテ圓ナリ五瓣ノ白花ヲ開ク狀梅花ニ似タリ甚ク清芬ナリ</p> <p>實ノ形橢圓大サ木天蓼實ノ如クニシテ綠色ナリ熟スルニ及ヒ肉軟ニシテ其味甜美ナリ</p> <p>喬木ニ附テ上リ或ハ蔓枝相纏フテ其勢甚ク盛ンナリ</p> <p>諸國深山中ニ自生ス日光山富士山ニ多シ原野ニ在テ大幹ヲ見ス</p>						
名 方	<p>とらくち</p>						
名 漢	<p>つた</p>						
名 洋	<p>ACTINDIA ARGUTA PLANCH. アクチニシア アルギニタ</p>						

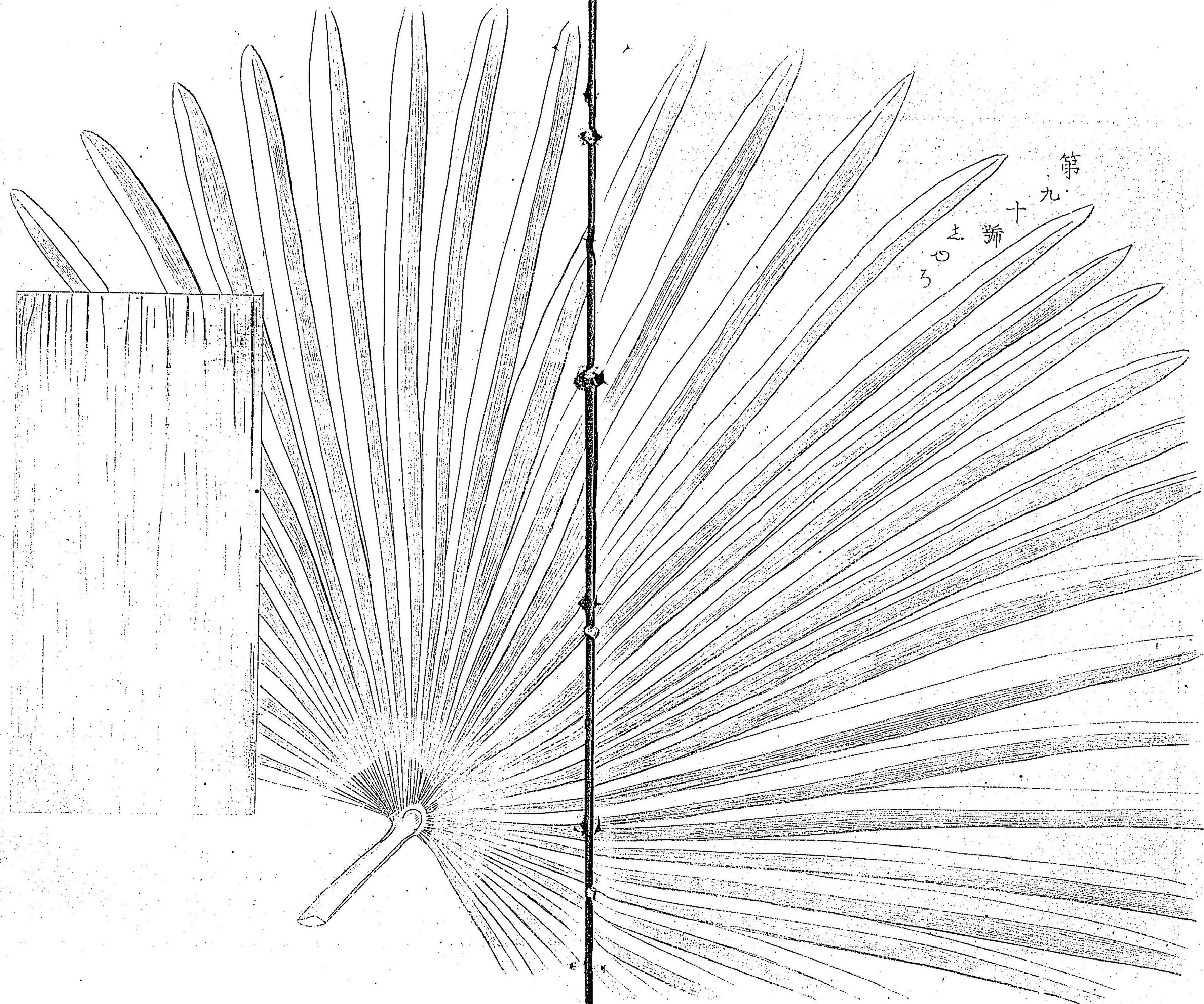
種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實					
種 名	<p>枝條ヲ剪テ挿ム能ク活ス梅雨中ヲ季節トス</p>					<p>糞水ヲ澆ク</p>		<p>材色茶褐ニシテ細孔疎通ス之ヲ横截スレハ全面細孔ヲ見ル</p>	<p>小齋ノ柱トナスヘシ飽削ヲ施サスニテ甚ク雅致アリ或ハ横截シテ茶瓶床トナシ或ハ木管ヲ作ル其莖強硬ニシテ粘カアリ 筏ヲ綴リ橋ヲ縛ス其皮ハ粘質ナルヲ以テ紙ヲ製スヘシ</p>	<p>樵夫深山ニ入り水乏キルハ其莖ヲ截リ其水ヲ飲ム其味微甘ヲ帶フ</p>

第八十九號

一五〇〇



種名	形 狀						地 適	種 藝					養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜						
	名 通	名 方 古	名 漢	名 洋	根	幹		枝	葉	花	實	體 全						植 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 壓	
しゆるろ	名 方 古	名 漢	名 洋	命根ノ深穿遠行スルナリ細根繁生シテ團圓塊ヲナス	端直上登高二三丈圍二尺許幹ノ外面茶色ノ毛苞アリテ每葉ヲ保護ス其剝落ノ痕各一節ヲナシ暗黒色ヲナス	枝條ナシ	幹頭ニ掛簾ス其柄長サ二三尺柄頭ヨリ葉片ヲ四出スルヲ車輪ノ如ク本合シテ末分ル徑二尺許柄葉共ニ翠綠硬韌ニシテ光澤アリ四時凋マズ	雌本雄本アリ清明ノ後葉間ニ黄苞ヲ發シ長サ七八寸狀魚鱗ノ如シ漸ク開拆シテ穗ヲ出シ掛簾シテ花ヲ開ク其色淡黄	花被シテ子實ヲ結フ大サ豆ノ如ク初黄色熟スルニ及ヒ黒褐ニシテ堅實ナリ	亭々トシテ直立シ上ニ婆娑タル翠陰ヲナス雅淨愛スヘシ毛苞ヲ剝カサル者ハ全幹蒙茸トシテ舊葉漸次摧敗ス生長モ亦遲シト云フ	樹性肥鬆微濕ノ地ニ適ス南方温暖ノ地方ニ生スルモノ其成長最モ速ナリ北方寒地ニ堪難シ之ヲ植ルモ生長セズ	春分ニ下種ス甚タ生シ易シ鳥雀子ヲ食フテ地ニ遺棄スレハ亦能ク苗ヲ生ス	移栽スルモノ秋分ヲ以テ良季節トナス					移栽スルモノハ月餘河渠ノ泥水ヲ以テ日ヲ間テ一タヒ洗ク	皮ヲ剝ク一歳兩三次ヲ度トス剝ク數スレハ樹瘦セ易シ剝カサレハ成長遅クシテ遂ニ枯ル	内長部ナルヲ以テ年輪ナシ内部同一ニシテ白色褐ヲ帯ヒ軟質中ニ筋條ヲ密布ス幹ノ外圍ハ堅韌ニシテ淡褐色中央ニ至ルニ從ヒ軟脆ナリトス然レモ水濕ニ置テ久ク朽敗セス	全材ヲ以小齋ノ屋柱欄干等ニ用ヒ頗ル雅致アリ又鐘杵トス器物ヲ鑲作スヘシ	皮毛ヲ縷解シ繩索ヲ作り物ヲ縛スレハ雨雪ヲ經テ久ク爛腐セス水濕土中ニ置テ亦腐レス又篩羅帚刷ノ類ヲ作ル民家日用ノ物タリ又織テシキ物トナシ編テ靴拭トナス又庭園ニ植テ粧飾スヘシ此木ニ要スル所ハ毛ノ用ヲ大ナリトス材ハ主トスル所ニアラス	



第九
十
志 號
3

名 通	形 狀						地 適	種 藝					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說				
	根	幹	枝	葉	花	實		體 全	植 實	植 苗	條 捲	接 嫁						條 壓			
まだげ	紫根密生シテ間隙ナシ其節節根ハ旁行莖節シテ每節亦紫根ヲ生ス其節節ヲ出シ又枝ヲ生ス大サ徑一寸許内部充實ス其地中ニアルヤ白色地ヲ出レハ綠色其末尖リテ細アリ故ニ地ヲ穿チテ旁行スルヲ遠ク或ハ地ヲ出テ、又地中ヲ穿ツ若シ再ヒ地中ニ入ルコトヲ得サレハ亦小竿ヲナシテ枝ヲ分チ葉ヲ生ス	節節節ヨリ生スルモノナリ圓幹直上ニ高五六丈圍一尺餘或ハ二尺餘ニ及フアリ其本大ニシテ節節間促リ半身以上漸ク小ニ節間漸ク舒フ内盧ニシテ節高シ皮色深翠滑澤其籜大ニシテ潤ク其色茶褐色斑文アリ	一節コトニ小枝ヲ生シ小枝再ヒ小葉ヲ生シテ交加ス皆互生ナリ	大小枝頂及ヒ小枝ノ節コトニ葉ヲ生ス其葉狹細披針狀ニシテ長サ五六寸脈理平行糙滿ニシテ邊ニ至微ノ鋸齒アリテ甚タ銳ナリ葉面深緑ニシテ背ハ淡緑香氣アリ葉木ニ細長ノ苞アリテ小枝ヲ纏包メテ生ス	勢盛ナレハ花ヲ着ケス或ハ時トシテ花ヲ着ク其花稻麥ノ花ノ如ク每苞中ニ開ク瓣ナシ雄蕊必ニアリ小枝ニ掛生ス白色	花ヲ着レハ細實ヲ結フ米粒ニ似タリ花實多キハ其竹久シカラスニシテ枯ル	枝葉交加シ翠竿霄ヲ凌クノ氣アリ林ヲナスニ至テハ千竿蠶ヤトシテ恰モ琅玕ヲ植ルカ如シ ○仲夏ニ竹ヲ生シ秋初竿ヲナス	黒壤肥鬆ニシテ砂石ヲ交ヘ微ク水濕アルノ地ヲ喜フ故ニ河堤溪濱ニ在テ盛茂スル者頗ル多シ而レテ溫暖ノ地方ニ適シ寒地ニ稀ナリトス	土質粘重堅硬ノ地及ヒ瘠地ニ生スルモノ節最高ク肉薄シテ脆惡ナリ	下種シテ生シ易シ然レハ容易ニ大竿ヲ出スニ至ラス五六年ヲ經テ僅カニ徑一寸許ナルモノヲ出スノミ	分植スルモノ梅雨ノ候ヲ良季トス四五竿ヲ連チ多ク宿土ヲ帶テ栽植ス土ニ入ル甚深キヲ忌ム							冬月ニ田泥或ハ河泥ヲ以テ培壅ス時々馬糞糖ヲ與フルハ最妙ナリ 時々舊根ヲ掘去リ繁竿ヲ洗伐シ務テ雜草小木ヲ刈除ス	圓ニシテ強直堅韌然レハ内部空虛ナルヲ以テ厚サ僅カニ五六分ニ過キス上ニ至レハ漸ク薄シ外面深緑内部白色ニシテ纖維條通ス其内面滑澤ニシテ薄膜アリ白紙ノ如シ 冬初ニ伐ルハ其時ニ當ラサルモノハ蠶ヲ生シ易シ	全竿ヲ用ル者ハ家屋及河渠水防ノ材ニ充テ且農作ノ諸用或寛水甕等ヨリ以下諸般ノ用又細割シテ用ユル者ハ蛇籠捕魚籠箱籠籠ヨリ以下諸器具ヲ製スヘシ又割テ兩片トナシ屋瓦ニ代用スルコトアリ所用極メテ廣シ○其根ハ鞭トナシテ妙ナリ枝ハ藩籬トナシテトナスヘシ籬ハ笠ヲ編ムヘシ物ヲ裹ムヘシ籬ハ味美味フヘシ 之ヲ堤防ニ栽ユレハ能ク崩潰ヲ防キ庭園ニ栽レハ消淨愛スヘシ風致凡ナラス諸竹中之ヲ第一品トス	竹林花ヲ着クルハ即生長滿盛ノ候ナルヲ以テ結實ニ至テ全林必枯ルト云フ○俗説ニ竹實アルハ凶歌ノ徵ナリト○又若シ花ヲ着クルハ穢テ下三尺ヲ留メ其節ヲ割テ虛ナラシメ蠶ヲ其中ニ填實スヘシト云フ未試ニス

まだげ

名 方

名 漢

苦 竹

名 洋

BAMBUSA.
PUBERULA

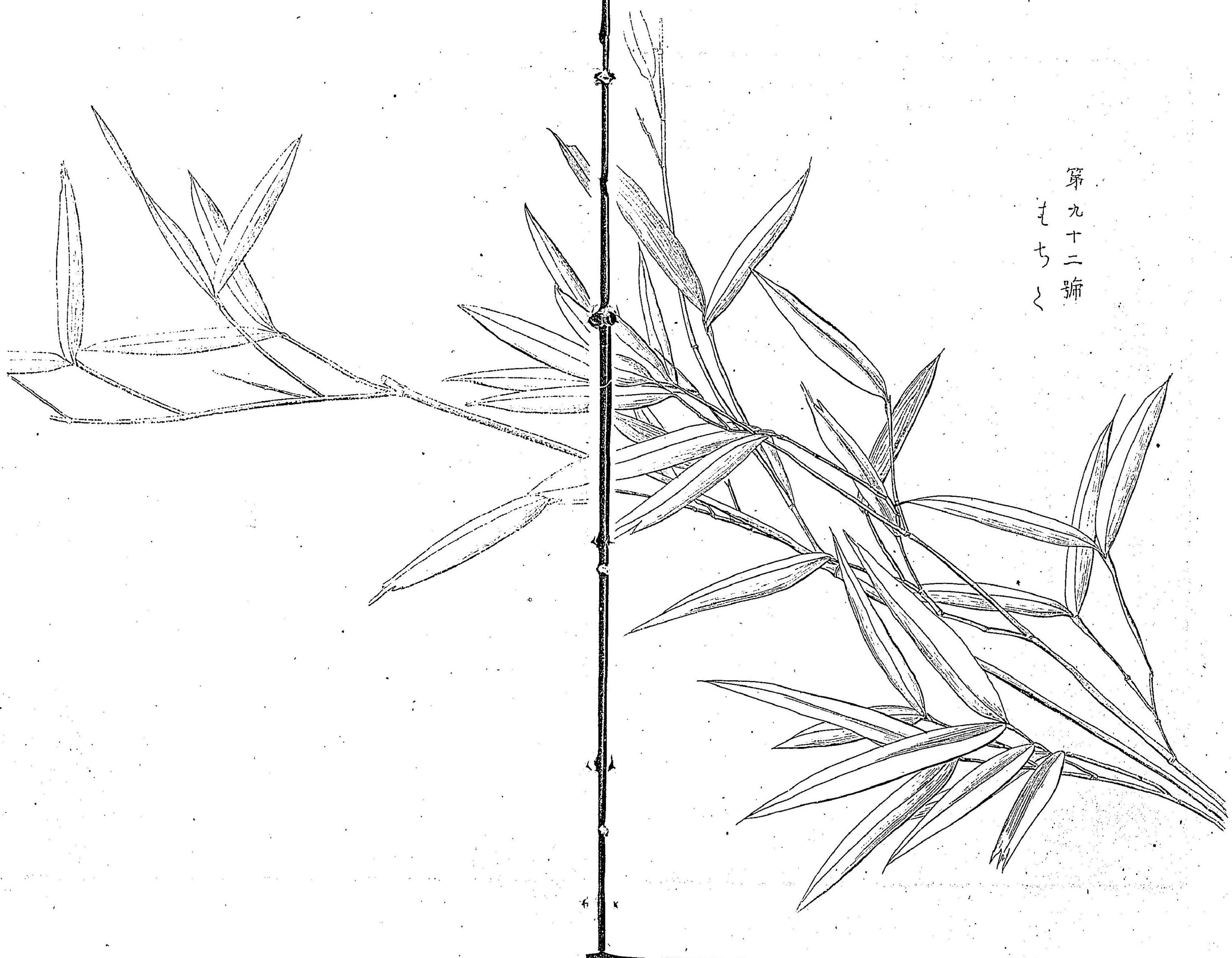
バンブエサ
ビュベリユラ



第九十一號
まだけ

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形						稱 名						
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋		
	効用ニ至テハ甚ク苦竹ニ讓ラス之ヲ大用スレハ苦竹ニ及ハサルモノ、如シト雖之ヲ小用シテ器具ノ類ヲ製スルニ至テハ却テ勝レルモノ多シ航蒲ヲ作ルニ此材ヲ需用ス堅硬ニシテ粘力アル推知スヘシ又笛ヲ作ルヘシ又破碎シテ繩トナスヘシ枝葉節禰ノ用皆苦竹ニ同シ而シテ禰ノ如キハ苦竹ニ比スレハ觀美ナルヲ以テ之ヲ編ム者大ニ貴重ス	苦竹ニ比スレハ細小ニシテ肉薄ト雖其質極メテ密ニシテ一層ノ硬堅ヲ加フ	苦竹ニ同シ	苦竹ニ同シ				苦竹ニ同シ		山麓原野ニ生ス燥地ヲ喜ンテ濕土ニ適セス最能ク温暖ノ地ニ生茂ス 青綠妍淨甚ク雅致アリ ○立夏ニ節ヲ生ス	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	苦竹ニ全シ	とちく	名 漢	淡竹	名 洋	BAMBUSA SP. パンブユサ

第九十二號
毛竹



地適	形						種名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
<p>山土ニ適シ軟鬆肥良ノ地ヲ喜フ山麓ニ栽植シテ能ク繁殖スル者多シ而シテ温暖ノ地ニ在ルモノ最モ能ク肥大ナナス</p>	<p>枝葉繁稠ニシテ庇陰幽靜ナリ形狀最美观トス</p>	<p>苦竹ニ同シ</p>	<p>苦竹ニ同シ</p>	<p>苦竹ニ比スレハ較細小ニシテ繁密ナリ</p>	<p>肥大ニシテ短シ</p>	<p>高三四丈圍二尺ニ及フ諸竹中圍ノ最大ナル者ナリ節間較促レリ</p>	<p>肥大ニシテ旁行スル苦淡二竹ニ比スレハ較速クシテ甚タ遠ニ及ハス</p>
							<p>まうぢうちく</p>
							<p>名方</p>
							<p>名漢</p>
							<p>江南竹</p>
							<p>名洋</p>
							<p>BAMBUSA SP. パンブエサ</p>

種	藝					種名
	條壓	接嫁	條摺	植苗	植質	
<p>苦淡二竹ニ比スレハ一層ノ葉培ヲ要スルモノトナス冬月多ク葉汁ヲ洗ク馬糞汁ヲ洗ク最モ妙ナリ</p>				<p>苦竹ニ同シ</p>		
<p>其性較弱ナルヲ以テ冬月葉草或ハ蟻糞ヲ以テ根土ニ置キ霜雪冰凍ヲ防ク根ノ長大ニシテ節ヲ生スル多キヲ欲スルモノハ新竹始テ枝ヲ發盡スル時其梢ヲ剪取スヘシ</p>						
<p>肥大ニシテ肉甚ク厚シト雖其質柔軟ニシテ甚タ脆ナリ</p>						
<p>杓及花瓶ノ類ヲ製スル最妙ナリ其他所用苦淡二竹ニ同ヤト雖其質較脆ナルヲ以テ數等ヲ下レリ然レモ其節ヲ生スル諸竹ニ先チ味甚ク甘美ナルヲ以テ値亦隨テ貴シ節ヲ養ヒ以テ利益ヲ得ル此竹ニ及フモノナシトス</p>						
<p>説 雜</p>						
<p>用 効</p>						
<p>質 材</p>						
<p>護 保</p>						
<p>養 培</p>						



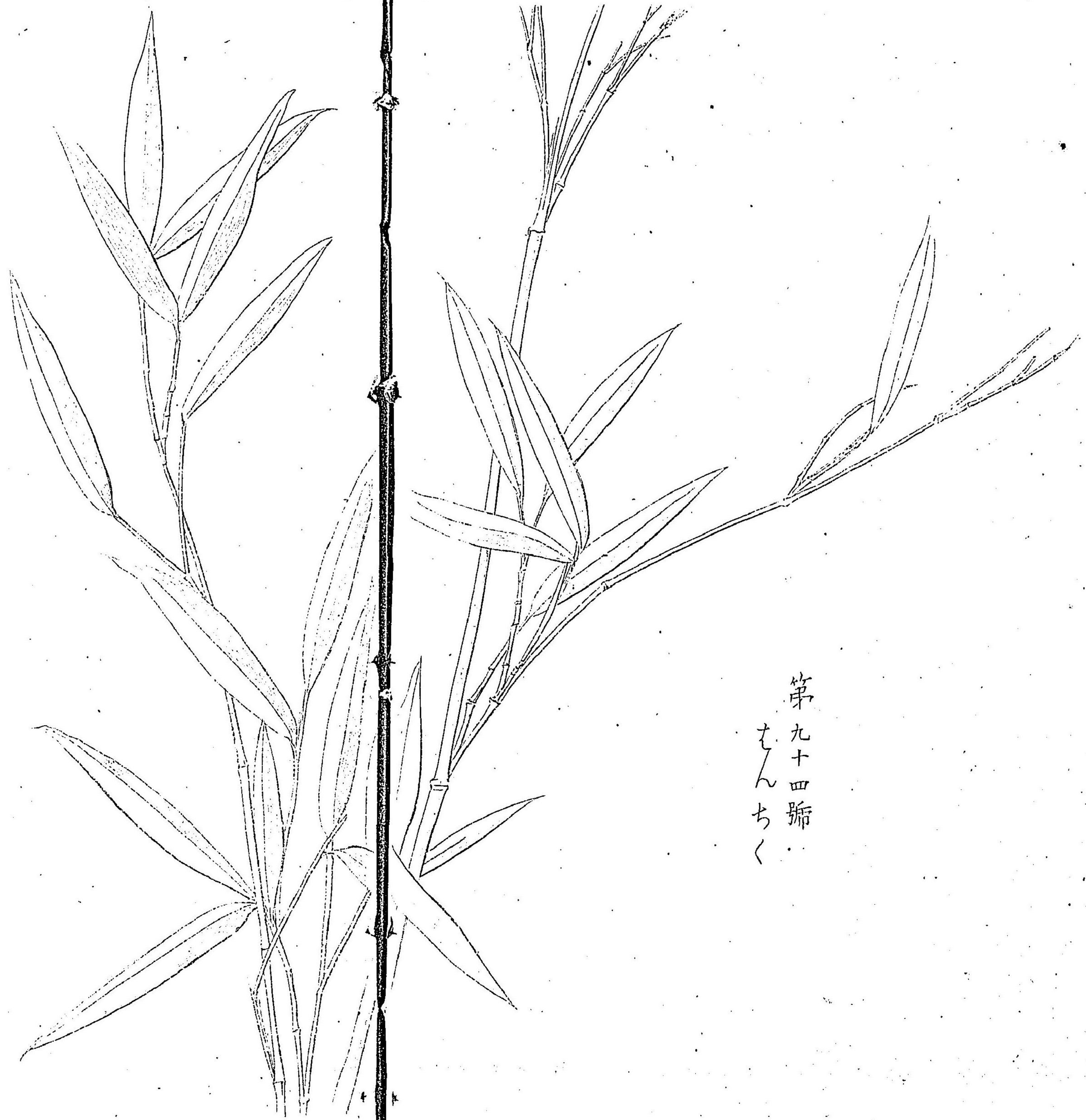
第九十三號

提 要
禾本科
芭 綠 木
常 綠 械
器 械

第九十四號

種 類	藝 種	養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜
苦竹ニ同シ		苦竹ニ同シ		其質堅硬ナル淡竹ニ加フ皮上ノ斑紋起伏環シテ雲狀ヲナシ其色鮮紫白質ニシテ雲紋鮮紫ナルヲ以テ甚ク美觀トス且他ノ斑竹ハ皆細小ナルカ故ニ劣ルコト數等ナリ	諸器具ヲ作ルニ極テ雅美ニシテ且久キニ耐ユ	淡隱居詩話ニ云フ斑竹方ニ生スル時每點上皆錢之ヲ封スル甚ク固シ土人竹ヲ研キ水ニ浸シ草履ヲ用ヒ皆錢ヲ洗ヒ去レハ則紫並爛斑ニシテ愛スヘシ是レ眞ニ湘中ノ斑竹ナリ

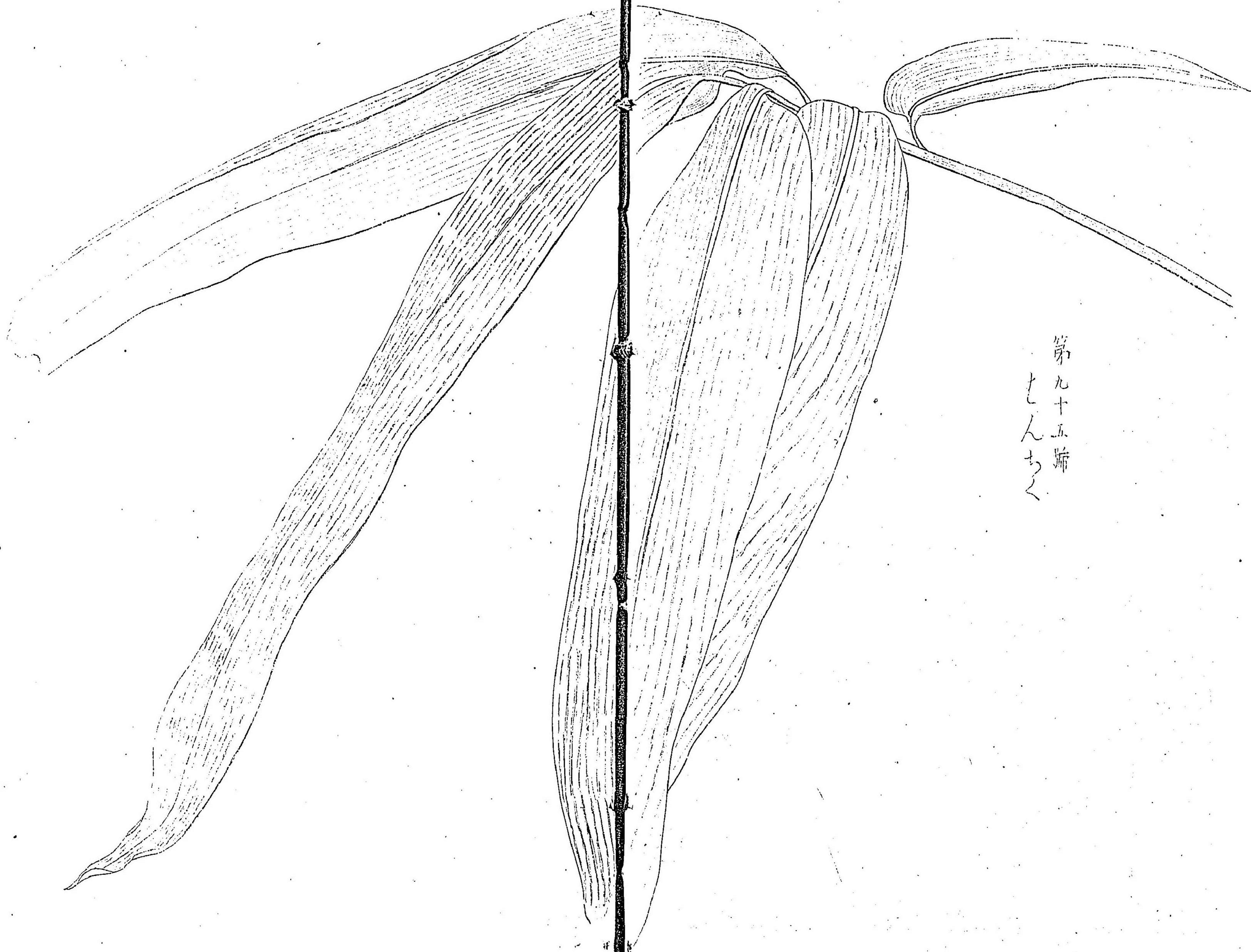
地 適	形 狀						稱 名								
	體 全	實	花	葉	枝	幹									
淡竹ニ同シ近江二丹ノ産最有名ナリ	淡竹ニ同シ	苦竹ニ同シ	苦竹ニ同シ	淡竹ニ同シ	淡竹ニ同シ	淡竹ニ同シ 高二丈許圍六七寸其性淡竹ニ殊ナラス皮上ニ皆ヲ生シテ微ノ如シ初生ハ麻子粒ノ如クニシテ漸ク莖延ス之ヲ磨スレハ其斑痕雲紋ノ狀ヲナス	<table border="1"> <tr> <td>名 通</td> <td>とんちく</td> </tr> <tr> <td>名 方</td> <td>まだらだけ</td> </tr> <tr> <td>名 漢</td> <td>斑竹</td> </tr> <tr> <td>名 洋</td> <td>BAMBUSA. VAR. バンブエサ</td> </tr> </table>	名 通	とんちく	名 方	まだらだけ	名 漢	斑竹	名 洋	BAMBUSA. VAR. バンブエサ
名 通	とんちく														
名 方	まだらだけ														
名 漢	斑竹														
名 洋	BAMBUSA. VAR. バンブエサ														



第九十四號
七んちく

提 要
禾本科
苞木
常綠
籜管掛
第九十五號

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	形 狀							稱 名		
					條 叢	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 漢	
	籜管トナスヘク或ハ掛籜ノ類ヲ作テ甚タ雅美ナリ	厚肉ク其質硬堅ニシテ且ツ粘力アリ幹ノ曲惡ナルモノモ之ヲ撓メテ能ク端直ナラシムヘシ之ヲ洗磨スル久シケレハ雲紋 顯鮮明ナリ							山谷ノ間ニ産シ寒土深雪ノ地ト雖亦能ク生茂ス	枝葉長大ニシテ直立セス多クハ傾斜シテ地ニ偃ス			長サ五七寸濶サ寸餘	肥長ニシテ幹ニ齊シク或ハ幹ヨリ大ナリ	高一丈圍寸許其皮深褐色ノ雲紋ヲ生ス節甚タ高カラス		は ん ち く ま ゞ だ け 質	方 名 あ そ ん ち く し や あ た ん ち く	漢 名 斑 竹	洋 名 ARUNDINARIA VAR. アルンジンナリア



第九十五號
七人あく

提 要
禾本科
常 木
器 具
號六十九第

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	種 藝					地 適 狀 形						稱 名					
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋	
	小ナル者ハ杖及傘柄ノ類トナシ大ナル者ハ扇骨又器具ノ類ヲ作テ頗ル美ナリ凡皮色ノ紫黒ヲ以テ粧點スル者ニ用ル亦多シ	皮色深紫滑澤其質堅硬ニシテ粘カアリ山城國産ノモノ其質淡竹ニ殊ナラス						苦竹ニ同シ		山麓原野ニ生ス温暖ノ地ニ在ルモノ其生殖頗ル速ナリ山城國ニ産スルモノ長大ニシテ其地ヲ紫竹ト稱ス比類稀ナリ	淡竹ニ近シ夏至前後ニ節ヲ生ス枝葉頗ル繁稠ナラス			淡竹ニ類シテ翠色較深シ	枝條長大ナラス	直上シテ高丈許圍三四寸或ハ高三丈許圍七八寸ナルモノアリ初生ノ年皮色深翠ニシテ明年ニ及ビ紫黒色ヲナス○籜斑文アリ	旁引スル速ニシテ遠シ	くろたけ	ごまだけ	紫竹	BAMBUSA NIGRA バンブエサ ニグラ

第九十六號

冬ろたけ



號七十九第
提 要
禾本科
苞木
常綠
潛器
械

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形						稱 名				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹		根	名 通		
	杖ヲ作リ籬ヲ結ソテ頗ル佳ナリ又器具ヲ製スヘシ 凡ソ竹ハ圓ナルヲ常トス而シテ獨リ此竹方ナルヲ以テ世ニ賞セラレ	肉薄シテ軟脆ナリ四稜方正ヲ奇トナス						苦竹ニ同シ		原野ニ生ス温暖ノ地最モ多シ	夏月筍ヲ生スルモノアリ秋月ニ筍ヲ生スルモノアリ秋生スルモノハ明年ニ及ヒ始テ枝葉ヲ發ス	實	花	葉 苦竹ニ比スレハ較狭小ナリ	枝 短小ナリ	幹 高丈餘圍四五寸其幹四稜ヲナス根上三五節ノ四圍ニ鬚根ヲ連生ス其皮淡青ニシテ糙澁ナリ	根 根遠ク旁引ス	名 通 くさうちく	名 方 かくだけ	名 漢 方竹	名 洋 BAMBUSA SP. バンブユサ